工　事　設　計　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第３次整備事業費	
工事番号	04-1103							設計年月日	令和 4年 11月 15日
着工番号								精算年月日	令和 4年 11月 15日

施工理由			
施工箇所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内	施工方法及び 工事期限	(請負) 単価契約 令和5年9月30日まで
工事名称	魚住浄水場送水管布設工事(その2)	支払い方法	前払金　あり（40%以内） 中間前払金　あり（20%以内） 部分払　あり　（3回以内）
工事概要	送水管布設工計　L=667.4m 送水管布設工　φ400　L=667.4m バタフライ弁設置工　φ400　1基		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増　減	円	増　減	円	増　減	円	増　減	円

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費					
管路					
管路（φ４００）					
管布設工（φ４００）		式		1	
管布設工（φ４００）		式		1	
DGX-S 直管　φ400×6000	ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含)	本		104	
DGX-1 直管　φ400×6000	ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含)	本		7	
DGX 曲管　φ400×45°	ロックリング含	個		7	
DGX 曲管　φ400×22° 1/2	ロックリング含	個		2	
DGX 曲管　φ400×11° 1/4	ロックリング含	個		2	
DGX 曲管　φ400×5° 5/8	ロックリング含	個		6	
DGX 両受曲管　φ400×45°	ロックリング含	個		2	
DGX 両受曲管　φ400×22° 1/2	ロックリング含	個		3	
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管　φ400× 75	10K　ロックリング含	個		1	
ﾌﾗﾝｼﾞ蓋　φ 75	1.0MPa　RF形	個		1	
GX形ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁　φ400	ロックリング含	基		1	
ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=1040)	鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	組		1	
ｹﾚｯﾌﾟ式消火栓(浅埋形)(損料)φ 75×65	JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa	基		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
ﾌﾗﾝｼﾞ短管(損料)　φ　75×500	0.75MPa	個		1	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(損料)　φ　75	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ(SUS製)及びRF形ｶﾞｽｹｯﾄ	組		2	
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=640)	鉄蓋含む	組		1	
GX形挿しロﾘﾝｸﾞ　φ400	ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	組		13	
GX形接合ｾｯﾄ　φ400	異形管・V用	組		30	
GX形ﾗｲﾅ　φ400	ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	組		21	
表示帯		m		667.4	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞφ400	固定材料含む	m		667.4	
管明示ﾃｰﾌﾟ(幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		68	
手間（φ４００）		式		1	
鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径　400mm	m		666.9	
鋳鉄管切断･溝切り加工(同時)	呼び径400mm、GX形継手	口		13	
ＧＸ継手挿口加工（呼び径 400mm）	タッピンねじ式	口		13	
ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(鋳鉄製)設置(機械力)	縦型ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁　呼び径　400mm	基		1	
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=1040)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
仮消火栓工	設置撤去 継手工1口含む	基		1	
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)	ＪＷＷＡ 7.5Ｋ	口		1	
フランジ継手 取外し(呼び径　75(80)mm)	ＪＷＷＡ 7.5Ｋ	口		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)	ＪＷＷＡ　10Ｋ	口		1	
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=640)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		1	
ＧＸ継手接合(呼び径 400mm)	直管	口		111	
ＧＸ継手接合(呼び径 400mm)	異形管	口		30	
栓設置撤去工(呼び径 400mm)	異形管	口		1	
管明示シート工		m		667.4	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 400mm)		m		667.4	
管明示テープ工（鋳鉄管布設工）	呼び径400mm×6000mm	m		667.4	
管布設土工		式		1	
土工（φ４００）		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		1,330	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		670	
掘削積込工		m3		1,100	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔加古川リサイクル(有)〕	m3		33	
残塊処分工(土砂)	〔(有)リテラ〕	m3		1,060	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		670	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		670	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		510	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		390	
ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）		m		657.4	
ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）		m		10	
土留支保工（設置＋撤去）		m		657.4	
土留支保工（設置＋撤去）		m		10	
アルミ矢板賃料		式		1	
ｱﾙﾐ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）					
ｱﾙﾐ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用）					
ｱﾙﾐ矢板整備費					
ｱﾙﾐ矢板賃料					
交通管理工					
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員　Ｂ		人日		348	
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の運搬					
仮設材等の積込み・取卸し					
試掘調査工		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
試掘調査工		箇所		5	
通水試験費		式		1	
通水試験費	給水車不要の場合	回		1	

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
1	一般共通事項

※　1　現場代理人の兼務

※　1　本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。

※　2　合併工事

※　1　本工事は、他部署との合併工事はない。

※　3　近接工事

※　1　発注時に、近接工事として兵庫県発注の大道池地区ため池改修工事（その1）を確認している。互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。

※　4　占用関係

1　国道(　　)　　2 県道(　　)
3　市道(　　)　　4 法定外道路(　　)
5　港湾(　　)　　6 河川(　　)

※　7　その他(里道　　)

上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。

※　5　協議関係(上記占用以外)

1　鉄道等(　　)
2　バス道等(　　)
3　学校関係(　　)

※　4　その他(魚住まちづくり協議会　　)

上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。

※　6　工事の範囲

※　1　当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。

※　7　交通誘導警備員

※　1　交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。

種類	合計	送水管布設工事	配水管布設工事	給水管切替工事
A	0名	0名	0名	0名
B	582名	348名	210名	24名
合計	582名	348名	210名	24名

1日1現場当り4名(標準)
1日1現場当りT字交差点部 5名

※ 1日1現場当り車両通行止め6名
その他1日1現場当り追加　1名(バス停)

※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。

交通誘導警備員A;警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	交通誘導警備員B；警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの ※　2　本現場は車両通行止めでの工事を見込んでいる。現場着手の1か月以上前から必要な位置に予告看板等を設置し、車両通行止めとなる旨の周知を行うこと。 ※　8　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について ※　1　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。 ※　9　断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について ※　1　受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。 ※　2　上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。 ※　3　上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。 ※　4　受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 （放水用器具1セット：消火栓スタンド，バルブキー2本，放水用ホース） ※　10　工事日報について ※　1　工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を**2週間以内**にセンター監督員に提出すること。 ※　2　工事日報は以下の工種について提出するものとする。 ①　試掘工　　②　仮配水管，仮給水管布設撤去工 ③　水道本管布設撤去工（残置処理配管共） ④　給水管布設工　　⑤　水圧試験 ⑥　白紙様式3枚（検査合格報告書分） なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。 ※　3　その他内容については、水道工事標準仕様書（6.提出書類）に基づくものとする。 ※　11　工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について ※　1　本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならず、発注者においては（保険金額→対物500万円以上・保険期間→工期内）とすること。なお、上記保険については掛金相当額が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。 また、明石市工事請負契約約款第51条（火災保険等）に基づき、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。 ※　12　その他事項 ※　1　設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。 ※　2　工期については、送水管布設工事及び配水管布設工事については契約締結日の翌日から令和5年9月30日まで、給水管切替工事については、令和5年3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算について、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年9月30日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年9月30日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。 ※　3　当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。 ※　4　間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
2	管きょ工 ※　1　使用材料 ※　1　使用材料確認願（様式29-1）には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図（承認図）（不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ、割T字管（付属ﾊﾞﾙﾌﾞ）、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、ｻﾄﾞﾙ分水栓、その他監督員が必要と認める材料）とする。 ※　2　土木工事承諾願（様式30-1）には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図（承認図）またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。 ※　3　水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。 ※　4　在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。 ※　2　一体化長さ ※　1　設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。 ※　2　上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。 ※　3　管の据付 ※　1　管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。 ※　2　木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。 ※　4　消火栓・空気弁 ※　1　丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。 ※　2　消火栓及び空気弁の口の高さは、GL－20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。 ※　3　フランジ部で使用するボルトは75㎜以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。 ※　5　水圧試験 ※　1　標準仕様書5.10（1）について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0％以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管　　・口径は300㎜以下　　・試験延長合計は100m未満 ※　6　現場発生品の処分 ※　1　既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は(株)窪田窪商店で運搬距離は2.9kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。その場合は、設計変更の対象としない。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	2　既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」（平成17年8月、厚生労働省健康局水道課）を参考として作業を行うこと。その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。 ※　3　既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター（播磨事業所）、運搬距離9.5km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。 ※　7　スクラップの種類 ※　1　撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。 ※　8　その他事項 ※　1　本工事における仮配水管の供用日数について、31～60日までとして計上している。

章	
3	土工事 1　重機 1　特殊車両（一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両）を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。 ※　2　アスファルト切断 ※　1　アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。 ※　3　配水管布設時の掘削幅 ※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050

※　4　配水管布設時の掘削深

※　1　配水管布設時の掘削深は、土被り＋布設管外径（D2)+100を基本とする。

※　2　既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100㎜程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。

※　3　会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。

※　4　会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350㎜以下の場合、延長500㎜、深さ200㎜、φ400㎜以上の場合、延長800㎜、深さ500㎜とし、幅はそれぞれの掘削幅とする。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	

※　5　仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	400	450	500	550	600	700
深さ	400	450	500	550	600	800

2　矢板有の場合の掘削幅、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	700	750	800	850	900	1000

※　3　仮給水管設置撤去時の掘削幅は400㎜、掘削深は300㎜とすること。

4　直轄国道に布設撤去する場合は深さ600㎜以上とすること。

※　6　既設管撤去の掘削幅

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	550	600	650	700	900	950	1000

2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	850	850	850	850	950	1000	1050

※　7　給水管の掘削幅、掘削深、延長

※　1　分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600㎜、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600㎜、深さは既設管土被り＋既設管呼び径＋100㎜とする。

※　2　給水管部は、幅500㎜、延長は給水管延長（本管～止水栓距離）－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。

※　8　掘削・埋戻し

※　1　埋戻し一層厚さ20cm未満とする。

※　2　水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。

※　3　管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。

※　9　残土・殻処分地

※　1　処分地は特記仕様書(追記)参照。

※　2　特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

※　10　各種試験

※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。

※　上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　11　仮設材の運搬 ※　1　仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。 なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。 ※　12　その他事項 ※　1　工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。

章	
4	舗装工 ※　1　舗装前準備 ※　1　既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、 異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。 ※　2　下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧 前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。 ※　3　他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と 高さ調整の程度（＋〇cm等）が分かるものを提出すること。 ※　4　舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか 監督員と協議すること。 5　切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）及び土木工事施工管理基準 （兵庫県県土整備部監修）に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の 承諾を得たのち、施工すること。 ※　2　不陸整正工 ※　1　補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※　3　乳剤散布 ※　1　ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※　4　アスファルト舗装工 ※　1　当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。 その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、 自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど 注意喚起すること。 ※　5　区画線工 1　インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色) の区画線は設置しないこと。 ※　2　施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※　3　ガラスビーズを配合すること。 ※　6　各種試験 ※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める必要な試験等について、 試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　2「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 ※　1　アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m2未満について省略する。 ※　2　アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m2以上500m2未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m2未満については省略する。 ※　3　表層の平坦性・・・省略する ※　4　既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。

特記仕様書（追記）

1　建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	㈲リテラ
所在地	高砂市米田町島763-1
運搬距離	12.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2　特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

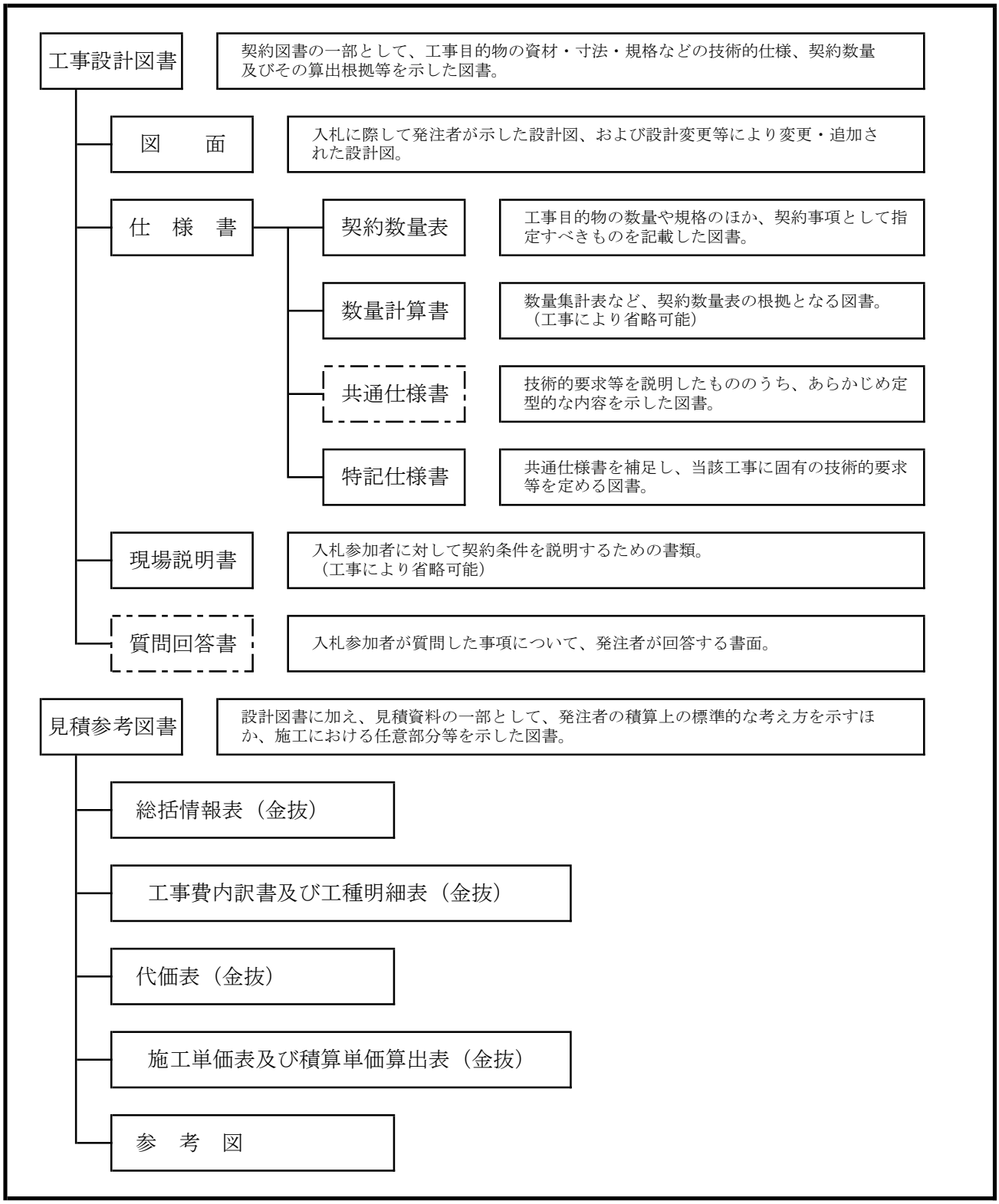
2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	加古川リサイクル㈲
所在地	加古川市野口町水足字東代123-25
運搬距離	8.6km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

３ 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款　第１条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水 道 工 事 標 準 仕 様 書

1　総　則

1.1（適　用）

1　水道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、明石市水道局が発注する水道管（導水・送水・配水）を布設する工事及び給水管工事（以下「工事」という。）に係る工事請負契約書（頭書を含み以下「契約書」という。）及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。

2　契約書及び仕様書・契約数量表・設計図（以下「設計図書」（標準仕様書を除く）という。）に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。

3　本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準（明石市水道局）及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）の水道編の第 2 章第 2 節については、適用しない。

1.2（法令等の厳守）

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3（書類の提出）

1　受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。

2　提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4（監督員）

1　監督員とは、水道法第 12 条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員（主任監督員及び監督員）をいう。

1.5（工事実績データの登録）

水道工事を 2 件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が 500 万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6（目的物の引渡し）

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼（引渡書）を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2　安全管理

2.1（事故防止）

1　工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。

2　掘削及び埋戻工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

3　受注者は熱中症対策等について充分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2（事故発生時の措置）

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3（現場の整理整頓）

1　受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。

2　受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3　工事施工

3.1（一般事項）

1　受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

2　施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。

3　受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2（現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査）

1　近接構造物（家屋含む）の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。

2　施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。

3　当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。

4　給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。

5　その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3（地元説明）

1　受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。

2　工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

3　施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこれの軽減に努めること。

4　工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。

5　受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。

6　給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起こらないようにすること。

3.4（試掘調査）

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

・試掘断面の地下埋設物の状況　　・既設舗装構成
・設計図書通りの撤去・埋設が可能か　　・既設管の外面腐食等の異常の有無
・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5（夜間工事）

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないよう十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6（立会）

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
・その他監督員が必要と判断した事項

3.7（工事関係書類の整備）

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4　材料

4.1（水道材料の規格）

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合については、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

(1)　K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。

(2)　特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

(3)　K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。

(4)　フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。

(5)　フランジ部の紛体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。

(6)　弁栓類等で使用するフランジの規格は２種（0.75MPa）とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。

(7)　仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。

(8)　鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓（空気弁）鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。

(9)　割T字管の分岐口径φ150 以下について、密着コアを使用すること。

(10)　サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。

(11)　直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。

(12)　表示帯(管明示シート)は、15cm 幅 2 倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。

(13)　管明示テープは、5 cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2（土木材料の規格）

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

(1)　スクリーニングスは、JIS　A5001　F-2.5 とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。

(2)　再生砕石は、路盤部分は RC-30 とし、その他は RC-40 とする。

(3)　粒調砕石は、M-30 とする。

(4)　再生密粒度アスファルトは、最大粒径 13 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(5)　再生粗粒度アスファルトは、最大粒径 20 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(6)　再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径 25 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

4.3（水道材料の確認）

1　受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。

2　現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。

3　仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。

4　支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式 15) を提出すること。

5　管布設工事

5.1（配管技能者）

1　受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はＴ・Ｋ形管等の一般継手（φ450 ㎜以下)、耐震登録はＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手（φ450 ㎜以下)、大口径は一般継手と耐震継手（全口径）を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、ＮＳ形・耐震管の受講証については、その口径のＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。

2　受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。

3　受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準（明石市水道局）に基づき監督・指導すること。

4　受注者は、上記以外の管種（配水用ポリエチレン管・鋼管等）の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2（工種の制限）

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3（断水を伴う連絡工事）

1　断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。

2　断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は 13 時 30 分から 16 時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輌等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。

3　断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。

4　万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4（広報活動）

1　断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。

2　断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3　上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4　受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5（ボルトの締め付け）

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの 7 割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6（使用機材）

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは､先端角度が90°から100°､ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7（管の明示）

1　管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2　表示帯（管明示シート）は、管天より 40cm の位置に丁寧に設置すること。

5.8（仮消火栓）

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9（仮舗装復旧）

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10（水圧試験）

1　水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1)　通常配管（以下の特殊箇所以外）の場合、試験水圧を 0.75MPa とする。30 分間以上の経過後、低下率 1.0%以内を許容限度とする。

(2)　不断水工事の割Ｔ字管箇所は、試験水圧を 1.25MPa とする。ただし、既設管の状態が悪い場合（ＦＣ管又は表面の腐食等が激しい場合）・ＡＣＰ管・ＶＰ管の場合は、最高試験水圧は 1.0MPa 以下でもよい。5 分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3)　中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧 0.50MPa を負荷して 5 分経過後に 0.40MPa 以上保持することを確認するものとする。

(4)　管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5)　配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2　給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11（水道メーターの確認）

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6　提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

1　工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別)、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長)、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（Ａ４サイズ）で作成すること。

2　竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1)　配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎)、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値は㎜表示とし、整数１位を四捨五入とし、２位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d.配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2)　消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他３点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3)　仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4)　掘削断面に他企業埋設管（下水管，ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置，口径がわかるように図示すること。

3　竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（Ａ３サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、ＰＰユニオン、ＰＰエルボ、ＶＰユニオン、止水栓、ボックス、ＰＰパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

４　その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1 部	JPEG(A1・カラー・解像度 200dpi 以上)で保存した CD を提出
竣工図(焼き図)(原則 A1 サイズ)	竣工時	4 部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横 15cm×縦 23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD 及び DVD で提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

＊　竣工図書は、Ｂ４Ａ４サイズの文書保存箱で工事名･施工年度等を明示して納品すること。

（施行期日）

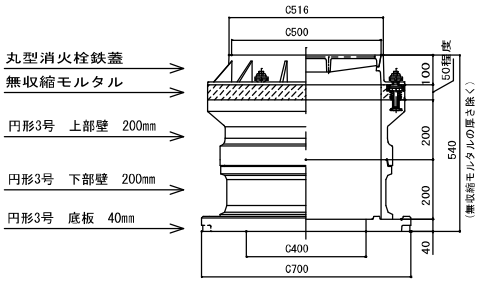
この仕様書は、2022 年 9 月 1 日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

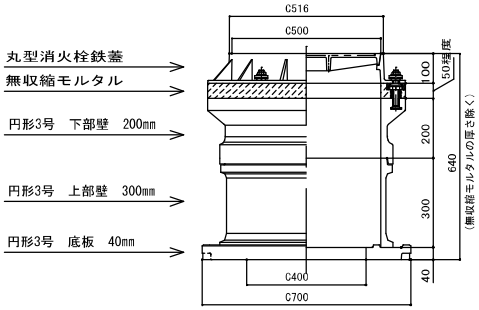
材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管直管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	GX形S種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鋳造
水道用ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ケレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ (接水部ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ｺﾞﾑ工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、ﾌﾗﾝｼﾞ形はｽﾃﾝﾚｽ製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋲螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製　緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管	明和工業㈱、㈱多久製作所
	PE管	㈱光明製作所

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

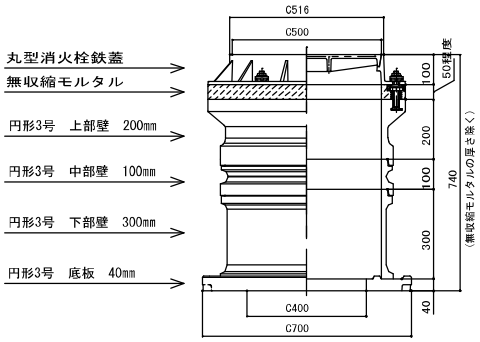
製品高さ　Ｈ＝５４０



製品高さ　Ｈ＝６４０



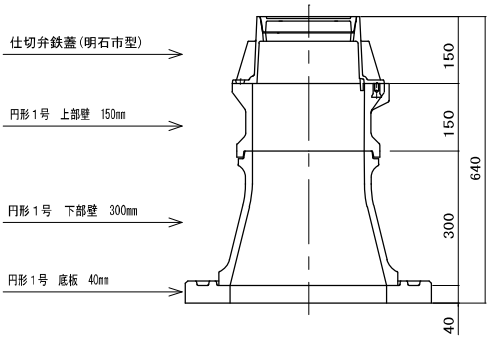
製品高さ　Ｈ＝７４０



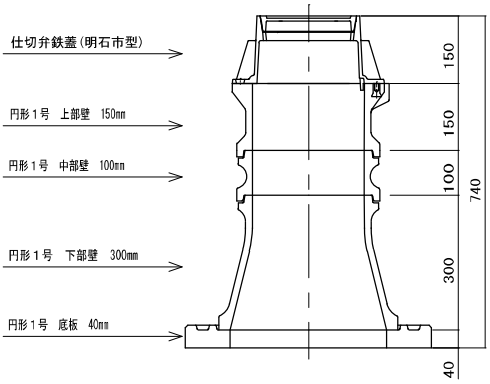
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道局	

円形1号ﾎﾞｯｸｽ組合せ図（標準図）

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図（標準図）
種類	円形1号ボックス
明石市水道局	

φ400配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)		本数	延長	備考
直管	(L= 6.0 m)	104	624.000	
切管使用本数		7	32.500	
甲切管	DGX-1	7	19.500	
乙切管①	DGX-1	6	13.000	

名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ400		104	624.000	
DGX-1	直管関係	φ400		7	32.500	
DGX	曲管	φ400×45°	0.641	7	4.487	
DGX	曲管	φ400×22° 1/2	0.498	2	0.996	
DGX	曲管	φ400×11° 1/4	0.420	2	0.840	
DGX	曲管	φ400×5° 5/8	0.390	6	2.340	
DGX	両受曲管	φ400×45°	0.336	2	0.672	
DGX	両受曲管	φ400×22° 1/2	0.208	3	0.624	
DGX	フランジ付T字管	φ400×φ75	0.465	1	0.465	10K
DGX	栓(異形管用)	φ400		1		既設再利用
	フランジ蓋(継手材含む)	φ75		1		10K
GX形	耐震バタフライ弁(両受型)	φ400	0.500	1	0.500	
	バタフライ弁室(明石Ⅳ型・丸型 車道)	H=1040		1		
	ケレップ式単口消火栓(損料)	φ75×φ65		1		仮設
	ﾌﾗﾝｼﾞ短管(損料)	φ75×500		1		仮設
	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(RF形)(損料)	φ75		2		仮設
	消火栓室(損料)	H=640		1		仮設
GX形	切管用挿しロリング	φ400		13		
GX形	接続部品	φ400		30		
GX形	ライナ	φ400		21		
	表示帯			667.4		
	ポリエチレンスリーブ	φ400		667.4		
	管明示テープ(区間距離×2.02／20＝)			68		
管材料延長計				667.424		

DGX-1 φ400切管調書

直管　6.0 m

切管番号		延長	甲切管	乙切管②		乙切管 ①	管延長	残管延長	切断数	挿口加工数	P-Link	特殊押輪	
				1	2							K形	A形
4	10	6.00	DGX-G 4.60			DGX-G 1.30	5.90	0.10	2	2	−		
9	6	6.00	DGX-G 3.50			DGX-G 1.60	5.10	0.90	2	2	−		
7	8	6.00	DGX-G 2.10			DGX-G 1.60	3.70	2.30	2	2	−		
2	12	6.00	DGX-G 1.90			DGX-G 2.00	3.90	2.10	2	2	−		
3	1	6.00	DGX-G 1.00			DGX-G 2.60	3.60	2.40	2	2	−		
13	11	6.00	DGX-G 1.00			DGX-G 3.90	4.90	1.10	2	2	−		
5		6.00	DGX-G 5.40				5.40	0.60	1	1	−		
						既設管接続箇所							
計							32.50	9.50	13	13			

φ400配水管(手間)

名称・形質等		数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工	φ400	666.9 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工	φ400	13 口	
GX継手挿口加工	φ400	13 口	
バタフライ弁設置工	φ400	1 箇所	
バタフライ弁ボックス設置工	H=1040	1 箇所	円形3号
仮消火栓設置撤去工		1 箇所	フランジ継手工φ75　1口含む
ﾌﾗﾝｼﾞ継手設置撤去工	φ75	1 口	仮消火栓箇所
ﾌﾗﾝｼﾞ継手設置工	φ75	1 口	10K　フランジ蓋
仮消火栓ボックス設置撤去工	H=640	1 箇所	円形3号
GX継手工(直管接合)	φ400	111 口	
GX継手工(異形管接合)	φ400	30 口	
栓設置撤去工	φ400	1 口	
管明示シート工		667.4 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ400	667.4 m	
管明示テープ工	φ400	667.4 m	

φ400配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2	土工3	土工4		
延長 箇所等	667.4		652.6	4.8	2.8	7.2		
会所掘 箇所	1			1				

工　　種	合計 数量	**採用 数量**	単位	土工1	土工2	土工3	土工4		
舗装版切断（As） t≦15cm	1334.80	**1330**	m	1305.20	9.60	5.60	14.40		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	669.56	**670**	m2	652.60	6.96	2.80	7.20		
掘削積込工	1062.32	**1100**	m3	1029.05	11.14	5.79	16.34		
残塊処分工(As)	33.48	**33**	m3	32.63	0.35	0.14	0.36		
残塊処分工(土砂)	1062.32	**1060**	m3	1029.05	11.14	5.79	16.34		
仮復旧工(密粒度(再)(13))	669.56	**670**	m2	652.60	6.96	2.80	7.20		
路盤工(粒調砕石） t=10cm	669.56	**670**	m2	652.60	6.96	2.80	7.20		
埋戻工(再生砕石）	508.61	**510**	m3	489.45	5.22	3.50	10.44		
埋戻工(スクリーニングス）	394.15	**390**	m3	383.73	4.54	1.65	4.23		
軽量鋼矢板設置撤去工　H=2.0m	657.40	**657.4**	m	652.60	4.80				
軽量鋼矢板設置撤去工　H=2.5m	10.00	**10.0**	m			2.80	7.20		

φ400配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
652.6	1.00	1.20	0.05	0	1.63	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
VPφ75	195.5	0.089	0.006
鋳鉄管φ100	80.7	0.118	0.011

工種	施工厚	計算式						数量
		幅等		厚		延長	箇所等	
舗装版切断（As）　t≦15cm	0.05					652.6	× 2	1305.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	1.00			×	652.6		652.60
掘削積込工	1.58	1.00	×	1.58	×	652.6		1029.05
(管断面控除)		ー 0.006			×	195.5		
		ー 0.011			×	80.7		
残塊処分工(As)		652.60	×	0.05				32.63
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量						1029.05
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00			×	652.6		652.60
路盤工(粒調砕石)	0.10	1.00			×	652.6		652.60
埋戻工(再生砕石)	0.75	1.00	×	0.75	×	652.6		489.45
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00	×	0.73	×	652.6		383.73
(管断面控除)		ー 0.142			×	652.6		
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	652.6						652.60

φ400配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
4.8	1.45	1.20	0.05	1	1.63	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断（As）　t≦15cm	0.05			4.8 ×	2	9.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	1.45	×	4.8		6.96
掘削積込工	1.58	1.45 ×	1.58 ×	4.8		11.14
		＋ 1.45 ×	0.20 ×	0.50 ×	1	
残塊処分工(As)		6.96 ×	0.05			0.35
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				11.14
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.45	×	4.8		6.96
路盤工(粒調砕石)	0.10	1.45	×	4.8		6.96
埋戻工(再生砕石)	0.75	1.45 ×	0.75 ×	4.8		5.22
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.45 ×	0.73 ×	4.8		4.54
		＋ 1.45 ×	0.20 ×	0.50 ×	1	
(管断面控除)		ー 0.142	×	4.8		
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	4.8				4.80

φ400配水管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.8	1.00	1.70	0.05	0	2.13	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鋳鉄管φ100	2.8	0.118	0.011

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断（As）　t≦15cm	0.05			2.8 ×	2	5.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	1.00	×	2.8		2.80
掘削積込工	2.08	1.00 ×	2.08 ×	2.8		5.79
(管断面控除)		ー 0.011	×	2.8		
残塊処分工(As)		2.80 ×	0.05			0.14
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				5.79
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00	×	2.8		2.80
路盤工(粒調砕石)	0.10	1.00	×	2.8		2.80
埋戻工(再生砕石)	1.25	1.00 ×	1.25 ×	2.8		3.50
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	2.8		1.65
(管断面控除)		ー 0.142	×	2.8		
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.5	2.8				2.80

φ400配水管(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1φ400	0.426	0.142

掘削断面

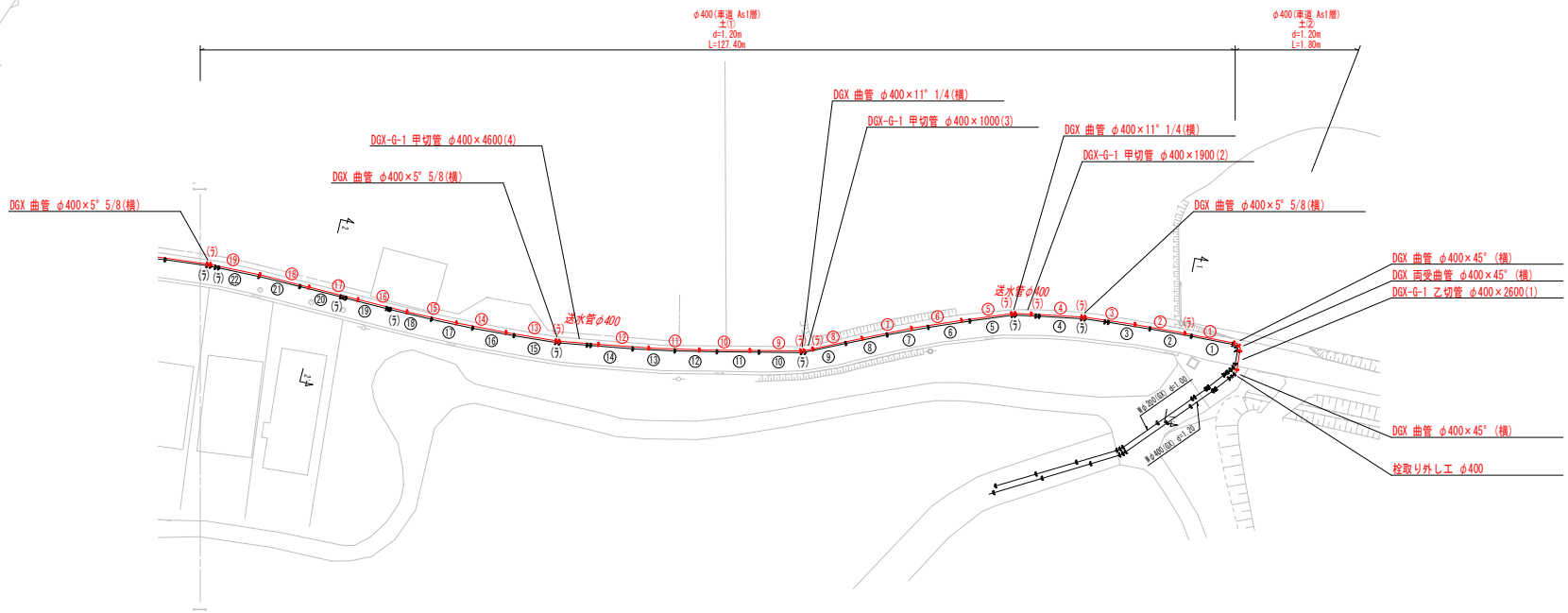
土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
7.2	1.00	1.90	0.05	0	2.33	矢板有

既設管

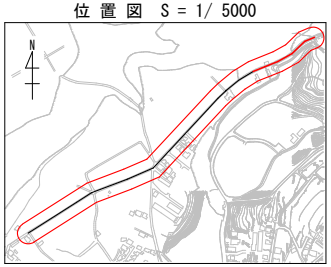
管種	撤去延長	管外径	管断面積
鋳鉄管φ100	5.6	0.118	0.011
VPφ75	1.6	0.089	0.006

工種	施工厚	計算式					数量
		幅等		厚	延長	箇所等	
舗装版切断（As）　t≦15cm	0.05				7.2 ×	2	14.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	1.00		×	7.2		7.20
掘削積込工	2.28	1.00	×	2.28 ×	7.2		16.34
(管断面控除)		ー 0.011		×	5.6		
		ー 0.006		×	1.6		
残塊処分工(As)		7.20	×	0.05			0.36
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量					16.34
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00		×	7.2		7.20
路盤工(粒調砕石)	0.10	1.00		×	7.2		7.20
埋戻工(再生砕石)	1.45	1.00	×	1.45 ×	7.2		10.44
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00	×	0.73 ×	7.2		4.23
(管断面控除)		ー 0.142		×	7.2		
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.5	7.2					7.20

送水管布設平面図(1)　S=1/300

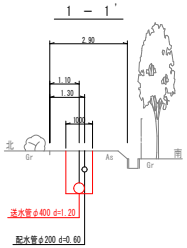


位 置 図　S = 1/ 5000



送水管布設工総括　　L=667.4m

DCIP	GX-S	φ400	L=634.9m
DCIP	GX-1	φ400	L= 32.5m



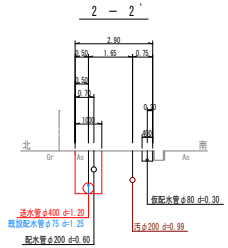
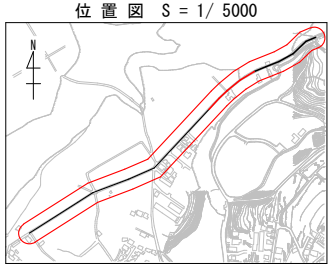
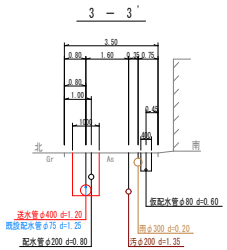


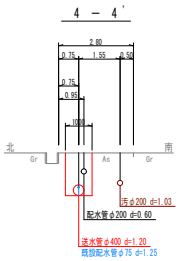
図　番	1 / 5	施工年度	令和4年度
工 事 名	魚住浄水場送水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・送水管布設平面図(1)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

送水管布設平面図(2)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000







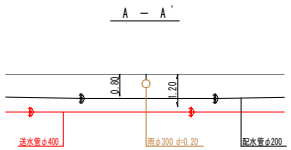
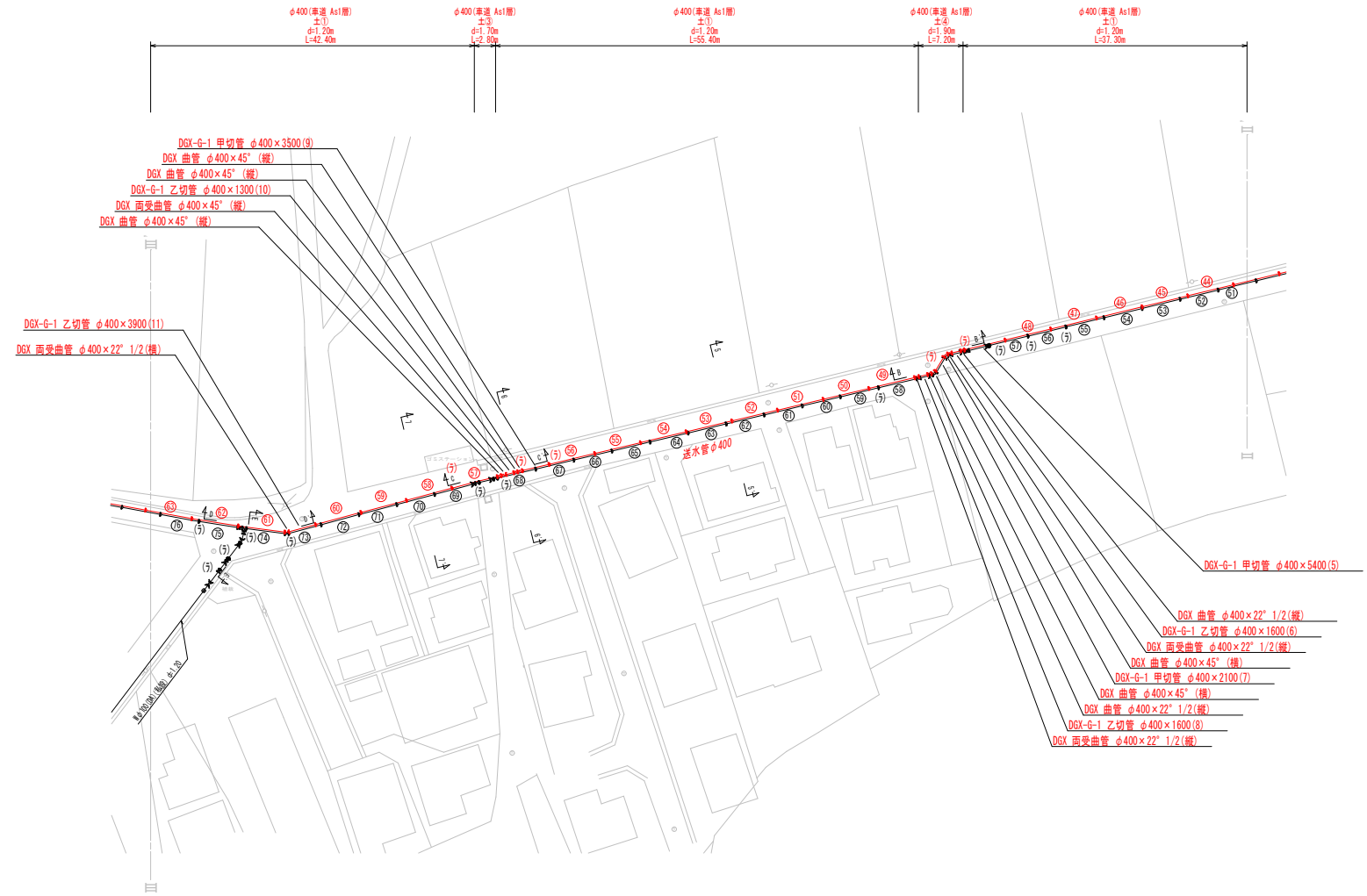
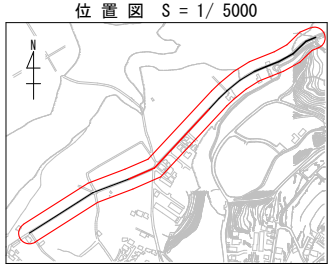


図　番	2 / 5	施工年度	令和4年度
工 事 名	魚住浄水場送水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・送水管布設平面図(2)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

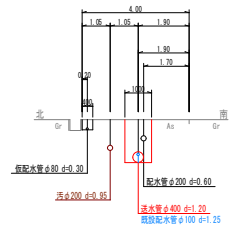
送水管布設平面図(3)　S=1/300



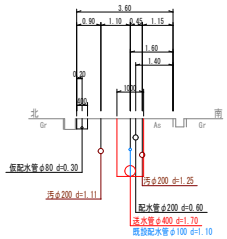
位置図　S = 1/ 5000



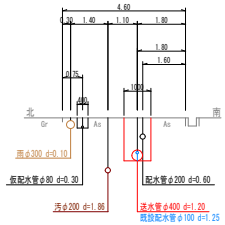
5 － 5'



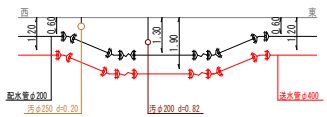
6 － 6'



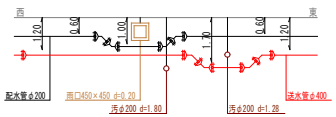
7 － 7'



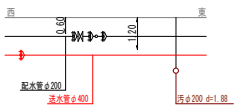
B － B'



C － C'



D － D'



E － E'

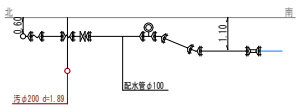
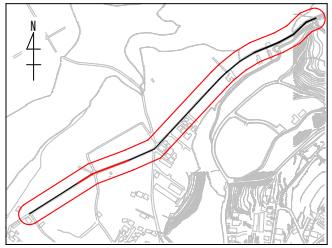
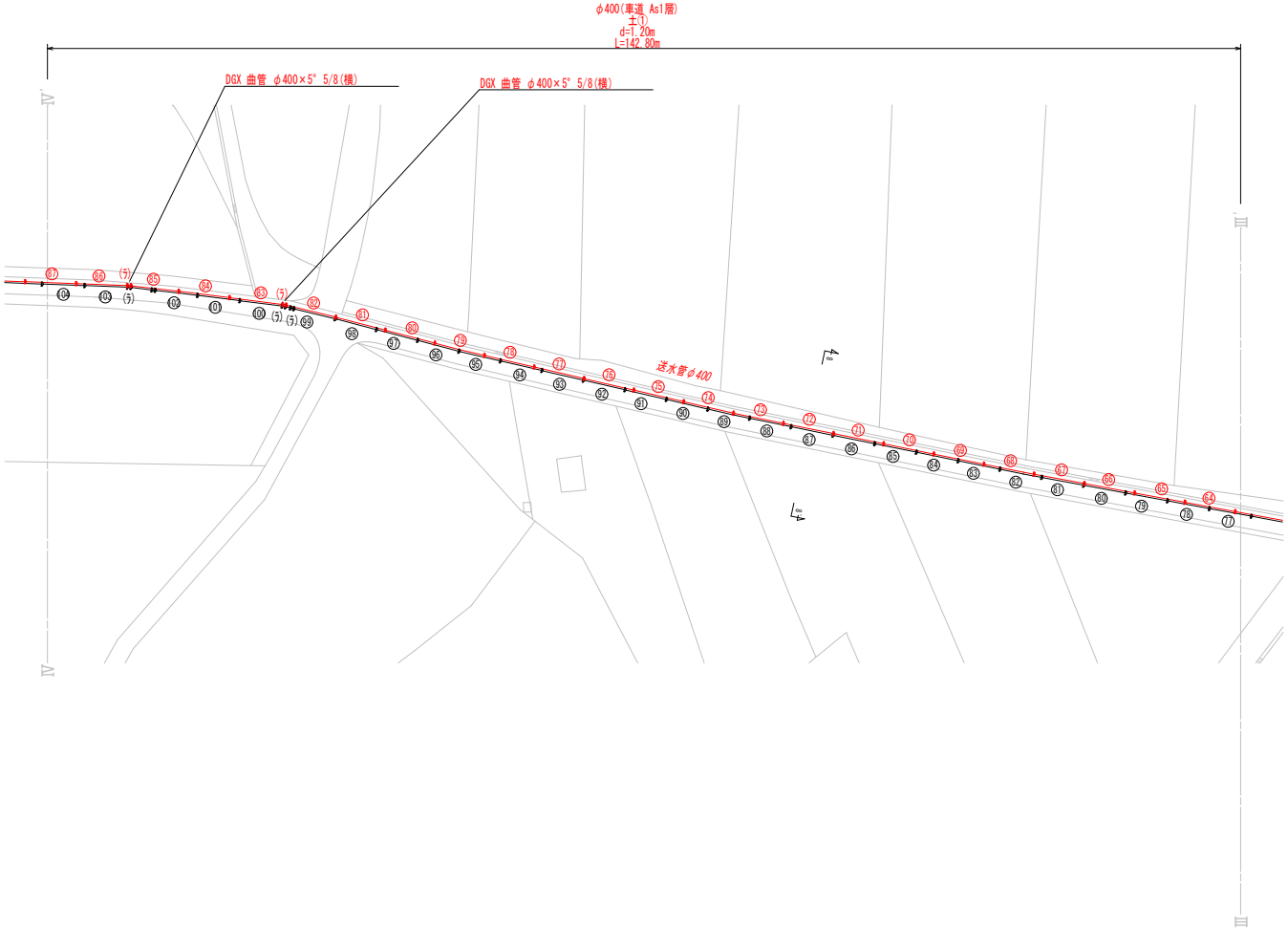


図　番	3 / 5	施工年度	令和4年度
工 事 名	魚住浄水場送水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・送水管布設平面図(3)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

送水管布設平面図(4)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000





8 － 8'

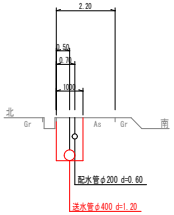
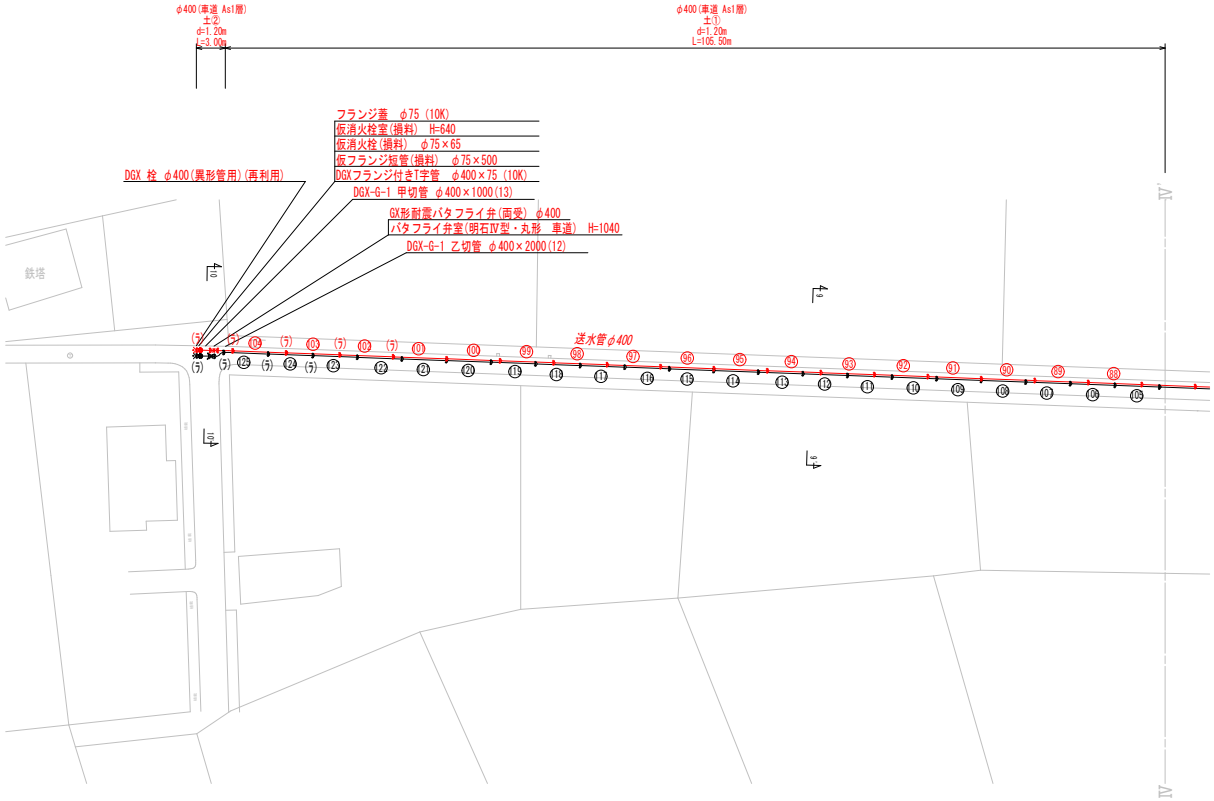
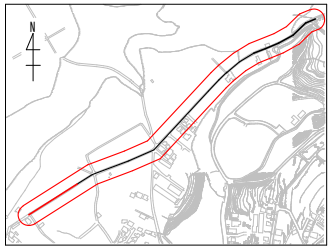


図　番	4 / 5	施工年度	令和4年度
工 事 名	魚住浄水場送水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・送水管布設平面図(4)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

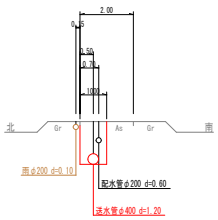
送水管布設平面図(5)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000



9 － 9'



10 － 10'

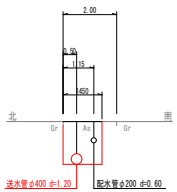
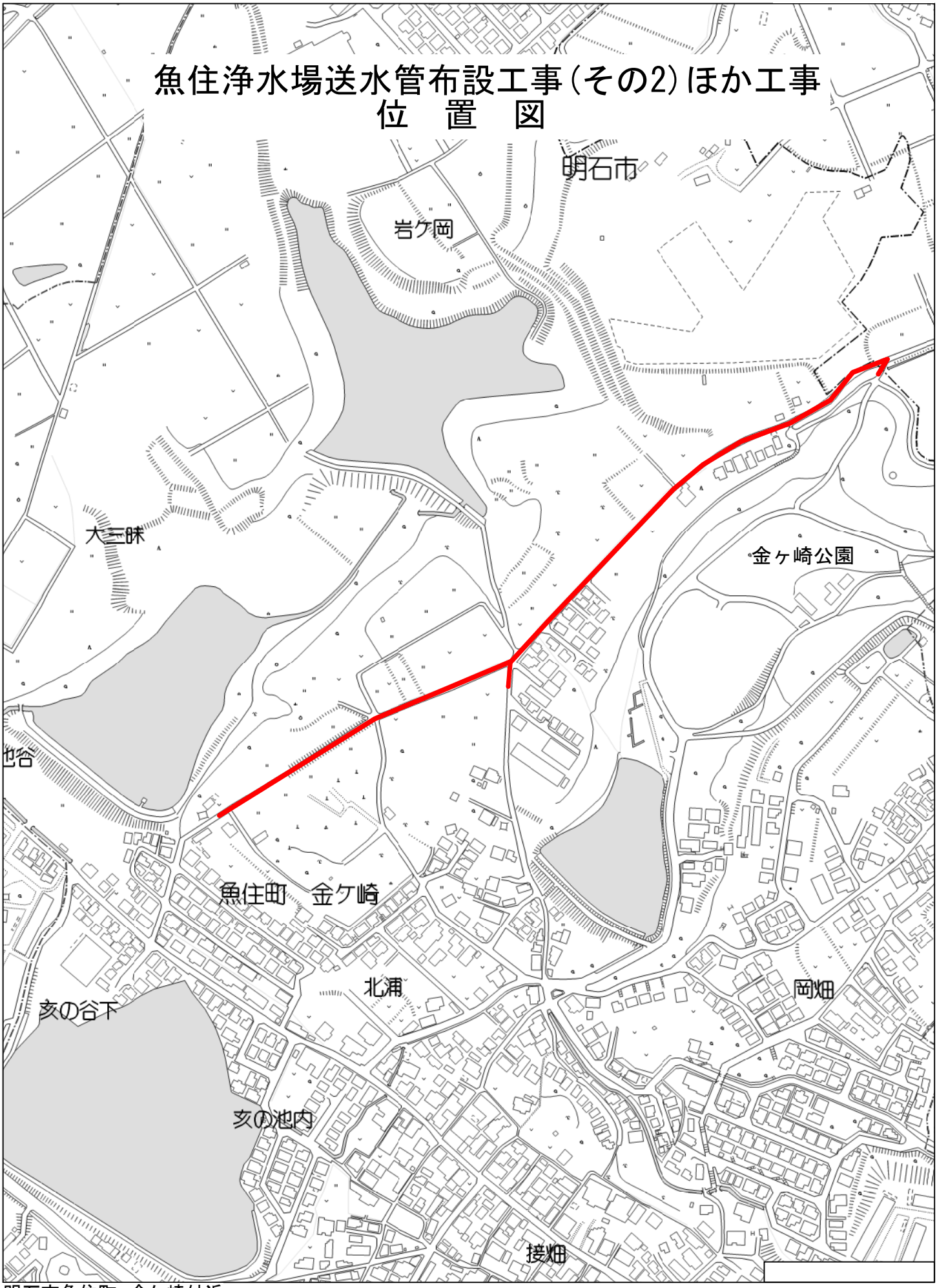


図　番	5 / 5	施工年度	令和4年度
工 事 名	魚住浄水場送水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・送水管布設平面図(5)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

魚住浄水場送水管布設工事(その2)ほか工事
位　置　図



明石市魚住町　金ケ崎付近

縮尺 1 / 4,000　120m

見　積　参　考　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第３次整備事業費	
工事番号	04-1103							設計年月日	令和 4年 11月 15日
着工番号								精算年月日	令和 4年 11月 15日

施工理由			
施工箇所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年9月30日まで
工事名称	魚住浄水場送水管布設工事(その2)	支払い方法	前払金 あり（40%以内） 中間前払金 あり（20%以内） 部分払 あり （3回以内）
工事概要	送水管布設工計 L=667.4m 送水管布設工 φ400 L=667.4m バタフライ弁設置工 φ400 1基		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増減	円	増減	円	増減	円	増減	円

総 括 情 報 表

単価適用年月日	0-04.11.01(0)	
	今　　回	前　　回
工種区分 施工地域区分	01　開削工事及び小口推進工事 23　一般交通影響あり（２）	

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					
管路					
管路（φ４００）					
管布設工（φ４００）	1	式			工種　第0001号明細表
管布設土工	1	式			工種　第0004号明細表
交通管理工					
交通管理工	1	式			工種　第0007号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬費		式			
仮設材運搬費	1	式			工種　第0009号明細表
準備費		式			
試掘調査工	1	式			工種　第0010号明細表
技術管理費		式			
通水試験費	1	式			工種　第0011号明細表
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格計						
消費税相当額			式			
総　　計						

管布設工(φ400)

工 種 明 細 表

工種　第0001号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工（φ４００）	（　1　）	式			工種　第0002号明細表
手間（φ４００）	（　1　）	式			工種　第0003号明細表
合　計	1	式			

管布設工(φ400)

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ400×6000 ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	104	本			K 管材費
DGX-1 直管 φ400×6000 ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	7	本			K 管材費
DGX 曲管 φ400×45° ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	7	個			K 管材費
DGX 曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 曲管 φ400×11° 1/4 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 曲管 φ400×5° 5/8 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	6	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ400×45° ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	3	個			K 管材費
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管 φ400× 75 10K ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾌﾗﾝｼﾞ蓋　φ 75 1.0MPa　RF形 ﾌﾗﾝｼﾞ継手材含む	1	個			K 管材費
GX形ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁　φ400 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	1	基			K 管材費
ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=1040) 鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	1	組			施工　第0-0023号内訳表
ｹﾚｯﾌﾟ式消火栓(浅埋形)(損料)φ 75×65 JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	基			
ﾌﾗﾝｼﾞ短管(損料)　φ 75×500 0.75MPa 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(損料)　φ 75 ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ(SUS製)及びRF形ｶﾞｽｹｯﾄ 防食ﾀｲﾌﾟ	2	組			
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=640) 鉄蓋含む	1	組			施工　第0-0024号内訳表
GX形挿しﾛﾘﾝｸﾞ　φ400 ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	13	組			K 管材費
GX形接合ｾｯﾄ　φ400 異形管・V用	30	組			

管布設工（φ400）

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
GX形ﾗｲﾅ φ400 ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	21	組			K 管材費
表示帯	667.4	m			
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ400 固定材料含む	667.4	m			施工　第0-0025号内訳表
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定品	68	巻			
合　　計	1	式			

手間(φ400)

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径　400mm	666.9	m			施工　第0-0026号内訳表
鋳鉄管切断･溝切り加工(同時) 呼び径400mm、GX形継手	13	口			施工　第0-0027号内訳表
ＧＸ継手挿口加工（呼び径 400mm） タッピンねじ式	13	口			施工　第0-0028号内訳表
ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(鋳鉄製)設置(機械力) 縦型ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁　呼び径　400mm	1	基			施工　第0-0029号内訳表
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			施工　第0-0030号内訳表
仮消火栓工 設置撤去 継手工1口含む	1	基			施工　第0-0036号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm) ＪＷＷＡ 7.5Ｋ	1	口			施工　第0-0037号内訳表
フランジ継手 取外し(呼び径　75(80)mm) ＪＷＷＡ 7.5Ｋ	1	口			施工　第0-0038号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm) ＪＷＷＡ　10Ｋ	1	口			施工　第0-0039号内訳表

手間(φ400)

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=640) 鉄蓋設置撤去含む	1	箇所			施工　第0-0040号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 400mm) 直管	111	口			施工　第0-0046号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 400mm) 異形管	30	口			施工　第0-0047号内訳表
栓設置撤去工(呼び径 400mm) 異形管	1	口			施工　第0-0048号内訳表
管明示シート工	667.4	m			施工　第0-0049号内訳表
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 400mm)	667.4	m			施工　第0-0050号内訳表
管明示テープ工（鋳鉄管布設工） 呼び径400mm×6000mm	667.4	m			施工　第0-0051号内訳表
合　　計	1	式			

管布設土工

工 種 明 細 表

工種　第0004号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土工（φ４００）	（　　1　　）	式			工種　第0005号明細表
アルミ矢板賃料	（　　1　　）	式			工種　第0006号明細表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	1,330	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	670	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	1,100	m3			施工　第0-0052号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	33	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(有)リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	1,060	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	670	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	670	m2			施工　第0-0011号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	510	m3			施工　第0-0010号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ)	390	m3			施工　第0-0007号内訳表

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）	657.4	m			施工　第0-0053号内訳表
ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）	10.0	m			施工　第0-0054号内訳表
土留支保工（設置＋撤去） 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	657.4	m			施工　第0-0055号内訳表
土留支保工（設置＋撤去） 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	10.0	m			施工　第0-0056号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0006号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱﾙﾐ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）	657.4	m			
ｱﾙﾐ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	10.0	m			
ｱﾙﾐ矢板整備費	2.3	t			
ｱﾙﾐ矢板賃料	68.4	t			
合　　計	1	式			

交通管理工

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員	(1)	式			工種　第0008号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導警備員

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員 B	348	人日			施工　第0-0057号内訳表
合　　計	1	式			

仮設材運搬費

工 種 明 細 表

工種　第0009号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	2.3	t			施工　第0-0058号内訳表
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	2.3	t			施工　第0-0059号内訳表
合　　計	1	式			

試掘調査工

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
試掘調査工	5	箇所			代価　第0001号内訳表
合　　計	1	式			

通水試験費

工 種 明 細 表

工種　第0011号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
通水試験費 給水車不要の場合	1	回			施工　第0-0060号内訳表
合　　計	1	式			

試掘調査工

代 価 表

代価　第0001号内訳表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	6.0	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	2.0	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工　第0-0004号内訳表
掘削（人力） 土砂 現場制約あり	1.0	m3			施工　第0-0006号内訳表
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	1.0	m3			施工　第0-0007号内訳表
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）	1.7	m3			施工　第0-0010号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工　第0-0011号内訳表
仮復旧工［密粒度[再](13)］ 厚 5cm	2.0	m2			施工　第0-0013号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	0.1	m3			施工　第0-0016号内訳表

試掘調査工

代 価 表

代価　第0001号内訳表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
残塊処分工(土砂) 〔(有)リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	2.9	m3			施工　第0-0020号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0001号内訳表

［規格１］As舗装版厚->15cm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ 切削深20cm級 [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式]				ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ				舗道版切断 ｶｯﾀｰﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径22ｲﾝﾁ			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	=1 =1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下						

施工単価表

施工　第0-0002号内訳表　　頁0-0023/0073

舗装版取壊し積込工

［規格１］舗装厚⇒0cm越え　10cm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 B　舗装厚		=3 =1	山積0.28m3 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下		

施工単価表

施工　第0-0004号内訳表

掘削積込工(補助的作業なし)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			

掘削（人力）

積算単価算出表

施工　第0-0006号内訳表

［規格１］土砂 現場制約あり　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=4	現場制約あり						

施工単価表

施工　第0-0007号内訳表　　頁0-0026/0073

埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ （0～2.5mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=6 =3	ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0010号内訳表　　頁0-0027/0073

埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=5 =3	再生切込砕石 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0011号内訳表　　頁0-0028/0073

路盤工(粒調砕石)

［規格１］上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm ［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 （0～25mm･0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　路盤工種別 B　施工幅 C　路盤材の種類		=1 =1 =2	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 粒調砕石		
D　仕上り厚		=6	10cm		

施工単価表

施工　第0-0013号内訳表　　頁0-0029/0073

仮復旧工 ［密粒度[再](13)］

［規格１］厚 5cm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13		t			
振動ﾛｰﾗ運転		日			
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転		日			
諸雑費		%			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			

施工単価表

施工　第0-0016号内訳表　　頁0-0030/0073

残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)

［規格１］〔加古川リサイクル(有)〕　［規格２］運搬距離　L=8.6km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->As塊・Co塊（無筋）	1	m3			施工　第0-0017号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	1	式			施工　第0-0019号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0017号内訳表　　頁0-0031/0073

運搬

［規格１］処理対象->As塊・Co塊（無筋）　［規格２］　［ 摘要 ］　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =2	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 As塊・Co塊（無筋）	（平積0.20m3）	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=8.6 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0019号内訳表　　頁0-0032/0073

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0020号内訳表

残塊処分工(土砂)

［規格１］〔(有)リテラ〕　［規格２］運搬距離　L=12.0km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->土砂	1	m3			施工　第0-0021号内訳表
処分費 土 砂	1	式			施工　第0-0022号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0021号内訳表　　頁0-0034/0073

運搬

［規格１］処理対象->土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 土砂	(平積0.20m3)	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=12 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0022号内訳表　　頁0-0035/0073

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =1 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0023号内訳表

ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=1040)

［規格１］鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁鉄蓋(円形3号) 明石市型	1	個			
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄM16×150 3ｹｾｯﾄ	1	個			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0024号内訳表

仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=640)

［規格１］鉄蓋含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
消火栓鉄蓋(円形3号) (損料) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200(損料)	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=100(損料)	1	個			
円形3号BOX 下部壁H=200(損料)	1	個			
円形3号BOX 底版H=40(損料)	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0025号内訳表　　頁0-0038/0073

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ400

［規格１］固定材料含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾎﾟﾘｽﾘｰﾌﾞ φ400 粉体塗装管用	128	m			
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50㎜） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定製品 ｴｺﾏｰｸ認定品	190.4	m			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0026号内訳表　　頁0-0039/0073

鋳鉄管吊込み据付（機械力）

［規格１］呼び径　400mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き		日			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=1 =8 =2	据付 呼び径　400mm 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0027号内訳表　　頁0-0040/0073

鋳鉄管切断･溝切り加工(同時)

［規格１］呼び径400mm、GX形継手　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機(GX用切断機)		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　継手種別 B　呼び径 D　★★ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機 機械損料（円/日）		=3 =8 =	GX形 400mm ★★ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機 機械損料（円/日）		

施工単価表

施工　第0-0028号内訳表

ＧＸ継手挿口加工（呼び径 400mm）

［規格１］タッピンねじ式　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　継手種別 B　固定方式 C　呼び径		=3 =2 =8	ＧＸ形 タッピンねじ式 呼び径 400mm		

施工単価表

施工　第0-0029号内訳表　　頁0-0042/0073

ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(鋳鉄製)設置(機械力)

［規格１］縦型ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁　呼び径　400mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き		日			
単　位　当　り	1	基			
A　作業区分 B　ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁種別 C　呼び径		=1 =1 =5	設置 縦型ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁 呼び径　400mm		
D　現場状況		=2	普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0030号内訳表

円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=1040)

［規格１］鉄蓋設置含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置工(円形3号　内径500)	1	個			施工　第0-0031号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0032号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 中部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0033号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 中部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0033号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 下部壁 高さ 300mm	1	個			施工　第0-0034号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 底版	1	個			施工　第0-0035号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0031号内訳表

鉄蓋設置工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=1 =3	設置 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0032号内訳表　　頁0-0045/0073

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =2	設置 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0033号内訳表　　頁0-0046/0073

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =3	設置 3号　内径500 中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0034号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =4	設置 3号　内径500 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0035号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 底版　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =5	設置 3号　内径500 底版		

施工単価表

施工　第0-0036号内訳表　　頁0-0049/0073

仮消火栓工

［規格１］設置撤去 継手工1口含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0037号内訳表　　頁0-0050/0073

フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)

［規格１］ＪＷＷＡ 7.5K　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　規格 C　呼び径		=1 =1 =2	接合 ＪＷＷＡ 7.5K 呼び径　75(80)mm		

施工単価表

施工　第0-0038号内訳表

フランジ継手 取外し(呼び径　75(80)mm)

［規格１］ＪＷＷＡ 7.5K　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　規格 C　呼び径		=2 =1 =2	取外し ＪＷＷＡ 7.5K 呼び径　75(80)mm		

施工単価表

施工　第0-0039号内訳表　　頁0-0052/0073

フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)

［規格１］ＪＷＷＡ　10Ｋ　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　規格 C　呼び径		=1 =2 =2	接合 ＪＷＷＡ　10Ｋ 呼び径　75(80)mm		

施工単価表

施工　第0-0040号内訳表

仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=640)

［規格１］鉄蓋設置撤去含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置・撤去工(円形3号　内径500)	1	個			施工　第0-0041号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0042号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形3号　内径500 中部壁 高さ 100mm	1	個			施工　第0-0043号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形3号　内径500 下部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0044号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形3号　内径500 底版	1	個			施工　第0-0045号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0041号内訳表

鉄蓋設置・撤去工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=3 =3	設置・撤去 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0042号内訳表　　頁0-0055/0073

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =3 =2	設置・撤去 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0043号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 中部壁 高さ 100mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =3 =3	設置・撤去 3号　内径500 中部壁		
D　高さ		=2	高さ 100mm		

施工単価表

施工　第0-0044号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 下部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =3 =4	設置・撤去 3号　内径500 下部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0045号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 底版　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =3 =5	設置・撤去 3号　内径500 底版		

施工単価表

施工　第0-0046号内訳表　　頁0-0059/0073

ＧＸ継手接合(呼び径 400mm)

［規格１］直管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =8 =1	接合 呼び径 400mm 直管		

施工単価表

施工　第0-0047号内訳表　　頁0-0060/0073

ＧＸ継手接合(呼び径 400mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =8 =2	接合 呼び径 400mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0048号内訳表　　頁0-0061/0073

栓設置撤去工(呼び径 400mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
配管工		人			(取外し)
普通作業員		人			(取外し)
諸雑費		%			(取外し)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=3 =8 =2	接合・取外し 呼び径 400mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0049号内訳表

管明示シート工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0050号内訳表　　頁0-0063/0073

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 400mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=8	呼び径 400mm		

施工単価表

施工　第0-0051号内訳表

管明示テープ工（鋳鉄管布設工）

［規格１］呼び径400mm×6000mm　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径・寸法(mm)		=9	呼び径400mm×6000mm		

施工単価表

施工　第0-0052号内訳表　　頁0-0065/0073

掘削積込工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0053号内訳表　　頁0-0066/0073

ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き		日			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業種別 B　掘削深 C　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3 =2 =3	建込＋引抜 掘削深 2.0m以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0054号内訳表

ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き		日			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業種別 B　掘削深 C　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3 =3 =3	建込＋引抜 掘削深 2.5m以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0055号内訳表　　頁0-0068/0073

土留支保工（設置＋撤去）

［規格１］　［規格２］切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　施工区分 B　切梁種別 C　設置段数		=3 =1 =1	設置＋撤去 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 設置段数 1段 2.0m以下		

施工単価表

施工　第0-0056号内訳表　　頁0-0069/0073

土留支保工（設置＋撤去）

［規格１］　［規格２］切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ　［ 摘要 ］　100　m　当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A 施工区分 B 切梁種別 C 設置段数		=3 =1 =2	設置＋撤去 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 設置段数 2段 3.5m以下		

施工単価表

施工　第0-0057号内訳表

交通誘導警備員 B

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　人日　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単　位　当　り	1	人日			
A　交通誘導警備員区分 B　労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		

施工単価表

施工　第0-0058号内訳表

仮設材等の運搬

［規格１］製品長->12m以内　［規格２］　［ 摘要 ］　1　t　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬費	1.00	t			
単　位　当　り	1	t			
A　製品長 B　運搬距離　(km) C　深夜早朝割増		=1 =10 =1	製品長->12m以内 運搬距離　(km) 深夜早朝割増　なし		

施工単価表

施工　第0-0059号内訳表　　頁0-0072/0073

仮設材等の積込み・取卸し

［規格１］〔積込み取卸し(往復分)〕　［規格２］　［ 摘要 ］　1　t　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
積込み･取卸し費 仮設材		t			
単　位　当　り	1	t			
A　作業種別		=4	〔積込み取卸し(往復分)〕		

施工単価表

施工　第0-0060号内訳表　　頁0-0073/0073

通水試験費

［規格１］給水車不要の場合　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　4　回　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	4	回			
単　位　当　り	1	回			

工　事　設　計　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第３次整備事業費	
工事番号	04-1202							設計年月日	令和 4年 11月 15日
着工番号								精算年月日	令和 4年 11月 15日

施工理由			
施工箇所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年9月30日まで
工事名称	西部配水場自然No.5配水管布設工事(その2)	支払い方法	前払金 あり（40%以内） 中間前払金 あり（20%以内） 部分払 あり （3回以内）
工事概要	配水管布設工計 L=675.7m 配水管布設工 φ200 L=667.2m φ100 L=8.5m 仕切弁設置工 φ200 4基 φ100 1基 消火栓設置工 φ200 3基 φ100 1基 仮配水管布設撤去工 1式 既設管撤去工 1式 舗装復旧工 1式		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増減	円	増減	円	増減	円	増減	円

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費					
管路(開削)					
φ100管路					
φ100管布設工		式		1	
材料		式		1	
DGX-S 直管　φ100×4000	ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含)	本		2	
DGX 曲管　φ100×22°　1/2	ロックリング含	個		2	
DGX 曲管　φ100×11°　1/4	ロックリング含	個		1	
DGX 両受曲管　φ100×22°　1/2	ロックリング含	個		1	
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管　φ100×　75	10K　ロックリング含	個		1	
DGX 継ぎ輪　φ100	ロックリング含	個		1	
不断水簡易ﾊﾞﾙﾌﾞ(鋳鉄管用)　φ100		基		1	
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し)　φ100	ロックリング含	基		1	
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=440)	鉄蓋含む	組		1	
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=1040)	鉄蓋含む	組		1	
ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)　φ75×65	JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa	基		1	
補修弁（ｷｬｯﾌﾟ式）φ75×100	JWWA B 126,1.0MPa	基		1	
ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)　φ　75	10K　LSPﾊﾟｯｷﾝ	組		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
消火栓ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=440)	鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	組		1	
GX形G-Linkｾｯﾄ　φ100	切管異形管受用	組		5	
GX形接合ｾｯﾄ　φ100	異形管・V用	組		5	
GX形ﾗｲﾅ　φ100	ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	組		2	
表示帯		m		8.5	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100	固定材料含む	m		8.5	
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m）	年号入り	巻		1	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径　100mm	m		8	
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	口		4	
不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ設置工(鋳鉄管用)　φ100		基		1	
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	基		1	
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=1040)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
消火栓(地下式 単口)設置工	機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	箇所		1	
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)	ＪＷＷＡ　10Ｋ	口		1	
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)	直管	口		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)	G-Linkの接合	口		5	
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)	異形管	口		5	
管明示シート工		m		8.5	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 100mm)		m		8.5	
管明示テープ工（鋳鉄管布設工）	呼び径100mm×4000mm	m		8.5	
φ100管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		17	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		5	
掘削積込工		m3		6	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔加古川リサイクル(有)〕	m3		0.3	
残塊処分工(土砂)	〔(有)リテラ〕	m3		6	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		5	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		5	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		3	
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		2	
φ200管路					
φ200管布設工		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
材料		式		1	
DGX-S 直管　φ200×5000	ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含)	本		132	
DGX 曲管　φ200×45°	ロックリング含	個		6	
DGX 曲管　φ200×22° 1/2	ロックリング含	個		5	
DGX 曲管　φ200×11° 1/4	ロックリング含	個		2	
DGX 曲管　φ200×5° 5/8	ロックリング含	個		6	
DGX 両受曲管　φ200×45°	ロックリング含	個		3	
DGX 両受曲管　φ200×22° 1/2	ロックリング含	個		2	
DGX 乙字管　φ200×450H	ロックリング含	個		1	
DGX 二受T字管　φ200×100	ロックリング含	個		1	
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管　φ200× 75	10K　ロックリング含	個		3	
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し)　φ200	ロックリング含	基		3	
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(両受)　φ200	ロックリング含	基		1	
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=440)	鉄蓋含む	組		4	
ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)　φ75×65	JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa	基		3	
補修弁（ｷｬｯﾌﾟ式）φ75×100	JWWA B 126,1.0MPa	基		3	
ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)　φ 75	10K　LSPﾊﾟｯｷﾝ	組		6	
消火栓ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=440)	鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	組		3	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
GX形P-Linkｾｯﾄ φ200	切管直管受用	組		6	
GX形G-Linkｾｯﾄ φ200	切管異形管受用	組		7	
GX形接合ｾｯﾄ　φ200	異形管・V用	組		32	
GX形ﾗｲﾅ φ200	ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	組		25	
表示帯		m		667.2	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ200	固定材料含む	m		667.2	
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m）	年号入り	巻		62	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径　200mm	m		665.1	
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径200mm	口		13	
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁　呼び径　200mm	基		4	
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440)	鉄蓋設置含む	箇所		4	
消火栓(地下式 単口)設置工	機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	箇所		3	
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)	ＪＷＷＡ　10Ｋ	口		3	
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440)	鉄蓋設置含む	箇所		3	
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)	直管	口		132	
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)	P-Linkの接合	口		6	
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)	G-Linkの接合	口		7	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)	異形管	口		32	
栓設置撤去工(呼び径 200mm)	異形管	口		1	
管明示シート工		m		667.2	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 200mm)		m		667.2	
管明示テープ工（鋳鉄管布設工）	呼び径200mm×5000mm	m		667.2	
付帯工		式			
仮配管布設工		式		1	
仮配水管材料		式		1	
仮配管材(賃料)　φ80		m		196.5	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ(賃料)　φ80		基		8	
仮消火栓(賃料)　φ80	仮消火栓,仮ﾁｰｽﾞ	基		4	
仮給水管取出(賃料)　φ80×φ20,φ25	仮取出短管	箇所		15	
仮給水管取出(賃料)　φ80×φ30,φ40,φ50	仮取出短管80X50,仮V,仮MJ50	箇所		4	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)	鉄蓋含む	組		8	
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)	鉄蓋含む	組		4	
仮配水管布設手間		式		1	
仮配水管布設撤去工φ80	継手工含む	m		196.5	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ80	継手工含む	基		8	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
仮消火栓設置撤去工φ80	埋設用、継手工含む	基		4	
仮給水取出設置撤去工φ80×φ20,25	継手工含む	箇所		15	
仮給水取出設置撤去工φ80×φ30,40,50	仮ﾊﾞﾙﾌﾞ、仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ、継手工含む	箇所		4	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		8	
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		4	
仮給水管材料		式		1	
仮給水切替材料φ20		箇所		15	
仮給水切替材料φ30		箇所		1	
仮給水切替材料φ40		箇所		1	
仮給水切替材料φ50		箇所		2	
HIVP管　φ　20	JIS K 6742	m		34.2	
HIVP管　φ　30	JIS K 6742	m		3.8	
HIVP管　φ　40	JIS K 6742	m		4.3	
HIVP管　φ　50	JIS K 6742	m		4	
仮給水管布設手間		式		1	
仮給水切替工φ20		箇所		15	
仮給水切替工φ30		箇所		1	
仮給水切替工φ40		箇所		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
仮給水切替工φ50		箇所		2	
硬質塩化ビニル管 据付・撤去	呼び径　20mm	m		34.2	
硬質塩化ビニル管 据付・撤去	呼び径　30mm	m		3.8	
硬質塩化ビニル管 据付・撤去	呼び径　40mm	m		4.3	
硬質塩化ビニル管 据付・撤去	呼び径　50mm	m		4	
仮配管・仮給水管土工		式		1	
仮配水管・仮給水管土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		500	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		200	
掘削積込工		m3		33	
掘削積込工(補助的作業なし)		m3		17	
掘削(人力)	土砂	m3		15	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔加古川リサイクル(有)〕	m3		10	
残塊処分工(土砂)	〔(有)リテラ〕	m3		39	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		199	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		100	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		14	
埋戻工（埋戻し材->流用土）		m3		23	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		18	
既設管撤去工		式		1	
既設管撤去手間		式		1	
硬質塩化ビニル管 撤去	呼び径　75mm	m		197.1	
鋳鉄管吊込み撤去（機械力）	呼び径　100mm	m		101.3	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管(既設管)撤去切断工	φ75mm	口		66	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	口		35	
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去	縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	基		2	
既設円形1号ﾎﾞｯｸｽ撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		2	
消火栓(地下式 単口)撤去工	機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	箇所		3	
既設円形3号ﾎﾞｯｸｽ撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		3	
現場発生品・支給品運搬	スクラップ分	回		2	
現場発生品・支給品運搬	廃プラスチック類	回		1	
処分費(廃プラスチック類)		t		0.8	
既設管撤去土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		12	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		3	
掘削積込工		m3		4	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔加古川リサイクル(有)〕	m3		0.2	
残塊処分工(土砂)	〔(有)リテラ〕	m3		4	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		3	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		3	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石)		m3		4	
舗装復旧工		式		1	
ｱｽﾌｧﾙﾄ1層式		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		70	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		1,920	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔加古川リサイクル(有)〕	m3		96	
不陸整正工(粒調砕石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		1,920	
表層(車道・路肩部)	ｔ＝５０mm	m2		1,920	
交通誘導員設置					
交通誘導員		式		1	
交通誘導員設置		式		1	
交通誘導警備員　Ｂ		人日		210	
試掘調査		式		1	
試掘調査工		箇所		5	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
通水試験費		式		1	
通水試験費	給水車不要の場合	回		3	
スクラップ控除		式		1	
鉄屑	故銑 B	t		2.5	

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
1	一般共通事項

※　1　現場代理人の兼務

※　1　本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。

※　2　合併工事

※　1　本工事は、他部署との合併工事はない。

※　3　近接工事

※　1　発注時に、近接工事として兵庫県発注の大道池地区ため池改修工事（その1）を確認している。互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。

※　4　占用関係

1　国道(　　)　　2 県道(　　)
3　市道(　　)　　4 法定外道路(　　)
5　港湾(　　)　　6 河川(　　)

※　7　その他(里道　　)

上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。

※　5　協議関係(上記占用以外)

1　鉄道等(　　)
2　バス道等(　　)
3　学校関係(　　)

※　4　その他(魚住まちづくり協議会　　)

上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。

※　6　工事の範囲

※　1　当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。

※　7　交通誘導警備員

※　1　交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。

種類	合計	送水管布設工事	配水管布設工事	給水管切替工事
A	0名	0名	0名	0名
B	582名	348名	210名	24名
合計	582名	348名	210名	24名

1日1現場当り4名(標準)
1日1現場当りT字交差点部 5名

※ 1日1現場当り車両通行止め6名
その他1日1現場当り追加　1名(バス停)

※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。

交通誘導警備員A;警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	交通誘導警備員B；警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの ※　2　本現場は車両通行止めでの工事を見込んでいる。現場着手の1か月以上前から必要な位置に予告看板等を設置し、車両通行止めとなる旨の周知を行うこと。 ※　8　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について ※　1　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。 ※　9　断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について ※　1　受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。 ※　2　上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。 ※　3　上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。 ※　4　受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 （放水用器具1セット：消火栓スタンド，バルブキー2本，放水用ホース） ※　10　工事日報について ※　1　工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を**2週間以内**にセンター監督員に提出すること。 ※　2　工事日報は以下の工種について提出するものとする。 ①　試掘工　　②　仮配水管，仮給水管布設撤去工 ③　水道本管布設撤去工（残置処理配管共） ④　給水管布設工　　⑤　水圧試験 ⑥　白紙様式3枚（検査合格報告書分） なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。 ※　3　その他内容については、水道工事標準仕様書（6.提出書類）に基づくものとする。 ※　11　工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について ※　1　本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならず、発注者においては（保険金額→対物500万円以上・保険期間→工期内）とすること。なお、上記保険については掛金相当額が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。 また、明石市工事請負契約約款第51条（火災保険等）に基づき、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。 ※　12　その他事項 ※　1　設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。 ※　2　工期については、送水管布設工事及び配水管布設工事については契約締結日の翌日から令和5年9月30日まで、給水管切替工事については、令和5年3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算について、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年9月30日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年9月30日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。 ※　3　当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。 ※　4　間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
2	管きょ工 ※　1　使用材料 ※　1　使用材料確認願（様式29-1）には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図（承認図）（不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ、割T字管（付属ﾊﾞﾙﾌﾞ）、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、ｻﾄﾞﾙ分水栓、その他監督員が必要と認める材料）とする。 ※　2　土木工事承諾願（様式30-1）には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図（承認図）またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。 ※　3　水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。 ※　4　在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。 ※　2　一体化長さ ※　1　設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。 ※　2　上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。 ※　3　管の据付 ※　1　管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。 ※　2　木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。 ※　4　消火栓・空気弁 ※　1　丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。 ※　2　消火栓及び空気弁の口の高さは、GL－20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。 ※　3　フランジ部で使用するボルトは75㎜以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。 ※　5　水圧試験 ※　1　標準仕様書5.10（1）について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0％以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管　　・口径は300㎜以下　　・試験延長合計は100m未満 ※　6　現場発生品の処分 ※　1　既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は(株)窪田窪商店で運搬距離は2.9kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。その場合は、設計変更の対象としない。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	2　既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」（平成17年8月、厚生労働省健康局水道課）を参考として作業を行うこと。その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。 ※　3　既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター（播磨事業所）、運搬距離9.5km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。 ※　7　スクラップの種類 ※　1　撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。 ※　8　その他事項 ※　1　本工事における仮配水管の供用日数について、31～60日までとして計上している。

章	
3	土工事 1　重機 1　特殊車両（一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両）を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。 ※　2　アスファルト切断 ※　1　アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。 ※　3　配水管布設時の掘削幅 ※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050

※　4　配水管布設時の掘削深

※　1　配水管布設時の掘削深は、土被り＋布設管外径（D2)+100を基本とする。

※　2　既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100㎜程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。

※　3　会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。

※　4　会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350㎜以下の場合、延長500㎜、深さ200㎜、φ400㎜以上の場合、延長800㎜、深さ500㎜とし、幅はそれぞれの掘削幅とする。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	

※　5　仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	400	450	500	550	600	700
深さ	400	450	500	550	600	800

2　矢板有の場合の掘削幅、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	700	750	800	850	900	1000

※　3　仮給水管設置撤去時の掘削幅は400㎜、掘削深は300㎜とすること。

4　直轄国道に布設撤去する場合は深さ600㎜以上とすること。

※　6　既設管撤去の掘削幅

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	550	600	650	700	900	950	1000

2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	850	850	850	850	950	1000	1050

※　7　給水管の掘削幅、掘削深、延長

※　1　分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600㎜、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600㎜、深さは既設管土被り＋既設管呼び径＋100㎜とする。

※　2　給水管部は、幅500㎜、延長は給水管延長（本管～止水栓距離）－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。

※　8　掘削・埋戻し

※　1　埋戻し一層厚さ20cm未満とする。

※　2　水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。

※　3　管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。

※　9　残土・殻処分地

※　1　処分地は特記仕様書(追記)参照。

※　2　特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

※　10　各種試験

※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。

※　上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　11　仮設材の運搬 ※　1　仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。 なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。 ※　12　その他事項 ※　1　工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。

章	
4	舗装工 ※　1　舗装前準備 ※　1　既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、 異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。 ※　2　下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧 前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。 ※　3　他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と 高さ調整の程度（＋〇cm等）が分かるものを提出すること。 ※　4　舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか 監督員と協議すること。 5　切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）及び土木工事施工管理基準 （兵庫県県土整備部監修）に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の 承諾を得たのち、施工すること。 ※　2　不陸整正工 ※　1　補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※　3　乳剤散布 ※　1　ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※　4　アスファルト舗装工 ※　1　当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。 その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、 自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど 注意喚起すること。 ※　5　区画線工 1　インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色) の区画線は設置しないこと。 ※　2　施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※　3　ガラスビーズを配合すること。 ※　6　各種試験 ※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める必要な試験等について、 試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　2「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 ※　1　アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m2未満について省略する。 ※　2　アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m2以上500m2未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m2未満については省略する。 ※　3　表層の平坦性・・・省略する ※　4　既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。

特記仕様書（追記）

1　建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	㈲リテラ
所在地	高砂市米田町島763-1
運搬距離	12.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2　特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

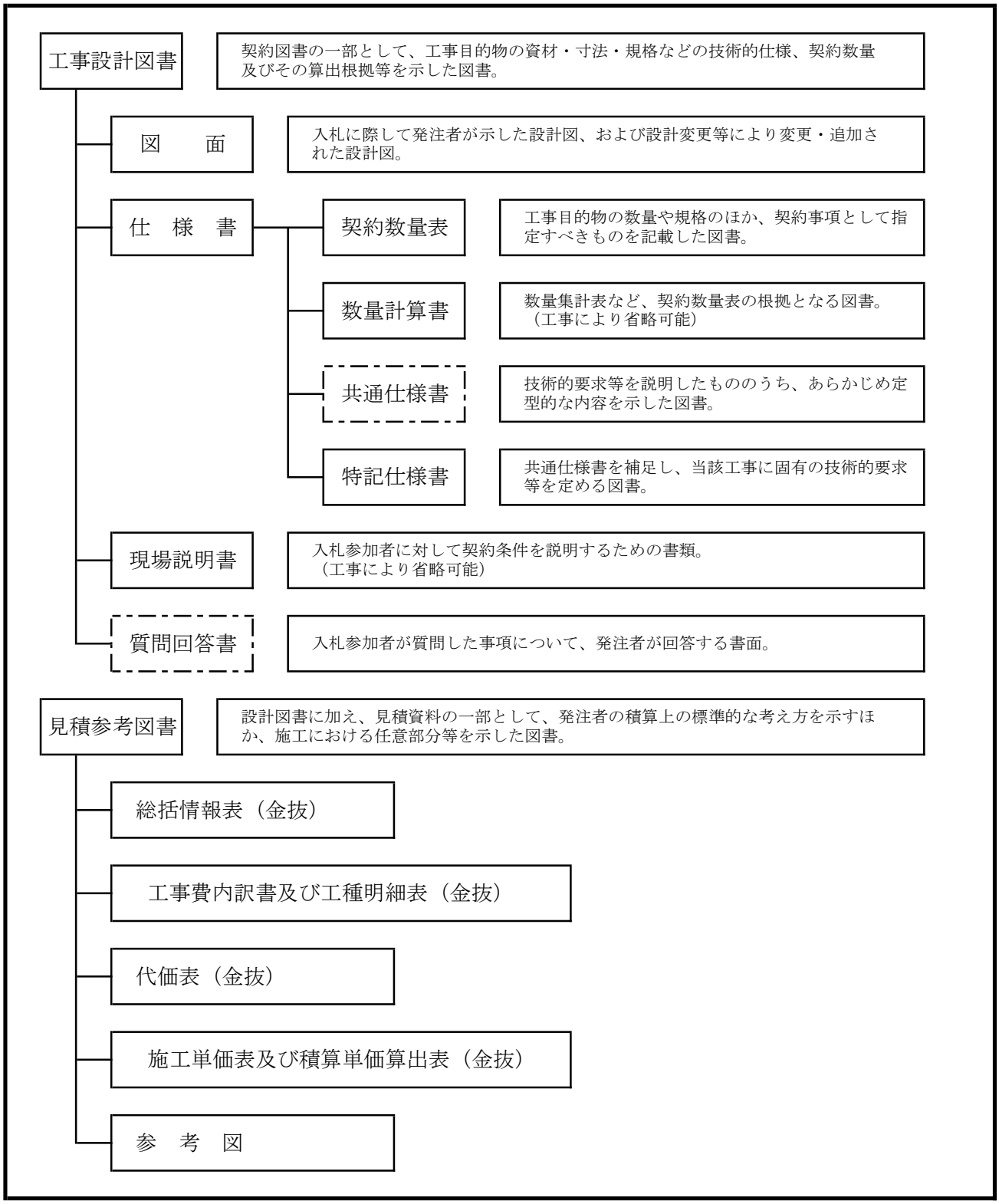
2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	加古川リサイクル㈲
所在地	加古川市野口町水足字東代123-25
運搬距離	8.6km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

３ 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款　第１条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水 道 工 事 標 準 仕 様 書

1　総　則

1.1（適　用）

1　水道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、明石市水道局が発注する水道管（導水・送水・配水）を布設する工事及び給水管工事（以下「工事」という。）に係る工事請負契約書（頭書を含み以下「契約書」という。）及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。

2　契約書及び仕様書・契約数量表・設計図（以下「設計図書」（標準仕様書を除く）という。）に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。

3　本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準（明石市水道局）及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）の水道編の第 2 章第 2 節については、適用しない。

1.2（法令等の厳守）

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3（書類の提出）

1　受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。

2　提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4（監督員）

1　監督員とは、水道法第 12 条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員（主任監督員及び監督員）をいう。

1.5（工事実績データの登録）

水道工事を 2 件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が 500 万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6（目的物の引渡し）

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼（引渡書）を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2　安全管理

2.1（事故防止）

1　工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。

2　掘削及び埋戻工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

3　受注者は熱中症対策等について充分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2（事故発生時の措置）

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3（現場の整理整頓）

1　受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。

2　受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3　工事施工

3.1（一般事項）

1　受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

2　施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。

3　受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2（現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査）

1　近接構造物（家屋含む）の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。

2　施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。

3　当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。

4　給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。

5　その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3（地元説明）

1　受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。

2　工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

3　施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこれの軽減に努めること。

4　工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。

5　受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。

6　給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起こらないようにすること。

3.4（試掘調査）

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

・試掘断面の地下埋設物の状況　　・既設舗装構成
・設計図書通りの撤去・埋設が可能か　　・既設管の外面腐食等の異常の有無
・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5（夜間工事）

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないよう十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6（立会）

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
・その他監督員が必要と判断した事項

3.7（工事関係書類の整備）

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4　材料

4.1（水道材料の規格）

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合については、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

(1)　K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。

(2)　特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

(3)　K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。

(4)　フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。

(5)　フランジ部の紛体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。

(6)　弁栓類等で使用するフランジの規格は２種（0.75MPa）とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。

(7)　仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。

(8)　鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓（空気弁）鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。

(9)　割T字管の分岐口径φ150 以下について、密着コアを使用すること。

(10)　サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。

(11)　直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。

(12)　表示帯(管明示シート)は、15cm 幅 2 倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。

(13)　管明示テープは、5 cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2（土木材料の規格）

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

(1)　スクリーニングスは、JIS　A5001　F-2.5 とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。

(2)　再生砕石は、路盤部分は RC-30 とし、その他は RC-40 とする。

(3)　粒調砕石は、M-30 とする。

(4)　再生密粒度アスファルトは、最大粒径 13 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(5)　再生粗粒度アスファルトは、最大粒径 20 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(6)　再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径 25 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

4.3（水道材料の確認）

1　受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。

2　現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。

3　仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。

4　支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式 15) を提出すること。

5　管布設工事

5.1（配管技能者）

1　受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はＴ・Ｋ形管等の一般継手（φ450 ㎜以下)、耐震登録はＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手（φ450 ㎜以下)、大口径は一般継手と耐震継手（全口径）を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、ＮＳ形・耐震管の受講証については、その口径のＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。

2　受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。

3　受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準（明石市水道局）に基づき監督・指導すること。

4　受注者は、上記以外の管種（配水用ポリエチレン管・鋼管等）の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2（工種の制限）

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3（断水を伴う連絡工事）

1　断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。

2　断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は 13 時 30 分から 16 時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輌等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。

3　断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。

4　万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4（広報活動）

1　断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。

2　断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3　上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4　受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5（ボルトの締め付け）

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの 7 割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6（使用機材）

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは､先端角度が90°から100°､ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7（管の明示）

1　管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2　表示帯（管明示シート）は、管天より 40cm の位置に丁寧に設置すること。

5.8（仮消火栓）

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9（仮舗装復旧）

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10（水圧試験）

1　水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1)　通常配管（以下の特殊箇所以外）の場合、試験水圧を 0.75MPa とする。30 分間以上の経過後、低下率 1.0%以内を許容限度とする。

(2)　不断水工事の割Ｔ字管箇所は、試験水圧を 1.25MPa とする。ただし、既設管の状態が悪い場合（ＦＣ管又は表面の腐食等が激しい場合）・ＡＣＰ管・ＶＰ管の場合は、最高試験水圧は 1.0MPa 以下でもよい。5 分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3)　中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧 0.50MPa を負荷して 5 分経過後に 0.40MPa 以上保持することを確認するものとする。

(4)　管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5)　配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2　給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11（水道メーターの確認）

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6　提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

1　工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別)、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長)、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（Ａ４サイズ）で作成すること。

2　竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1)　配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎)、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値は㎜表示とし、整数１位を四捨五入とし、２位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d.配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2)　消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他３点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3)　仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4)　掘削断面に他企業埋設管（下水管，ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置，口径がわかるように図示すること。

3　竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（Ａ３サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、ＰＰユニオン、ＰＰエルボ、ＶＰユニオン、止水栓、ボックス、ＰＰパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

４　その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1 部	JPEG(A1・カラー・解像度 200dpi 以上)で保存した CD を提出
竣工図(焼き図)(原則 A1 サイズ)	竣工時	4 部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横 15cm×縦 23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD 及び DVD で提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

＊　竣工図書は、Ｂ４Ａ４サイズの文書保存箱で工事名･施工年度等を明示して納品すること。

（施行期日）

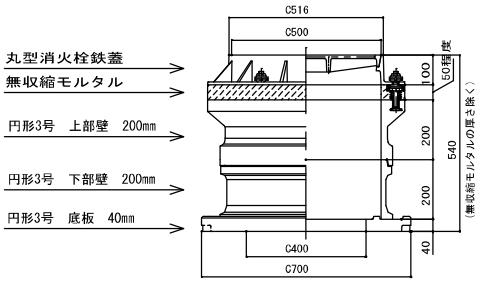
この仕様書は、2022 年 9 月 1 日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

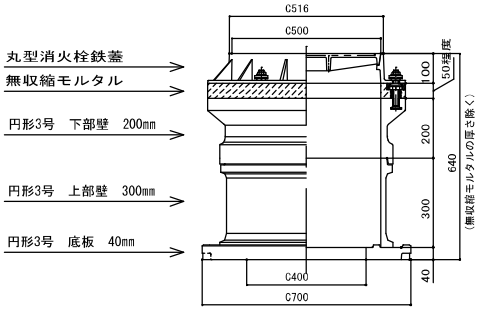
材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管直管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	GX形S種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鋳造
水道用ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ケレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ (接水部ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ｺﾞﾑ工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、ﾌﾗﾝｼﾞ形はｽﾃﾝﾚｽ製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋲螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製　緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管	明和工業㈱、㈱多久製作所
	PE管	㈱光明製作所

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

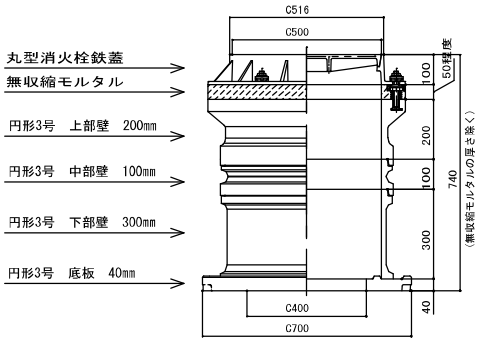
製品高さ　Ｈ＝５４０



製品高さ　Ｈ＝６４０



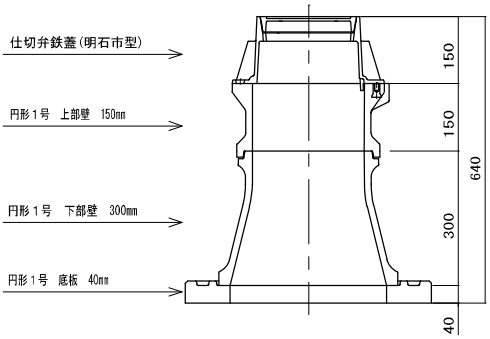
製品高さ　Ｈ＝７４０



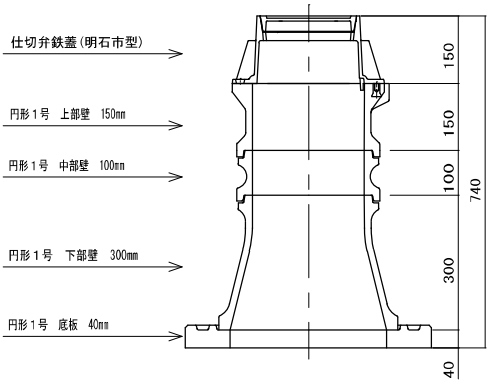
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道局	

円形1号ﾎﾞｯｸｽ組合せ図（標準図）

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図（標準図）
種類	円形1号ボックス
明石市水道局	

φ100配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)		本数	延長	備考
切管使用本数		2	6.100	
甲切管	DGX-G-S	2	3.100	
乙切管①	DGX-G-S	2	3.000	

名称・形質等			管長	当初 数量	当初 延長	備考
DGX-S	直管関係	φ100		2	6.100	
DGX	曲管	φ100×22° 1/2	0.380	2	0.760	
DGX	曲管	φ100×11° 1/4	0.360	1	0.360	
DGX	両受曲管	φ100×22° 1/2	0.120	1	0.120	
DGX	ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管	φ100×φ75	0.440	1	0.440	10K
DGX	継ぎ輪	φ100	0.200	1	0.200	
	不断水簡易ﾊﾞﾙﾌﾞ	φ100		1		
GX形	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し)	φ100	0.490	1	0.490	
	仕切弁室(明石Ｖ型)	H=440		1		
	仕切弁室(明石Ｖ型)	H=1040		1		
	ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)	φ75×φ65		1		
	補修弁(ｷｬｯﾌﾟ式)	φ75×100		1		10K
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)	φ75		2		10K
	消火栓室(明石Ⅳ型・丸型 車道)	H=440		1		
GX形	G-Linkｾｯﾄ	φ100		5		
GX形	接続部品	φ100		5		
GX形	ライナ	φ100		2		
	表示帯			8.5		
	ポリエチレンスリーブ	φ100		8.5		
	管明示テープ(区間距離×1.42／20＝)			1		
管材料延長計				8.470		

DGX-S φ100切管調書

直管　4.0 m

切管番号		延長	甲切管	乙切管②		乙切管 ①	管延長	残管延長	切断数	G-Link	P-Link	特殊押輪	
				1	2							K形	A形
2	1	4.00	DGX-G 2.00			DGX-G 1.00	3.00	1.00	2	2			
3	4	4.00	DGX-G 1.10			DGX-G 2.00	3.10	0.90	2	2			
						既設管接続箇所				1			
計							6.10	1.90	4	5			

φ100配水管(手間)

名称・形質等		数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工	φ100	8.0 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工	φ100	4 口	
不断水バルブ設置工	φ100	1 箇所	
仕切弁設置工	φ100	1 箇所	
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=440	1 箇所	円形1号
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=1040	1 箇所	円形1号
消火栓設置工		1 箇所	フランジ継手工φ75　1口含む
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75	1 口	10K　消火栓箇所
消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=440	1 箇所	円形3号
GX継手工（直管接合）	φ100	2 口	
GX継手工（異形管接合 G-Link使用）	φ100	5 口	
GX継手工（異形管接合）	φ100	5 口	
管明示シート工		8.5 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ100	8.5 m	
管明示テープ工	φ100	8.5 m	

φ100配水管土工集計表

	全体	土工無	土工5				
延長 箇所等	8.5		8.5				
会所掘 箇所	5		5				

工　　種	合計 数量	**採用 数量**	単位	土工5				
舗装版切断（As） t≦15cm	17.00	**17**	m	17.00				
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	5.10	**5**	m2	5.10				
掘削積込工	5.69	**6**	m3	5.69				
残塊処分工(As)	0.26	**0.3**	m3	0.26				
残塊処分工(土砂)	5.69	**6**	m3	5.69				
仮復旧工(密粒度(再)(13))	5.10	**5**	m2	5.10				
路盤工(粒調砕石） t=10cm	5.10	**5**	m2	5.10				
埋戻工(再生砕石）	2.81	**3**	m3	2.81				
埋戻工(スクリーニングス）	2.35	**2**	m3	2.35				

φ100配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ100	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
8.5	0.60	0.90	0.05	5	1.12	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鋳鉄管φ100	6.3	0.118	0.011

工種	施工厚	計算式						数量
			幅等		厚		延長	箇所等	
舗装版切断(As)　t≦15cm	0.05						8.5	×	2	17.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05		0.60		×		8.5			5.10
掘削積込工	1.07		0.60	×	1.07	×	8.5			5.69
		＋	0.60	×	0.20	×	0.50	×	5	
(管断面控除)		－	0.011			×	6.3			
残塊処分工(As)			5.10	×	0.05					0.26
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量								5.69
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05		0.60		×		8.5			5.10
路盤工(粒調砕石)	0.10		0.60		×		8.5			5.10
埋戻工(再生砕石)	0.55		0.60	×	0.55	×	8.5			2.81
埋戻工(スクリーニングス)	0.42		0.60	×	0.42	×	8.5			2.35
		＋	0.60	×	0.20	×	0.50	×	5	
(管断面控除)		－	0.011			×	8.5			

φ200配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)		当初 本数	当初 延長	備考
直管 (L= 5.0 m)		125	625.000	
切管使用本数		7	26.000	
甲切管	DGX-P-S	6	12.900	
	DGX-G-S	1	0.900	
乙切管①	DXG-G-S	6	12.200	

名称・形質等			管長	当初 数量	当初 延長	備考
DGX-S	直管関係	φ200		132	651.000	
DGX	曲管	φ200×45°	0.522	6	3.132	
DGX	曲管	φ200×22° 1/2	0.449	5	2.245	
DGX	曲管	φ200×11° 1/4	0.410	2	0.820	
DGX	曲管	φ200×5° 5/8	0.410	6	2.460	
DGX	両受曲管	φ200×45°	0.232	3	0.696	
DGX	両受曲管	φ200×22° 1/2	0.159	2	0.318	
DGX	乙字管	φ200×H450	1.201	1	1.201	
DGX	二受T字管	φ200×φ100	0.500	1	0.500	
DGX	フランジ付T字管	φ200×φ75	0.470	3	1.410	10K
GX形	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿型)	φ200	0.610	3	1.830	
GX形	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(両受型)	φ200	0.260	1	0.260	
	仕切弁室(明石Ｖ型)	H=440		4		
	ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)	φ75×φ65		3		
	補修弁(ｷｬｯﾌﾟ式)	φ75×100		3		10K
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)	φ75		6		10K
	消火栓室(明石Ⅳ型・丸型 車道)	H=440		3		
GX形	P-Linkｾｯﾄ	φ200	0.220	6	1.320	
GX形	G-Linkｾｯﾄ	φ200		7		
GX形	接続部品	φ200		32		
GX形	ライナ	φ200		25		
DGX	栓(異形管用)	φ200		1		既設再利用
	表示帯			667.2		
	ポリエチレンスリーブ	φ200		667.2		
	管明示テープ(区間距離×1.83／20＝)			62		
管材料延長計				667.192		

DGX-S φ200切管調書

直管　5.0 m

切管番号		延長	甲切管	乙切管②		乙切管 ①	管延長	残管延長	切断数	G-Link	P-Link	特殊押輪	
				1	2							K形	A形
4		5.00	DGX-P 3.50				3.50	1.50	1		1		
2	7	5.00	DGX-P 2.60			DGX-G 1.70	4.30	0.70	2	1	1		
3	9	5.00	DGX-P 2.60			DGX-G 1.70	4.30	0.70	2	1	1		
12	10	5.00	DGX-P 2.60			DGX-G 1.80	4.40	0.60	2	1	1		
13	1	5.00	DGX-G 0.90			DGX-G 1.90	2.80	2.20	2	2			
5	8	5.00	DGX-P 0.80			DGX-G 2.50	3.30	1.70	2	1	1		
11	6	5.00	DGX-P 0.80			DGX-G 2.60	3.40	1.60	2	1	1		
						既設管接続箇所							
計							26.00	9.00	13	7	6		

φ200配水管(手間)

名称・形質等		当初数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工	φ200	665.1 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工	φ200	13 口	
仕切弁設置工	φ200	4 箇所	
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=440	4 箇所	円形1号
消火栓設置工		3 箇所	フランジ継手工φ75　1口含む
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75	3 箇所	10K　消火栓箇所
消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=440	3 箇所	円形3号
GX継手工(直管接合)	φ200	132 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用)	φ200	6 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用)	φ200	7 口	
GX継手工(異形管接合)	φ200	32 口	
栓設置撤去工	φ200	1 口	
管明示シート工		667.2 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ200	667.2 m	
管明示テープ工	φ200	667.2 m	

仮配水管数量計算書(材料・手間)1

仮配水管総延長及び使用個数

口径別	総延長 (土工延長) (m)	仮バルブ (個)	仮消火栓 (個)	仮給水管取出(箇所)					
				20	25	30	40	50	75
全口径	202.7	8	4	15		1	1	2	
80	202.7	8	4	15		1	1	2	

口径別材料(賃料)及び設置撤去手間

種類	口径	材料			手間	
					設置	撤去
仮配管材	φ80	196.5			196.5	196.5
仮バルブ	φ80	0.269	8	2.152	8	8
仮消火栓	φ80	0.226	4	0.904	4	4
仮給水管取出し	φ80×20、25	0.150	15	2.250	15	15
	φ80×30、40、50	0.226	4	0.904	4	4

仮給水管(材料・手間)

仮給水管切替材料

箇所数計	19

口径	箇所数	手間		備考
		設置	撤去	
20	15	15	15	
30	1	1	1	
40	1	1	1	
50	2	2	2	

HIVP管(損料)

延長計 (m)	46.3

口径	延長	採用 数量	手間	
			設置	撤去
20	34.20	34.2	34.2	34.2
30	3.80	3.8	3.8	3.8
40	4.30	4.3	4.3	4.3
50	4.00	4.0	4.0	4.0

仮給水管個別集計表

箇所数	仮給水管 水平延長	土工延長
19	46.3	46.3

	当初						
家屋 番号	仮給水元 管種	口径		仮給水管 水平延長 (m)	土工 延長 (m)	道路種別	備考
		仮給 水元	仮給 水管				
1	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
2	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
3	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
4	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
5	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
6	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
7	仮配水管	80	20	0.6	0.6	車道As5	
8	仮配水管	80	50	0.6	0.6	車道As5	
9	仮配水管	80	40	4.3	4.3	車道As5	
10	仮配水管	80	20	3.8	3.8	車道As5	
11	仮配水管	80	20	3.8	3.8	車道As5	
12	仮配水管	80	20	3.8	3.8	車道As5	
13	仮配水管	80	20	3.6	3.6	車道As5	
14	仮配水管	80	20	3.6	3.6	車道As5	
15	仮配水管	80	50	3.4	3.4	車道As5	
16	仮配水管	80	20	3.8	3.8	車道As5	
17	仮配水管	80	20	3.8	3.8	車道As5	
18	仮配水管	80	20	3.8	3.8	車道As5	
19	仮配水管	80	30	3.8	3.8	車道As5	

仮配水管土工種別表

分岐元口径	延長（m）	車道As5 As5cm				
合計	202.7	202.7				
80		土工1				
	202.7	202.7				

仮給水管土工種別表

合計		土工1					
		車道As5cm計					
箇所	延長	箇所	延長				
19	46.3	19	46.3				

仮配水管・仮給水管土工集計表

工　　種	合計数量	採用数量	単位	小計	
				設置	撤去
舗装版切断（As） t≦15cm	498.00	500	m	498.00	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	199.20	200	m2	99.60	99.60
掘削積込工	33.01	33	m3	33.01	
掘削積込工(補助的作業なし)	16.79	17	m3		16.79
掘削(人力)	15.20	15	m3		15.20
残塊処分工(As)	9.96	10	m3	4.98	4.98
残塊処分工(土砂)	39.39	39	m3	33.01	6.38
仮復旧工(密粒度(再)(13))	199.20	199	m3	99.60	99.60
路盤工(粒調砕石) t=10cm	99.60	100	m2		99.60
埋戻工(再生砕石)	14.01	14	m3	14.01	
埋戻工(流用土)	23.05	23	m3		23.05
埋戻工(スクリーニングス)	17.98	18	m3	17.98	

工　　種	設置								
	小計	仮配水管					仮給水管		
		土工1					土工1		
舗装版切断(As)　t≦15cm	498.00	405.40					92.60		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	99.60	81.08					18.52		
掘削積込工	33.01	28.38					4.63		
残塊処分工(As)	4.98	4.05					0.93		
残塊処分工(土砂)	33.01	28.38					4.63		
仮復旧工(密粒度(再)(13))	99.60	81.08					18.52		
埋戻工(再生砕石)	14.01	12.16					1.85		
埋戻工(スクリーニングス)	17.98	15.20					2.78		

工　　種	撤去								
	小計	仮配水管					仮給水管		
		土工1					土工1		
舗装版取壊し積込工　t≦10cm	99.60	81.08					18.52		
掘削積込工(補助的作業なし)	16.79	12.16					4.63		
掘削(人力)	15.20	15.20							
残塊処分工(As)	4.98	4.05					0.93		
残塊処分工(土砂)	6.38	4.84					1.54		
仮復旧工(密粒度(再)(13))	99.60	81.08					18.52		
路盤工(粒調砕石) t=10cm	99.60	81.08					18.52		
埋戻工(流用土)	23.05	20.27					2.78		

仮配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石 10cm	

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ80	0.005	202.7	0.40	0.40	0.05	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式						数量
		幅等		厚		延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≦15cm	0.05					202.7 ×	2	405.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40			×	202.7		81.08
掘削積込工	0.35	0.40 ×		0.35 ×		202.7		28.38
残塊処分工(As)		81.08 ×		0.05				4.05
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量						28.38
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40			×	202.7		81.08
埋戻工(再生砕石)	0.15	0.40 ×		0.15 ×		202.7		12.16
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 × － 0.005		0.20 ×	× ×	202.7 202.7		15.20

撤去時

工種	施工厚	計算式						数量
		幅等		厚		延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40			×	202.7		81.08
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×		0.15 ×		202.7		12.16
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 × － 0.005		0.20 ×	× ×	202.7 202.7		15.20
残塊処分工(As)		81.08 ×		0.05				4.05
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		12.16 ＋		15.20 －		20.27 ÷	0.9	4.84
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40			×	202.7		81.08
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.40			×	202.7		81.08
埋戻工(流用土)	0.25	0.40 ×		0.25 ×		202.7		20.27

仮給水管　土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

掘削断面

仮給水延長	仮給掘削幅	掘削深(H)	スクリーニングス厚	既設舗装厚
46.3	0.40	0.30	0.15	0.05

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As)　t≦15cm	0.05	46.3 ×	2			92.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	46.3		18.52
掘削積込工	0.25	0.40 ×	0.25 ×	46.3		4.63
残塊処分工(As)		18.52 ×	0.05			0.93
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				4.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	46.3		18.52
埋戻工(再生砕石)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	46.3		1.85
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	46.3		2.78

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	46.3		18.52
掘削積込工(補助的作業なし)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	46.3		4.63
残塊処分工(As)		18.52 ×	0.05			0.93
残塊処分工(土砂)　　(流用土控除)		4.63	ー	2.78 ÷	0.9	1.54
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	46.3		18.52
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.40	×	46.3		18.52
埋戻工(流用土)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	46.3		2.78

既設管撤去

塩ビ管吊込み撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長 計	里道 As5cm		
合計	197.1	0.4				
75 0.002202 t/m	197.1	0.44				

鋳鉄管吊込み撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長 計	里道 As5cm		
合計	101.3	2.3	5.9	5.9		
100 0.023 t/m	101.3	2.33	5.9	土工1 5.9		

塩ビ管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所 計 (口)	既設管と 切断にて接 続箇所(口)	既設管連 続場所の 切断箇所 (口)	計算式
75	66		66	197.1/3

鋳鉄管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所 計 (口)	既設管と 切断にて接 続箇所(口)	既設管連 続場所の 切断箇所 (口)	計算式
100	35	1	34	101.3/3

仕切弁関係

口径	仕切弁 (不断水バルブ) (基)	仕切弁ﾎﾞｯｸｽ (箇所)
75		
100	2	2
合計	2	2

鉄蓋受枠部14kg/箇所
ﾎﾞｯｸｽ部41kg/箇所

消火栓関係

口径	消火栓 (基)	消火栓ﾎﾞｯｸｽ(箇所)
75	1	1
100	2	2
合計	3	3

鉄蓋受枠部50kg/箇所
ﾎﾞｯｸｽ部92kg/箇所

	管類	仕切弁関係	消火栓関係	計(t)	運搬回数
スクラップ処分	2.3	0.028	0.15	2.5	2
廃プラスチック類	0.4	0.082	0.276	0.8	1

既設管撤去土工集計表

工　　種	合計数量	採用数量	単位	土工1				
舗装版切断（As） t≦15cm	11.80	12	m	11.80				
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	3.25	3	m2	3.25				
掘削積込工	4.06	4	m3	4.06				
残塊処分工(As)	0.16	0.2	m3	0.16				
残塊処分工(土砂)	4.06	4	m3	4.06				
仮復旧工(密粒度(再)(13))	3.25	3	m2	3.25				
路盤工(粒調砕石) t=10cm	3.25	3	m2	3.25				
埋戻工(再生砕石)	3.80	4	m3	3.80				

既設管撤去　土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

既設管

管種	撤去延長
鋳鉄管 φ100	5.9

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.2	0.55	0.05	0.118	0.011	1.32	矢板無	

工種	施工厚	計算式						数量
		幅等		厚		延長	箇所等	
舗装版切断（As）t≦15cm	0.05					5.9 ×	2	11.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.55			×	5.9		3.25
掘削積込工	1.27	0.55	×	1.27	×	5.9		4.06
(管断面控除)		− 0.011			×	5.9		
残塊処分工(As)		3.25	×	0.05				0.16
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量						4.06
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55			×	5.9		3.25
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.55			×	5.9		3.25
埋戻工(再生砕石)	1.17	0.55	×	1.17	×	5.9		3.80

舗装復旧関係

里道車道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
1922.3	**1920**

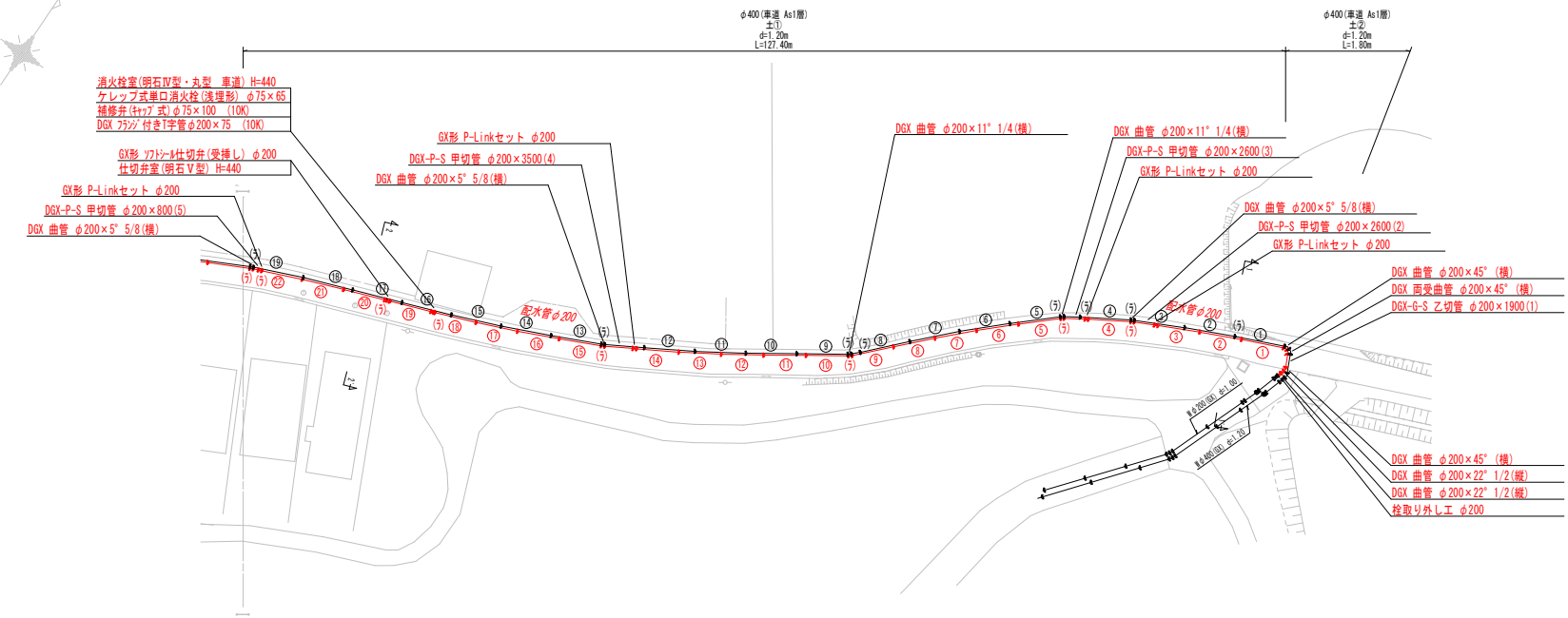
工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≦15cm	0.05	3.2 ＋ 25.5 ＋ 4.1 ＋ 6.2 ＋ 3.2 ＋ 4.9 ＋ 6.8 ＋ 3.5 ＋ 10.3 ＋ 2.0	69.70	**70**	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	1922.3	1922.3	**1920**	m2
残塊処分工(As)		1922.3 × 0.05	96.115	**96**	m3
不陸整正工(粒調砕石)	0.03	1922.3	1922.3	**1920**	m2
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	1922.3	1922.3	**1920**	m2

区画線関係

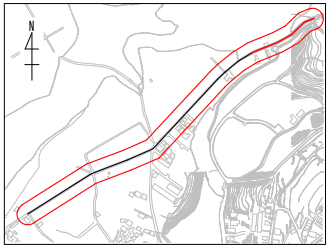
舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm　黄	消火栓廻り	2.2 ＋　2.2 ＋　2.2 ＋　2.2	8.8	9	m
			合計延長	9	m

配水管布設平面図(1)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000



配水管布設工総括　　L=675.7m

DCIP	GX-S	φ200	L=667.2m
DCIP	GX-S	φ100	L= 8.5m

断面図　S=1/100

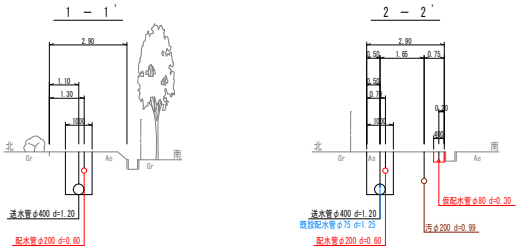
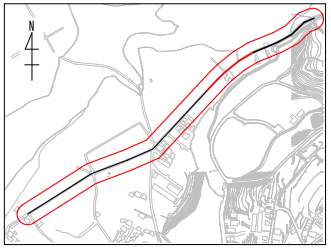


図　番	1 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・配水管布設平面図(1)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

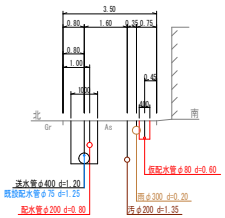
配水管布設平面図(2)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

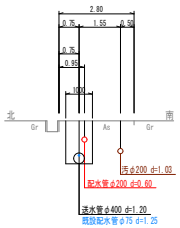


断面図　S=1/100

3 － 3'



4 － 4'



A － A'

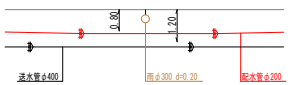
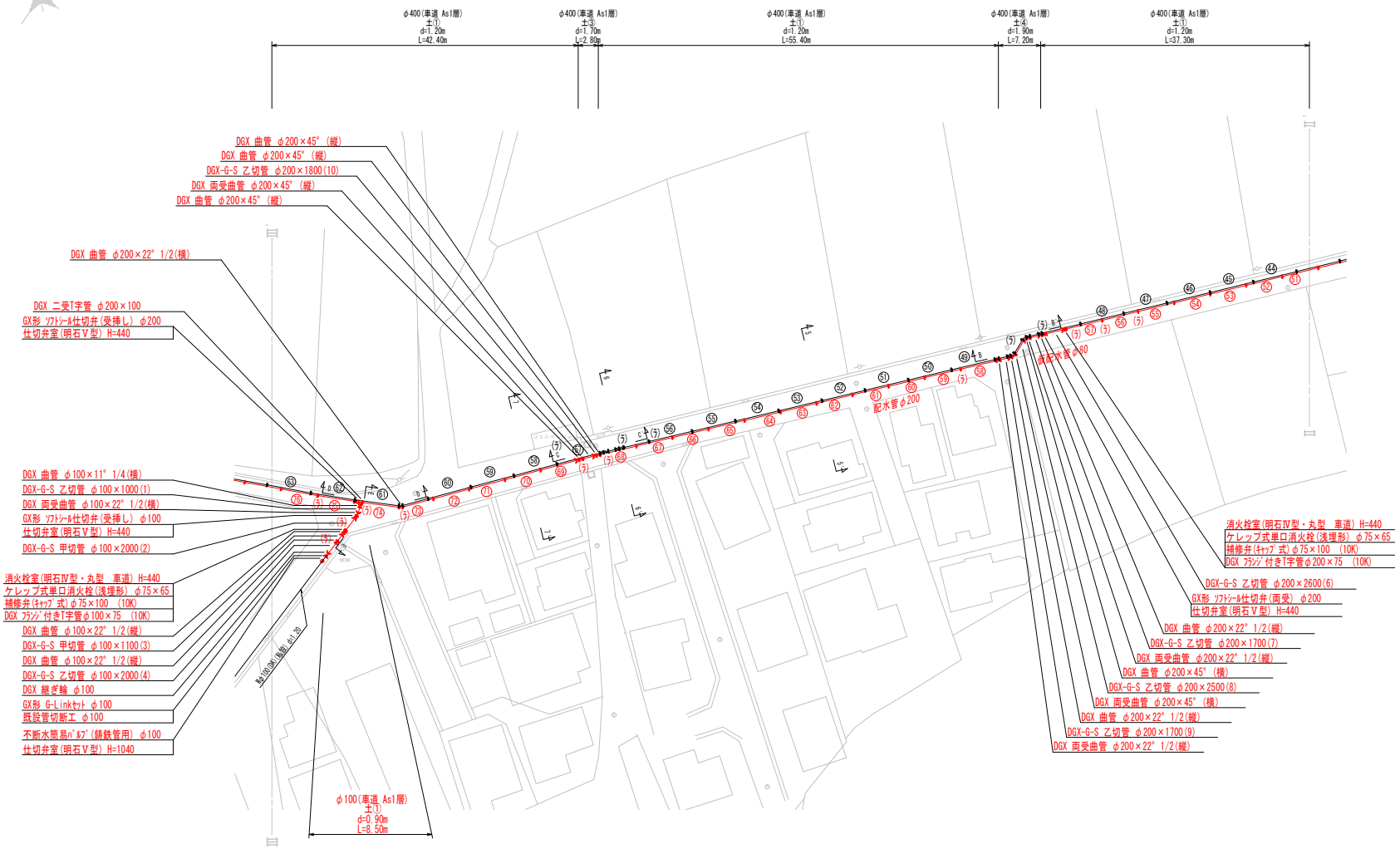
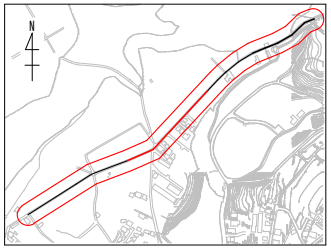


図　番	2 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・配水管布設平面図(2)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

配水管布設平面図(3)　S=1/300

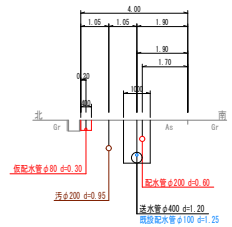


位置図　S = 1/ 5000

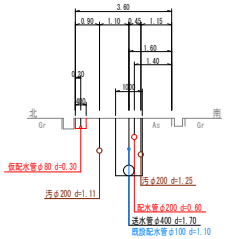


断面図　S=1/100

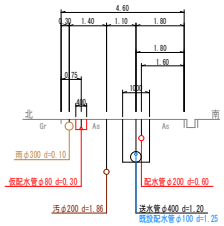
5 － 5'



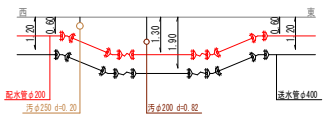
6 － 6'



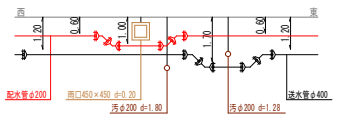
7 － 7'



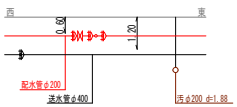
B － B'



C － C'



D － D'



E － E'

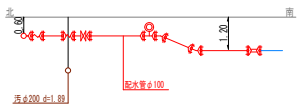
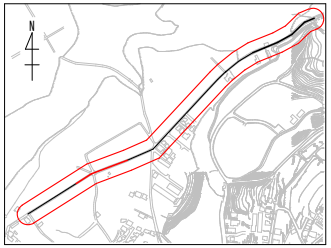
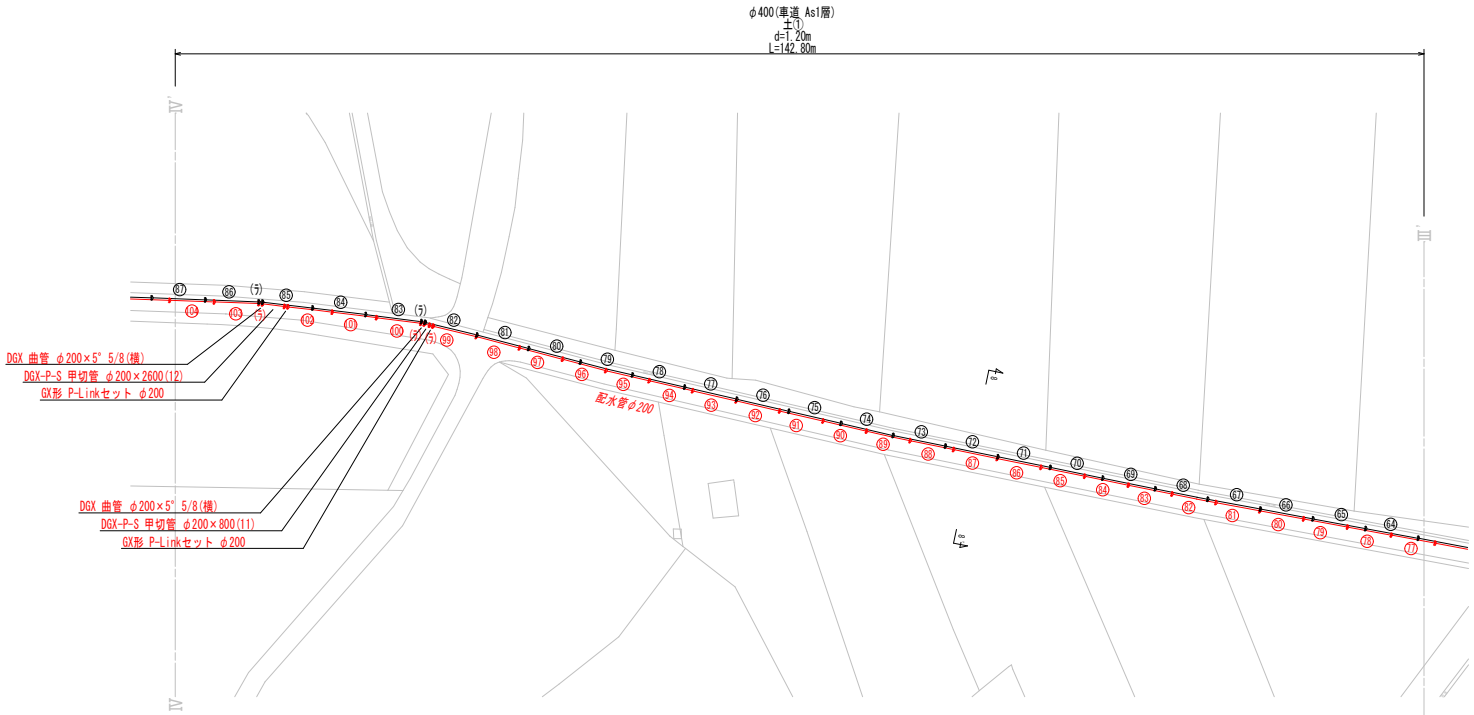


図　番	3 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No. 5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・配水管布設平面図(3)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

配水管布設平面図(4)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000





断面図　S=1/100

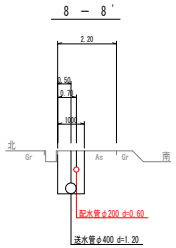
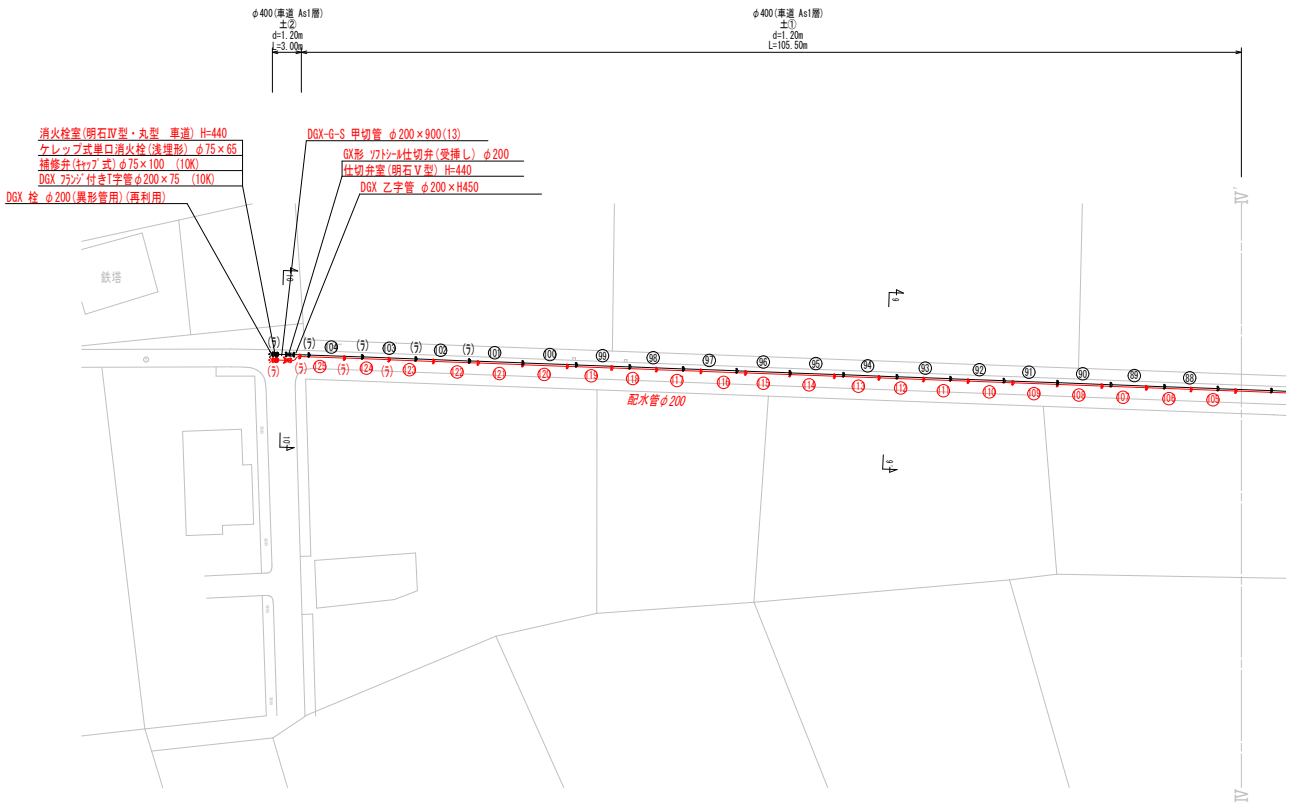
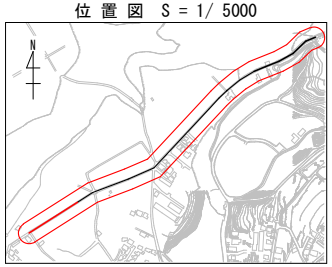


図　番	4 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・配水管布設平面図(4)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

配水管布設平面図(5)　S=1/300



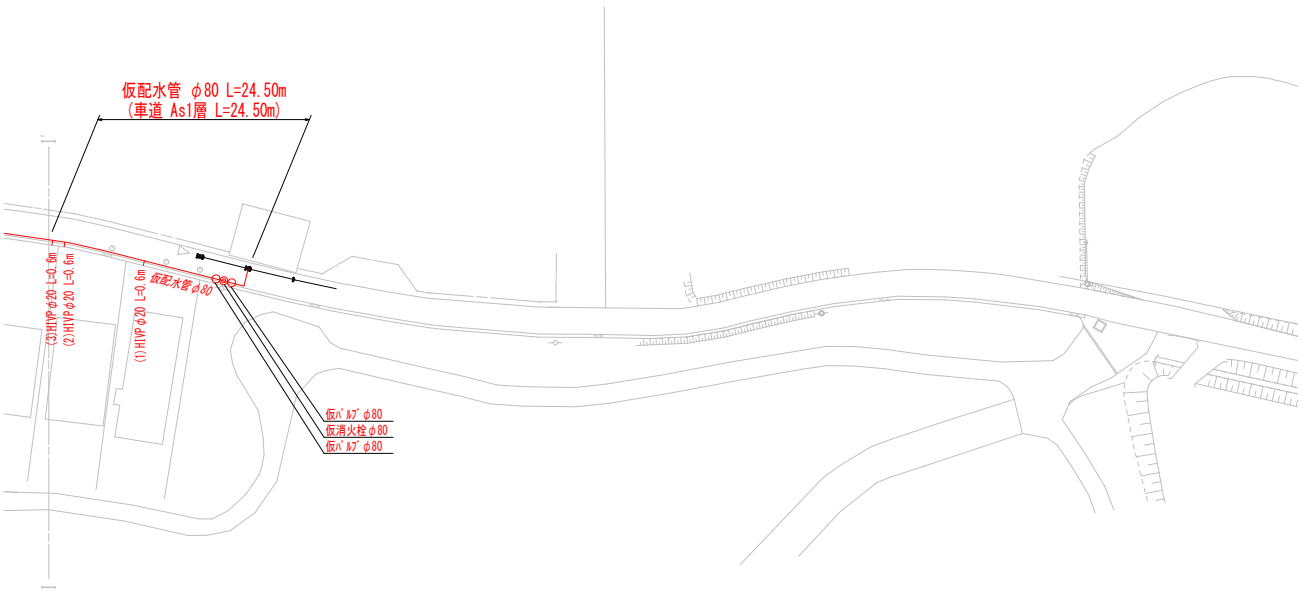
位 置 図　S = 1/ 5000



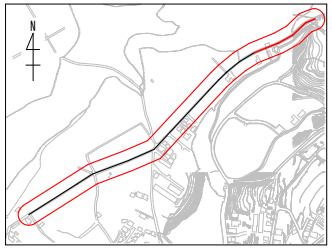
断面図　S=1/100

図　番	5 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・断面図・配水管布設平面図(5)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

仮配水管平面図(1)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000



仮配水管布設工　総括

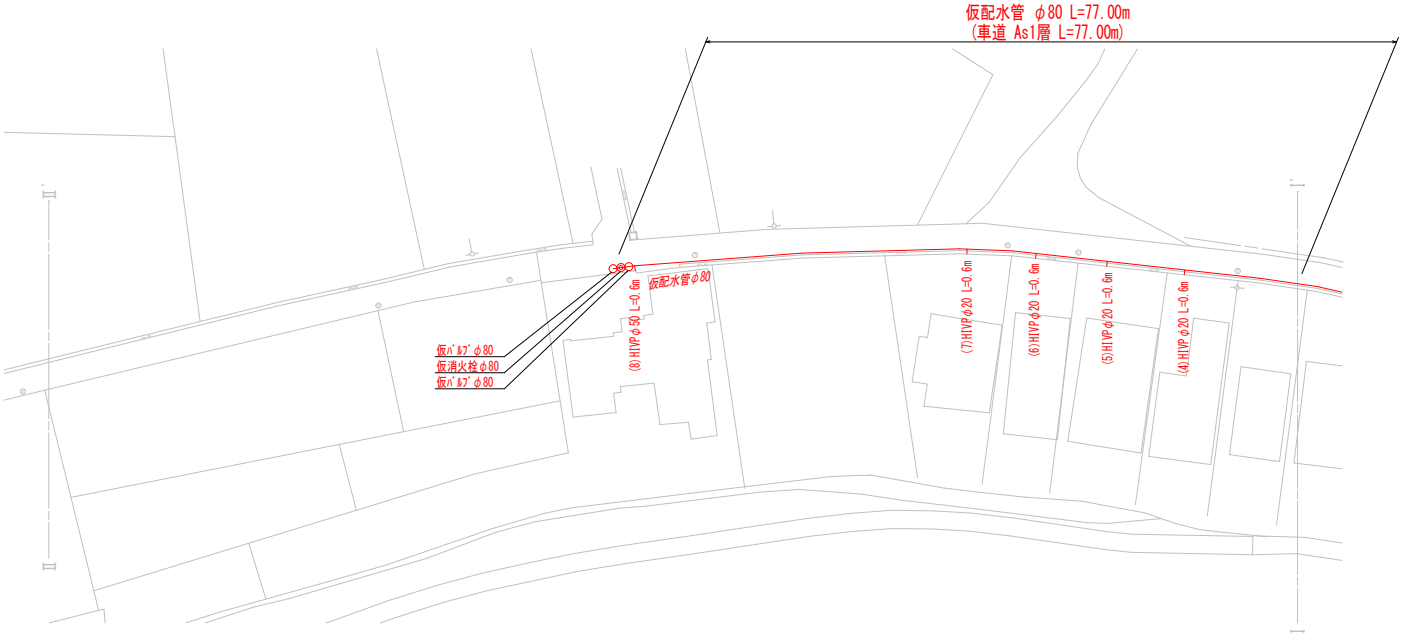
口径	車道As1層部
φ80	202.7

仮給水管切替　総括

口径	車道As1層部
φ80 ×φ20	15
φ80 ×φ30	1
φ80 ×φ40	1
φ80 ×φ50	2
総計	19

図　番	6 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・仮配水管平面図(1)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

仮配水管平面図(2)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000

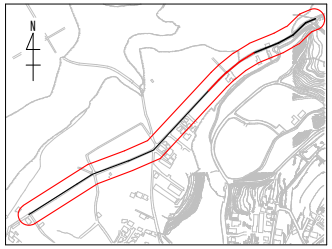
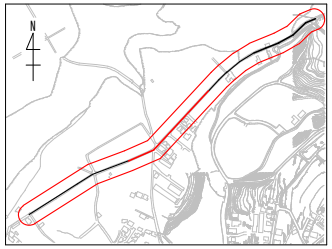


図　　番	7 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　　種	位置図・仮配水管平面図(2)		
場　　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

仮配水管平面図(3)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000



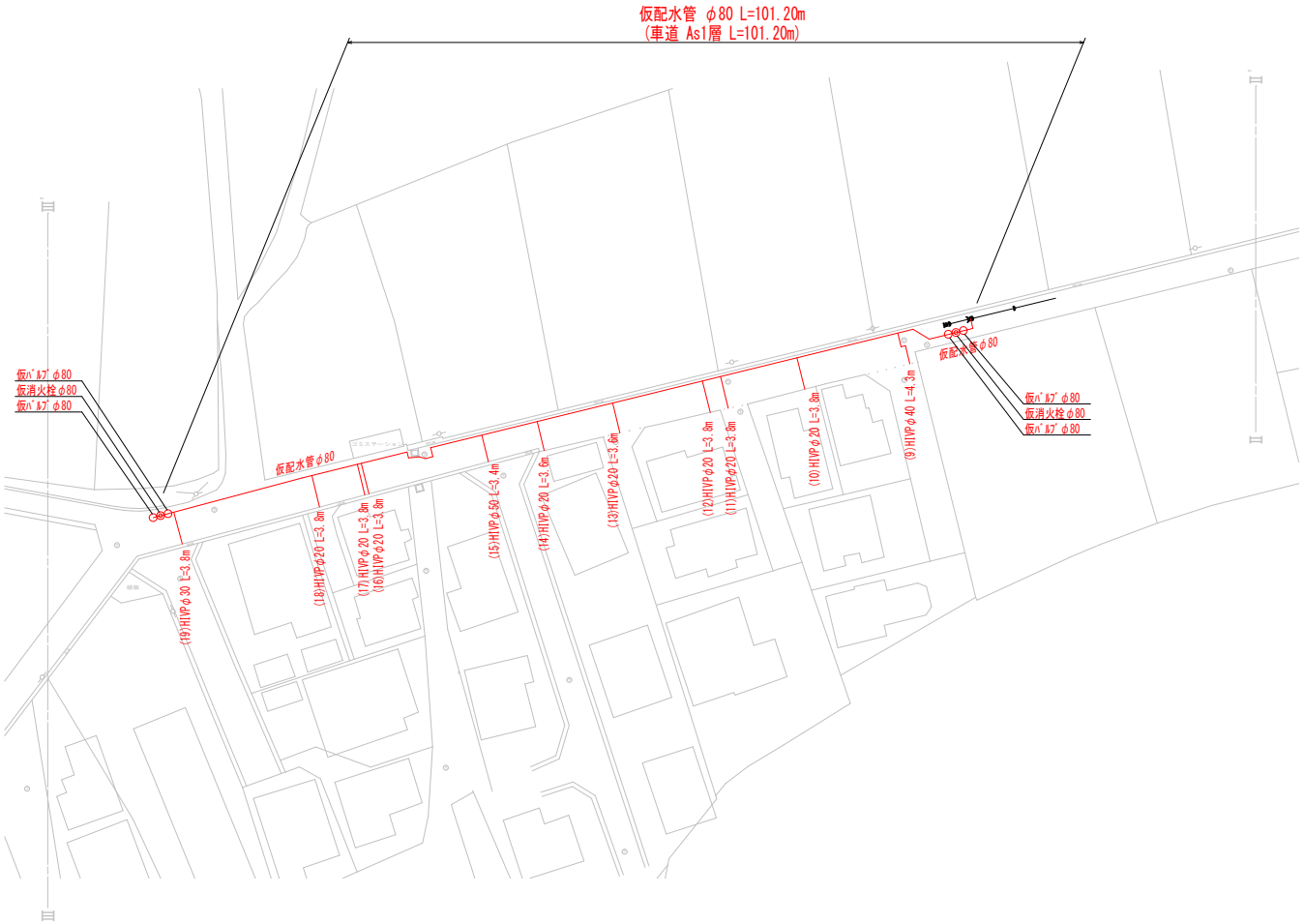
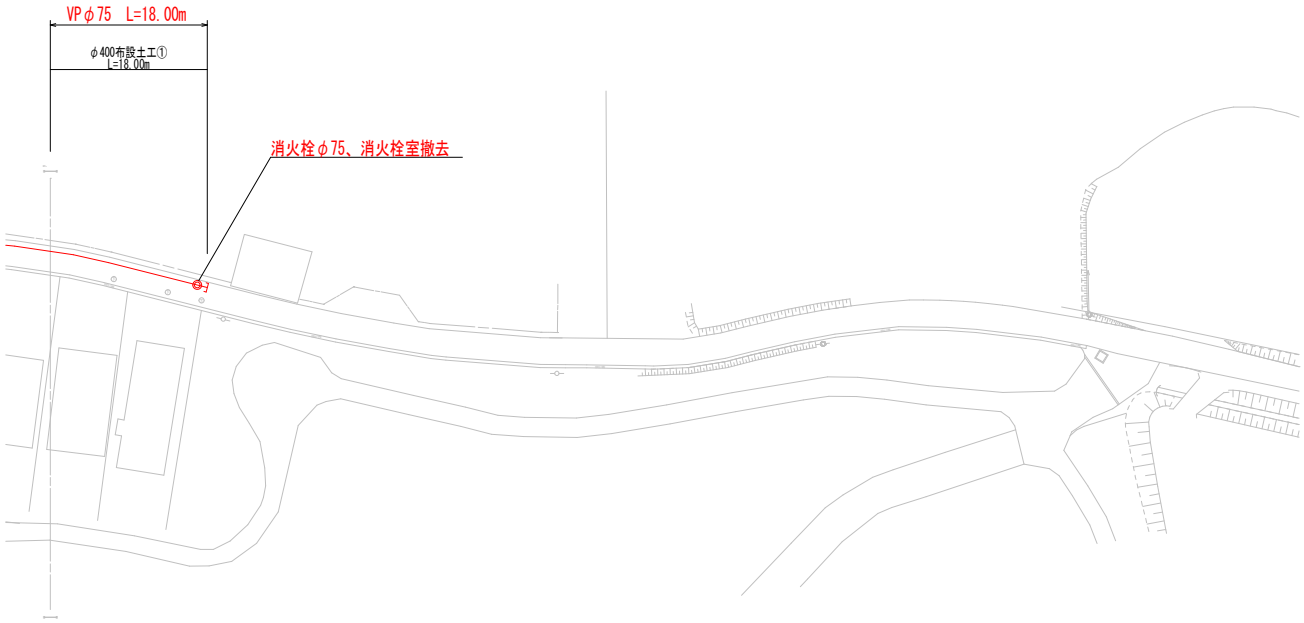
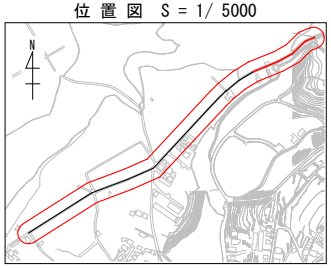


図　　番	8 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　　種	位置図・仮配水管平面図(3)		
場　　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

既設管撤去平面図(1)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000



配水管撤去工	計	L= 298.4 m	仕切弁撤去工	計	N=	2 基	消火栓撤去工	計	N=	3 基
V.P	φ75	L= 197.1 m(撤去)		φ100	N=	2 基		φ75	N=	1 基
D.C.I.P	φ100	L= 101.3 m(撤去)						φ100	N=	2 基

図　番	9 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・既設管撤去平面図(1)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

既設管撤去平面図(2)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

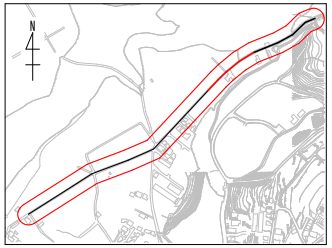
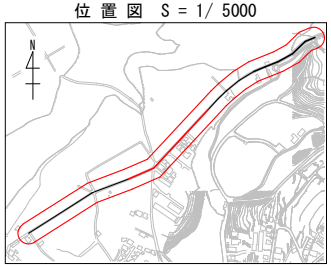


図　　番	10 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　　種	位置図・既設管撤去平面図(2)		
場　　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

既設管撤去平面図(3)　S=1/300

位置図　S = 1/ 5000



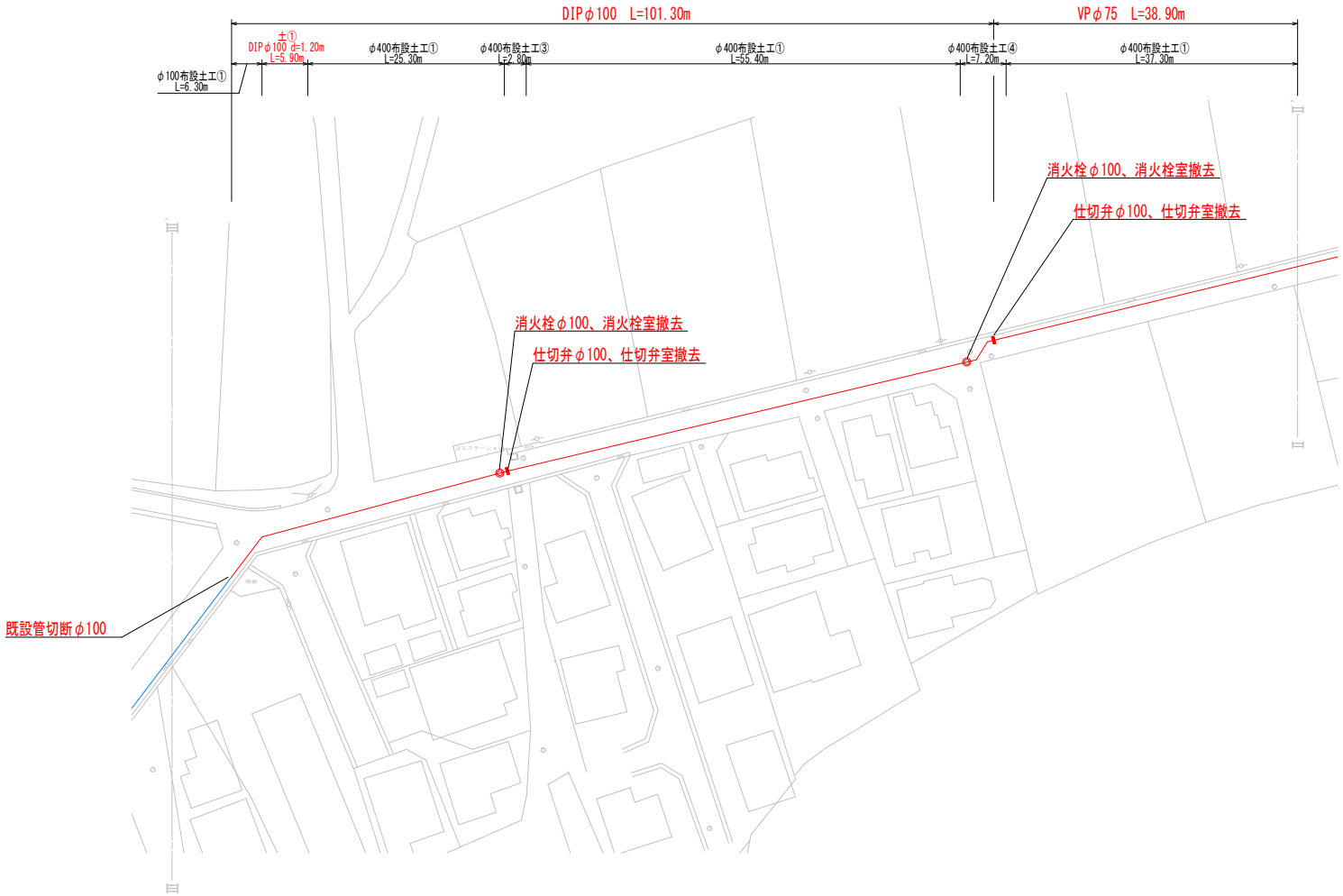
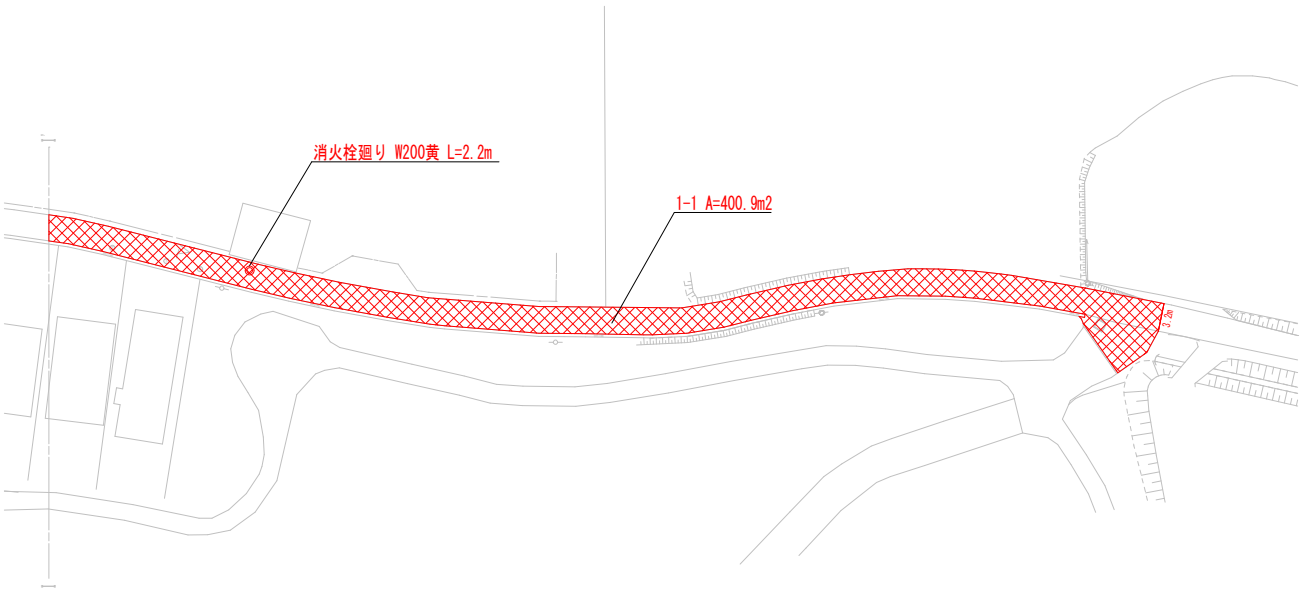
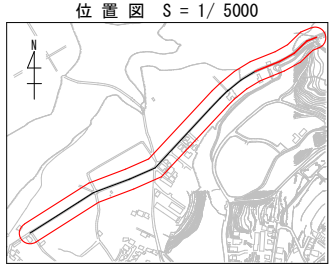


図　番	11 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・既設管撤去平面図(3)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

舗装復旧平面図(1)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000



市道車道As1層式

市道車道 As1層式5cm	
1-1	400.9
1-2	433.9
1-3	556.2
1-4	312.2
1-5	219.1
計	1922.3

舗装復旧工　総括

舗装工種	復旧面積(m2)
市道車道As1層式5cm	1922.3

区画線工　総括

工種	延長(m)
実線・W200黄　消火栓廻り	8.8

市道車道
As1層式5cm

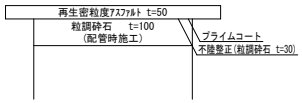
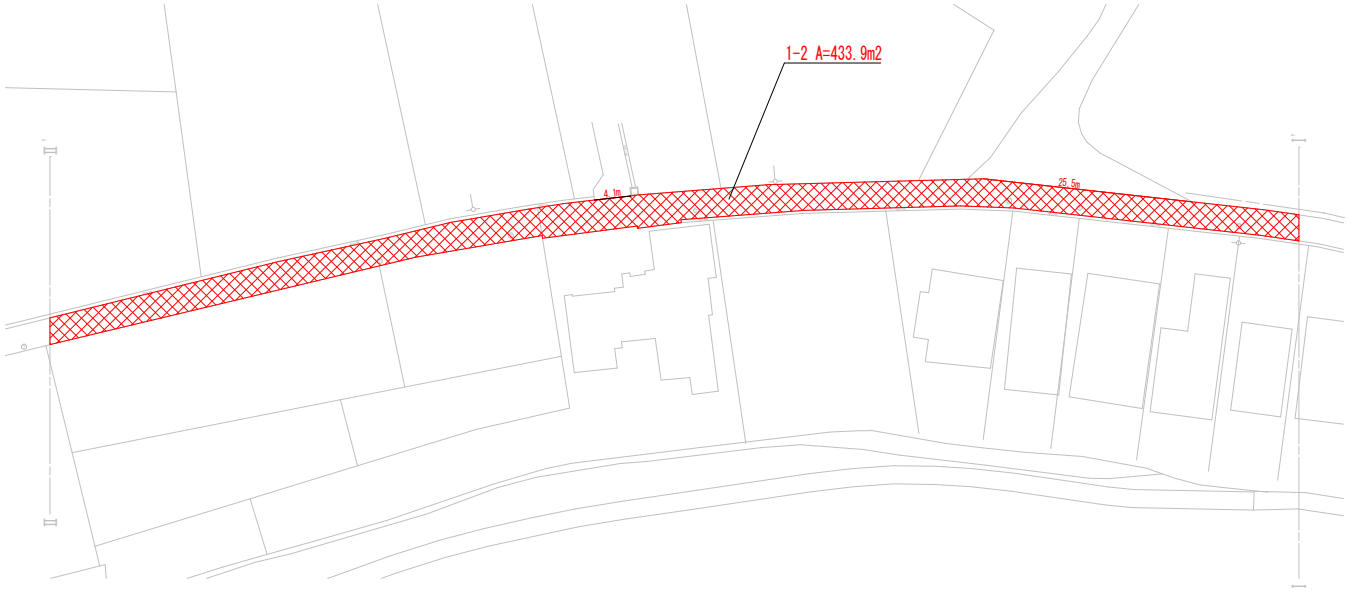
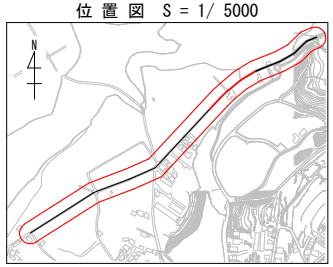


図　番	12 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・舗装復旧平面図(1)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

舗装復旧平面図(2)　S=1/300



位 置 図　S = 1/ 5000

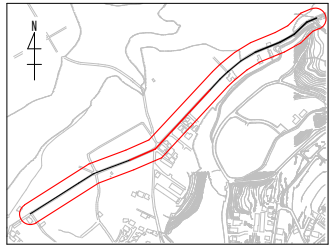


市道車道As1層式

図　番	13 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・舗装復旧平面図(2)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

舗装復旧平面図(3)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

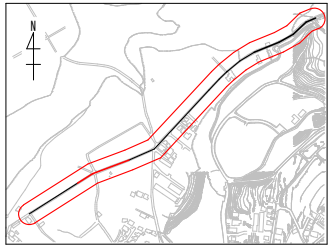


市道車道As1層式

図　　番	14 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　　種	位置図・舗装復旧平面図(3)		
場　　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

舗装復旧平面図(4)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

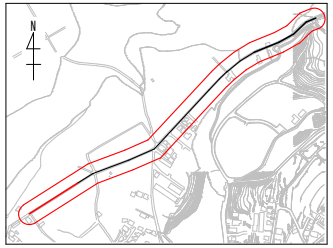


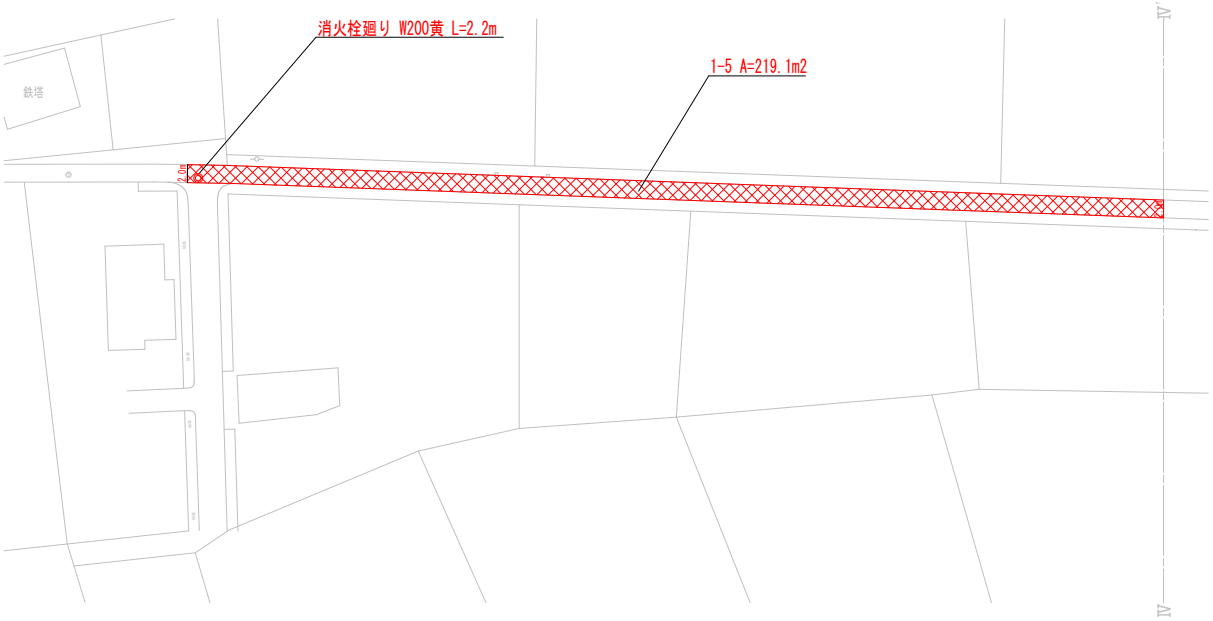
市道車道As1層式

図　番	15 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・舗装復旧平面図(4)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

舗装復旧平面図(5)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

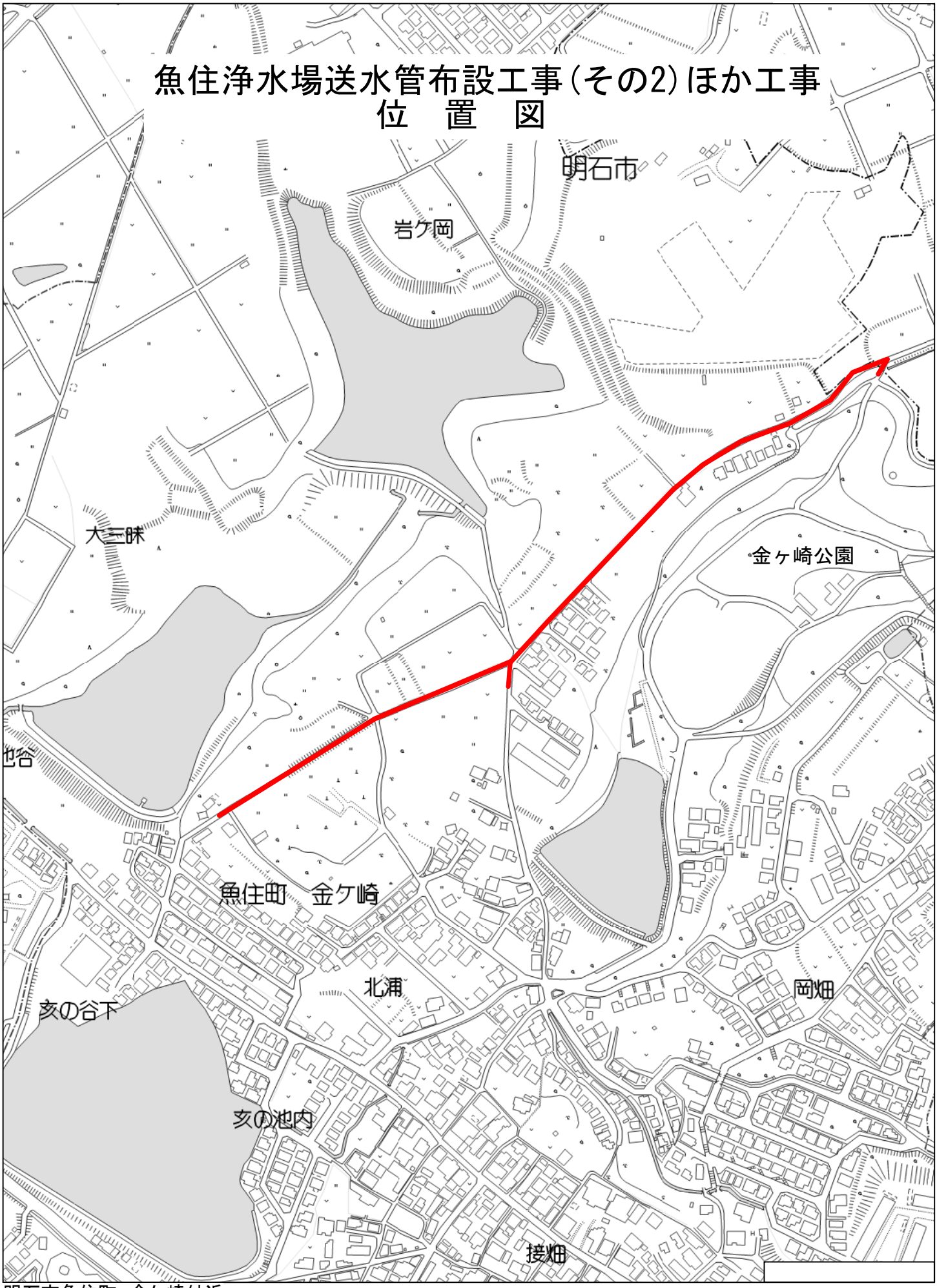




市道車道As1層式

図　番	16 / 16	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）		
図　種	位置図・舗装復旧平面図(5)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

魚住浄水場送水管布設工事(その2)ほか工事
位　置　図



明石市魚住町　金ケ崎付近

縮尺 1 / 4,000　120m

見　積　参　考　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第３次整備事業費	
工事番号	04-1202							設計年月日	令和 4年 11月 15日
着工番号								精算年月日	令和 4年 11月 15日

施工理由	
施工箇所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内
工事名称	西部配水場自然No.5配水管布設工事(その2)
工事概要	配水管布設工計　L=675.7m 配水管布設工　φ200　L=667.2m　　φ100　L=8.5m 仕切弁設置工　φ200　4基　　φ100　1基 消火栓設置工　φ200　3基　　φ100　1基 仮配水管布設撤去工　　1式 既設管撤去工　　1式 舗装復旧工　　1式

施工方法及び工事期限	(請負)　単価契約 令和5年9月30日まで		
支払い方法	前払金	あり（40%以内）	
	中間前払金	あり（20%以内）	
	部分払	あり　（3回以内）	

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増　減	円	増　減	円	増　減	円	増　減	円

総 括 情 報 表

単価適用年月日	0-04.11.01(0)	
	今　　回	前　　回
工種区分 施工地域区分	01　開削工事及び小口推進工事 23　一般交通影響あり（２）	

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					
管路(開削)					
φ100管路					
φ100管布設工	1	式			工種　第0001号明細表
φ100管布設土工	1	式			工種　第0004号明細表
φ200管路					
φ200管布設工	1	式			工種　第0006号明細表
付帯工		式			
仮配管布設工	1	式			工種　第0009号明細表

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮配管・仮給水管土工	1	式			工種　第0014号明細表
既設管撤去工	1	式			工種　第0016号明細表
舗装復旧工	1	式			工種　第0019号明細表
交通誘導員設置					
交通誘導員	1	式			工種　第0021号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
準備費		式			
試掘調査	1	式			工種　第0023号明細表

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
技術管理費		式			
通水試験費	1	式			工種　第0024号明細表
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			
工事原価計					
一般管理費等		式			
スクラップ控除		式			
スクラップ控除	1	式			工種　第0025号明細表

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
工事価格計						
消費税相当額			式			
総　　計						

φ100管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0001号明細表

名　称　・　規　格		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
材料		(1)	式			工種　第0002号明細表
手間		(1)	式			工種　第0003号明細表
	合　　計	1	式			

材料

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
DGX-S 直管 φ100×4000 ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	本			K 管材費
DGX 曲管 φ100×22° 1/2 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 曲管 φ100×11° 1/4 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ100×22° 1/2 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管 φ100× 75 10K　ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 継ぎ輪 φ100 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
不断水簡易ﾊﾞﾙﾌﾞ(鋳鉄管用) φ100	1	基			K 管材費
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し) φ100 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	1	基			K 管材費
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=440) 鉄蓋含む	1	組			施工　第0-0023号内訳表

材料

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=1040) 鉄蓋含む	1	組			施工　第0-0024号内訳表
ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)　φ75×65 JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	基			K 管材費
補修弁 (ｷｬｯﾌﾟ式)　φ75×100 JWWA B 126,1.0MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	基			K 管材費
ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)　φ　75 10K　LSPﾊﾟｯｷﾝ ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ(SUS304製)緩み防止仕様	2	組			K 管材費
消火栓ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=440) 鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	1	組			施工　第0-0025号内訳表
GX形G-Linkｾｯﾄ　φ100 切管異形管受用	5	組			
GX形接合ｾｯﾄ　φ100 異形管・V用	5	組			
GX形ﾗｲﾅ　φ100 ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	2	組			K 管材費
表示帯	8.5	m			

材料

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100 固定材料含む	8.5	m			施工　第0-0026号内訳表
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定品	1	巻			
合　　計	1	式			

手間

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径　100mm	8.0	m			施工　第0-0027号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	4	口			施工　第0-0029号内訳表
不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ設置工(鋳鉄管用)　φ100	1	基			
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	1	基			施工　第0-0030号内訳表
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440) 鉄蓋設置含む	1	箇所			施工　第0-0031号内訳表
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			施工　第0-0036号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	1	箇所			施工　第0-0040号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm) ＪＷＷＡ　10Ｋ	1	口			施工　第0-0041号内訳表
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440) 鉄蓋設置含む	1	箇所			施工　第0-0042号内訳表

手間

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm) 直管	2	口			施工　第0-0047号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm) G-Linkの接合	5	口			施工　第0-0048号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm) 異形管	5	口			施工　第0-0049号内訳表
管明示シート工	8.5	m			施工　第0-0050号内訳表
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 100mm)	8.5	m			施工　第0-0051号内訳表
管明示テープ工（鋳鉄管布設工） 呼び径100mm×4000mm	8.5	m			施工　第0-0052号内訳表
合　　計	1	式			

φ100管布設土工

工 種 明 細 表

工種　第0004号明細表

名称・規格		数量	単位	単価	金額	備考
土工		(　1　)	式			工種　第0005号明細表
	合　計	1	式			

土工

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	17	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	5	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	6	m3			施工　第0-0053号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	0.3	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(有)リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	6	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	5	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	5	m2			施工　第0-0011号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	3	m3			施工　第0-0010号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ)	2	m3			施工　第0-0007号内訳表

土工

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	合　　計	1	式			

φ200管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0006号明細表

名　称　・　規　格		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
材料		(　　1　　)	式			工種　第0007号明細表
手間		(　　1　　)	式			工種　第0008号明細表
	合　　計	1	式			

材料

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ200×5000 ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	132	本			K 管材費
DGX 曲管 φ200×45° ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	6	個			K 管材費
DGX 曲管 φ200×22° 1/2 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	5	個			K 管材費
DGX 曲管 φ200×11° 1/4 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 曲管 φ200×5° 5/8 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	6	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ200×45° ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	3	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ200×22° 1/2 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 乙字管 φ200×450H ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 二受T字管 φ200×100 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費

材料

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管　φ200×　75 10K　ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	3	個			K 管材費
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し)　φ200 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	3	基			K 管材費
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(両受)　φ200 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	1	基			K 管材費
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=440) 鉄蓋含む	4	組			施工　第0-0023号内訳表
ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)　φ75×65 JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	3	基			K 管材費
補修弁（ｷｬｯﾌﾟ式）φ75×100 JWWA B 126,1.0MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	3	基			K 管材費
ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)　φ　75 10K　LSPﾊﾟｯｷﾝ ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ(SUS304製)緩み防止仕様	6	組			K 管材費
消火栓ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=440) 鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	3	組			施工　第0-0025号内訳表
GX形P-Linkｾｯﾄ　φ200 切管直管受用	6	組			K 管材費

材料

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
GX形G-Linkｾｯﾄ φ200 切管異形管受用	7	組			
GX形接合ｾｯﾄ　φ200 異形管・V用	32	組			
GX形ﾗｲﾅ φ200 ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	25	組			K 管材費
表示帯	667.2	m			
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ200 固定材料含む	667.2	m			施工　第0-0054号内訳表
管明示ﾃｰﾌﾟ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定品	62	巻			
合　　計	1	式			

手間

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径　200mm	665.1	m			施工　第0-0055号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径200mm	13	口			施工　第0-0056号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁　呼び径　200mm	4	基			施工　第0-0057号内訳表
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440) 鉄蓋設置含む	4	箇所			施工　第0-0031号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	3	箇所			施工　第0-0040号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm) ＪＷＷＡ　10Ｋ	3	口			施工　第0-0041号内訳表
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440) 鉄蓋設置含む	3	箇所			施工　第0-0042号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm) 直管	132	口			施工　第0-0058号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm) P-Linkの接合	6	口			施工　第0-0059号内訳表

手間

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm) G-Linkの接合	7	口			施工　第0-0060号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 200mm) 異形管	32	口			施工　第0-0061号内訳表
栓設置撤去工(呼び径 200mm) 異形管	1	口			施工　第0-0062号内訳表
管明示シート工	667.2	m			施工　第0-0050号内訳表
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 200mm)	667.2	m			施工　第0-0063号内訳表
管明示テープ工（鋳鉄管布設工） 呼び径200mm×5000mm	667.2	m			施工　第0-0064号内訳表
合　　計	1	式			

仮配管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0009号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配水管材料	(　1　)	式			工種　第0010号明細表
仮配水管布設手間	(　1　)	式			工種　第0011号明細表
仮給水管材料	(　1　)	式			工種　第0012号明細表
仮給水管布設手間	(　1　)	式			工種　第0013号明細表
合　　計	1	式			

仮配水管材料

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配管材(賃料)　φ80	196.5	m			K 管材費
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ(賃料)　φ80	8	基			K 管材費
仮消火栓(賃料)　φ80 仮消火栓,仮ﾁｰｽﾞ	4	基			K 管材費
仮給水管取出(賃料)　φ80×φ20,φ25 仮取出短管	15	箇所			K 管材費
仮給水管取出(賃料)　φ80×φ30,φ40,φ50 仮取出短管80X50,仮V,仮MJ50	4	箇所			K 管材費
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300) 鉄蓋含む	8	組			施工　第0-0065号内訳表
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300) 鉄蓋含む	4	組			施工　第0-0066号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0011号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配水管布設撤去工φ80 継手工含む	196.5	m			施工　第0-0067号内訳表
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ80 継手工含む	8	基			施工　第0-0070号内訳表
仮消火栓設置撤去工φ80 埋設用、継手工含む	4	基			施工　第0-0072号内訳表
仮給水取出設置撤去工φ80×φ20,25 継手工含む	15	箇所			施工　第0-0074号内訳表
仮給水取出設置撤去工φ80×φ30,40,50 仮ﾊﾞﾙﾌﾞ、仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ、継手工含む	4	箇所			施工　第0-0076号内訳表
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300) 鉄蓋設置撤去含む	8	箇所			施工　第0-0080号内訳表
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300) 鉄蓋設置撤去含む	4	箇所			施工　第0-0083号内訳表
合　　計	1	式			

仮給水管材料

工 種 明 細 表

工種　第0012号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮給水切替材料φ20	15	箇所			施工　第0-0086号内訳表
仮給水切替材料φ30	1	箇所			施工　第0-0087号内訳表
仮給水切替材料φ40	1	箇所			施工　第0-0088号内訳表
仮給水切替材料φ50	2	箇所			施工　第0-0089号内訳表
HIVP管　φ 20 JIS K 6742	34.2	m			K 管材費
HIVP管　φ 30 JIS K 6742	3.8	m			K 管材費
HIVP管　φ 40 JIS K 6742	4.3	m			K 管材費
HIVP管　φ 50 JIS K 6742	4.0	m			K 管材費
合　　計	1	式			

仮給水管布設手間

工 種 明 細 表

工種　第0013号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮給水切替工φ20	15	箇所			施工　第0-0090号内訳表
仮給水切替工φ30	1	箇所			施工　第0-0092号内訳表
仮給水切替工φ40	1	箇所			施工　第0-0095号内訳表
仮給水切替工φ50	2	箇所			施工　第0-0097号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径　20mm	34.2	m			施工　第0-0098号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径　30mm	3.8	m			施工　第0-0099号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径　40mm	4.3	m			施工　第0-0100号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径　50mm	4.0	m			施工　第0-0101号内訳表
合　　計	1	式			

仮配管・仮給水管土工

工 種 明 細 表

工種　第0014号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配水管・仮給水管土工	(　　1　　)	式			工種　第0015号明細表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0015号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	500	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	200	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	33	m3			施工　第0-0053号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	17	m3			施工　第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂	15	m3			施工　第0-0006号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	10	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(有)リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	39	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	199	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	100	m2			施工　第0-0011号内訳表

仮配水管・仮給水管土工

工 種 明 細 表

工種　第0015号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）	14	m3			施工　第0-0010号内訳表
埋戻工（埋戻し材->流用土）	23	m3			施工　第0-0102号内訳表
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	18	m3			施工　第0-0007号内訳表
合　　計	1	式			

既設管撤去工

工 種 明 細 表

工種　第0016号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
既設管撤去手間	(1)	式			工種　第0017号明細表
既設管撤去土工	(1)	式			工種　第0018号明細表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0017号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ビニル管 撤去 呼び径　75mm	197.1	m			施工　第0-0103号内訳表
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径　100mm	101.3	m			施工　第0-0104号内訳表
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管(既設管)撤去切断工 φ75mm	66	口			施工　第0-0105号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	35	口			施工　第0-0106号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	2	基			施工　第0-0107号内訳表
既設円形1号ﾎﾞｯｸｽ撤去工 鉄蓋撤去含む	2	箇所			
消火栓(地下式 単口)撤去工 機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	3	箇所			施工　第0-0114号内訳表
既設円形3号ﾎﾞｯｸｽ撤去工 鉄蓋撤去含む	3	箇所			
現場発生品・支給品運搬 スクラップ分	2	回			施工　第0-0121号内訳表

工 種 明 細 表

工種　第0017号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
現場発生品・支給品運搬 廃プラスチック類	1	回			施工　第0-0122号内訳表
処分費(廃プラスチック類)	0.8	t			1 処分費
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0018号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	12	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	3	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	4	m3			施工　第0-0053号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	0.2	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(有)リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	4	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	3	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	3	m2			施工　第0-0011号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	4	m3			施工　第0-0010号内訳表
合　　計	1	式			

舗装復旧工

工 種 明 細 表

工種　第0019号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ1層式	(　　1　　)	式			工種　第0020号明細表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0020号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	70	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	1,920	m2			施工　第0-0002号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	96	m3			施工　第0-0016号内訳表
不陸整正工(粒調砕石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	1,920	m2			施工　第0-0123号内訳表
表層(車道・路肩部) ｔ＝５０mm 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)	1,920	m2			施工　第0-0125号内訳表
合　　計	1	式			

交通誘導員

工 種 明 細 表

工種　第0021号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導員設置	(　　1　　)	式			工種　第0022号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導員設置

工 種 明 細 表

工種　第0022号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員 B	210	人日			施工　第0-0126号内訳表
合　　計	1	式			

試掘調査

工 種 明 細 表

工種　第0023号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
試掘調査工	5	箇所			代価　第0001号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0024号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
通水試験費 給水車不要の場合	3	回			施工　第0-0127号内訳表
合　　計	1	式			

スクラップ控除

工 種 明 細 表

工種　第0025号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄屑 故銑 B	2.5	t			
合　　計	1	式			

試掘調査工

代 価 表

代価　第0001号内訳表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	6.0	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	2.0	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工　第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			施工　第0-0006号内訳表
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ)	1.0	m3			施工　第0-0007号内訳表
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石)	1.7	m3			施工　第0-0010号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工　第0-0011号内訳表
仮復旧工［密粒度[再](13)］ 厚 5cm	2.0	m2			施工　第0-0013号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	0.1	m3			施工　第0-0016号内訳表

試掘調査工

代 価 表

代価　第0001号内訳表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
残塊処分工(土砂) 〔(有)リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	2.9	m3			施工　第0-0020号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0001号内訳表

［規格１］As舗装版厚->15cm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ 切削深20cm級 [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式]				ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ				舗道版切断 ｶｯﾀｰﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径22ｲﾝﾁ			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	=1 =1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下						

施工単価表

施工　第0-0002号内訳表　　頁0-0043/0157

舗装版取壊し積込工

［規格１］舗装厚⇒0cm越え　10cm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 B　舗装厚		=3 =1	山積0.28m3 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下		

施工単価表

施工　第0-0004号内訳表　　頁0-0044/0157

掘削積込工(補助的作業なし)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			

掘削(人力)

積算単価算出表

施工　第0-0006号内訳表

［規格１］土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=6	現場制約あり						

施工単価表

施工　第0-0007号内訳表　　頁0-0046/0157

埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ （0～2.5mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=6 =3	ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0010号内訳表

埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=5 =3	再生切込砕石 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0011号内訳表　　頁0-0048/0157

路盤工(粒調砕石)

［規格１］上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm ［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 （0～25mm･0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　路盤工種別 B　施工幅 C　路盤材の種類		=1 =1 =2	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 粒調砕石		
D　仕上り厚		=6	10cm		

施工単価表

施工　第0-0013号内訳表　　頁0-0049/0157

仮復旧工 ［密粒度[再](13)］

［規格１］厚 5cm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13		t			
振動ﾛｰﾗ運転		日			
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転		日			
諸雑費		%			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			

施工単価表

施工　第0-0016号内訳表　　頁0-0050/0157

残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)

［規格１］〔加古川リサイクル(有)〕　［規格２］運搬距離　L=8.6km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->As塊・Co塊（無筋）	1	m3			施工　第0-0017号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	1	式			施工　第0-0019号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0017号内訳表

運搬

［規格１］処理対象->As塊・Co塊（無筋）　［規格２］　［ 摘要 ］　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =2	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 As塊・Co塊（無筋）	（平積0.20m3）	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=8.6 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0019号内訳表　　頁0-0052/0157

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0020号内訳表

残塊処分工(土砂)

［規格１］〔(有)リテラ〕　［規格２］運搬距離　L=12.0km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->土砂	1	m3			施工　第0-0021号内訳表
処分費 土 砂	1	式			施工　第0-0022号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0021号内訳表　　頁0-0054/0157

運搬

［規格１］処理対象->土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 土砂	(平積0.20m3)	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=12 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0022号内訳表　　頁0-0055/0157

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =1 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0023号内訳表

仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=440)

［規格１］鉄蓋含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仕切弁鉄蓋(円形1号) 明石市型	1	個			
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄM12×110 3ｹｾｯﾄ	1	組			
円形1号BOX 調整ﾘﾝｸﾞH=50	2	個			
円形1号BOX 上下部壁H=150	1	個			
円形1号BOX 底版H=40(上下・中部壁用)	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0024号内訳表

仕切弁ﾎﾞｯｸｽ(円形1号)(H=1040)

［規格１］鉄蓋含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仕切弁鉄蓋(円形1号) 明石市型	1	個			
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄM12×110 3ｹｾｯﾄ	1	組			
円形1号BOX 上部壁H=150	1	個			
円形1号BOX 中部壁H=200	2	個			
円形1号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形1号BOX 底版H=40	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0025号内訳表

消火栓ﾎﾞｯｸｽ(円形3号)(H=440)

［規格１］鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
消火栓鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄM16×150 3ｹｾｯﾄ	1	個			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ(25kg)	1	個			
円形3号BOX 調整ﾘﾝｸﾞH=50	2	個			
円形3号BOX 上下部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0026号内訳表

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100

［規格１］固定材料含む　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾎﾟﾘｽﾘｰﾌﾞ φ100 粉体塗装管用	150	m			
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50㎜） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定製品 ｴｺﾏｰｸ認定品	51.0	m			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0027号内訳表　　頁0-0060/0157

鋳鉄管吊込み据付（機械力）

［規格１］呼び径　100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=1 =2 =2	据付 呼び径　100mm 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0029号内訳表　　頁0-0061/0157

鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

［規格１］ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(新設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=3 =1 =2	100mm 新設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0030号内訳表　　頁0-0062/0157

鋳鉄製仕切弁(機械力)設置

［規格１］縦型仕切弁　呼び径　100mm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
単　位　当　り	1	基			
A　作業区分 B　仕切弁種別 C　呼び径		=1 =1 =1	設置 縦型仕切弁 呼び径　100mm以下		
D　現場状況		=2	普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0031号内訳表

円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440)

［規格１］鉄蓋設置含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置工(円形1号　内径250)	1	個			施工　第0-0032号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 調整リング 高さ 50mm	2	個			施工　第0-0033号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 下部壁 高さ 150mm	1	個			施工　第0-0034号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 底版	1	個			施工　第0-0035号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0032号内訳表

鉄蓋設置工(円形1号　内径250)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=1 =1	設置 円形1号　内径250		

施工単価表

施工　第0-0033号内訳表　　頁0-0065/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 調整リング 高さ 50mm　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分		=1	設置		
B　規格		=1	1号　内径250		
C　調整箇所		=1	調整リング		
D　高さ		=1	高さ 50mm		

施工単価表

施工　第0-0034号内訳表　　頁0-0066/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 下部壁 高さ 150mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =4	設置 1号　内径250 下部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0035号内訳表　　頁0-0067/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 底版　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =5	設置 1号　内径250 底版		

施工単価表

施工　第0-0036号内訳表

円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=1040)

［規格１］鉄蓋設置含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置工(円形1号　内径250)	1	個			施工　第0-0032号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm	1	個			施工　第0-0037号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 中部壁 高さ 200mm	2	個			施工　第0-0038号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 下部壁 高さ 300mm	1	個			施工　第0-0039号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 底版	1	個			施工　第0-0035号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0037号内訳表　　頁0-0069/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =2	設置 1号　内径250 上部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0038号内訳表　　頁0-0070/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =3	設置 1号　内径250 中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0039号内訳表　　頁0-0071/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =4	設置 1号　内径250 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0040号内訳表　　頁0-0072/0157

消火栓(地下式 単口)設置工

［規格１］機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工方法 C　消火栓種類		=1 =1 =1	設置 機械施工 地下式		
D　消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工　第0-0041号内訳表　　頁0-0073/0157

フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)

［規格１］ＪＷＷＡ　10Ｋ　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　規格 C　呼び径		=1 =2 =2	接合 ＪＷＷＡ　10Ｋ 呼び径　75(80)mm		

施工単価表

施工　第0-0042号内訳表

円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=440)

［規格１］鉄蓋設置含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置工(円形3号　内径500)	1	個			施工　第0-0043号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 調整リング 高さ 50mm	2	個			施工　第0-0044号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0045号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 底版	1	個			施工　第0-0046号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0043号内訳表

鉄蓋設置工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=1 =3	設置 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0044号内訳表　　頁0-0076/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 調整リング 高さ 50mm　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =1	設置 3号　内径500 調整リング		
D　高さ		=1	高さ 50mm		

施工単価表

施工　第0-0045号内訳表　　頁0-0077/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =2	設置 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0046号内訳表　　頁0-0078/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 底版　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =5	設置 3号　内径500 底版		

施工単価表

施工　第0-0047号内訳表　　頁0-0079/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)

［規格１］直管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =1	接合 呼び径 100mm 直管		

施工単価表

施工　第0-0048号内訳表　　頁0-0080/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)

[規格１]G-Linkの接合　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
G-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =4	接合 呼び径 100mm G-Linkの接合		

施工単価表

施工　第0-0049号内訳表　　頁0-0081/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =2	接合 呼び径 100mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0050号内訳表　　頁0-0082/0157

管明示シート工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0051号内訳表　　頁0-0083/0157

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 100mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=2	呼び径 100mm		

施工単価表

施工　第0-0052号内訳表

管明示テープ工（鋳鉄管布設工）

［規格１］呼び径100mm×4000mm　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径・寸法(mm)		=3	呼び径100mm×4000mm		

施工単価表

施工　第0-0053号内訳表

掘削積込工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0054号内訳表　　頁0-0086/0157

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ200

［規格１］固定材料含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾎﾟﾘｽﾘｰﾌﾞ φ200 粉体塗装管用	144	m			
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50㎜） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定製品 ｴｺﾏｰｸ認定品	104.0	m			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0055号内訳表　　頁0-0087/0157

鋳鉄管吊込み据付（機械力）

［規格１］呼び径　200mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=1 =4 =2	据付 呼び径　200mm 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0056号内訳表　　頁0-0088/0157

鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

[規格１]ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径200mm　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(新設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=5 =1 =2	200mm 新設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0057号内訳表　　頁0-0089/0157

鋳鉄製仕切弁(機械力)設置

［規格１］縦型仕切弁　呼び径　200㎜　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
単　位　当　り	1	基			
A　作業区分 B　仕切弁種別 C　呼び径		=1 =1 =4	設置 縦型仕切弁 呼び径　200㎜		
D　現場状況		=2	普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0058号内訳表　　頁0-0090/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)

［規格１］直管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =4 =1	接合 呼び径 200mm 直管		

施工単価表

施工　第0-0059号内訳表　　頁0-0091/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)

[規格１]P-Linkの接合　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
P-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =4 =3	接合 呼び径 200mm P-Linkの接合		
D　★★割増係数(%)		=	★★割増係数(%)		

施工単価表

施工　第0-0060号内訳表　　頁0-0092/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)

[規格１]G-Linkの接合　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
G-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =4 =4	接合 呼び径 200mm G-Linkの接合		

施工単価表

施工　第0-0061号内訳表　　頁0-0093/0157

ＧＸ継手接合(呼び径 200mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =4 =2	接合 呼び径 200mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0062号内訳表　　頁0-0094/0157

栓設置撤去工(呼び径 200mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
配管工		人			(取外し)
普通作業員		人			(取外し)
諸雑費		%			(取外し)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=3 =4 =2	接合・取外し 呼び径 200mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0063号内訳表　　頁0-0095/0157

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 200mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=4	呼び径 200mm		

施工単価表

施工　第0-0064号内訳表　　頁0-0096/0157

管明示テープ工（鋳鉄管布設工）

［規格１］呼び径200mm×5000mm　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径・寸法(mm)		=5	呼び径200mm×5000mm		

施工単価表

施工　第0-0065号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)

[規格１]鉄蓋含む　[規格２]　[摘要]　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仕切弁鉄蓋(円形1号)　(損料) 明石市型	1	個			
円形1号BOX 上部壁H=150(損料)	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0066号内訳表

仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)

［規格１］鉄蓋含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
消火栓鉄蓋(円形3号) (損料) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200(損料)	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0067号内訳表

仮配水管布設撤去工φ80

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮配管工φ80(75) 布設撤去	100	m			施工　第0-0068号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	33	口			施工　第0-0069号内訳表
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0068号内訳表　　頁0-0100/0157

仮配管工φ80(75)

［規格１］布設撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0069号内訳表　　頁0-0101/0157

仮配管継手工φ80(75)

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　　計	10	口			
単　位　当　り	1	口			

施工単価表

施工　第0-0070号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ80

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ80(75) 設置撤去	1	基			施工　第0-0071号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0069号内訳表
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0071号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ80(75)

［規格１］設置撤去　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0072号内訳表

仮消火栓設置撤去工φ80

［規格１］埋設用、継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮消火栓工 設置撤去 単口 継手工1口含む	1	基			施工　第0-0073号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0069号内訳表
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0073号内訳表　　頁0-0105/0157

仮消火栓工

［規格１］設置撤去 単口 継手工1口含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0074号内訳表

仮給水取出設置撤去工φ80×φ20,25

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮取出短管工φ80(75) 設置撤去	1	箇所			施工　第0-0075号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0069号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0075号内訳表　　頁0-0107/0157

仮取出短管工φ80(75)

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　　計	10	箇所			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0076号内訳表　　頁0-0108/0157

仮給水取出設置撤去工φ80×φ30,40,50

［規格１］仮ﾊﾞﾙﾌﾞ、仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ、継手工含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0069号内訳表
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ50 設置撤去	1	基			施工　第0-0077号内訳表
仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ工φ50 設置撤去	1	箇所			施工　第0-0078号内訳表
仮配管継手工φ50 設置撤去	3	口			施工　第0-0079号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0077号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ50

［規格１］設置撤去　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0078号内訳表　　頁0-0110/0157

仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ工φ50

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0079号内訳表　　頁0-0111/0157

仮配管継手工φ50

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　　計	10	口			
単　位　当　り	1	口			

施工単価表

施工　第0-0080号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)

［規格１］鉄蓋設置撤去含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置・撤去工(円形1号　内径250)	1	個			施工　第0-0081号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm	1	個			施工　第0-0082号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0081号内訳表

鉄蓋設置・撤去工(円形1号　内径250)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=3 =1	設置・撤去 円形1号　内径250		

施工単価表

施工　第0-0082号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =1 =2	設置・撤去 1号　内径250 上部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0083号内訳表

仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)

［規格１］鉄蓋設置撤去含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置・撤去工(円形3号　内径500)	1	個			施工　第0-0084号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0085号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0084号内訳表

鉄蓋設置・撤去工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=3 =3	設置・撤去 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0085号内訳表　　頁0-0117/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =3 =2	設置・撤去 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0086号内訳表　　頁0-0118/0157

仮給水切替材料φ20

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HI TS給水ｿｹｯﾄ(損料) φ20	1	個			
HI ｴﾙﾎﾞ(損料) φ 20 JIS K 6743	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0087号内訳表　　頁0-0119/0157

仮給水切替材料φ30

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HI 異径ｿｹｯﾄ(損料) φ 50×30 JIS K 6743	1	個			
HI ｴﾙﾎﾞ(損料) φ 30 JIS K 6743	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0088号内訳表

仮給水切替材料φ40

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HI 異径ｿｹｯﾄ(損料) φ 50×40 JIS K 6743	1	個			
HI ｴﾙﾎﾞ(損料) φ 40 JIS K 6743	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0089号内訳表

仮給水切替材料φ50

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HI ｴﾙﾎﾞ(損料) φ 50 JIS K 6743	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0090号内訳表

仮給水切替工φ20

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)	6	口			施工　第0-0091号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0091号内訳表　　頁0-0123/0157

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=3	呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0092号内訳表

仮給水切替工φ30

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　30mm)	5	口			施工　第0-0093号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)	1	口			施工　第0-0094号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0093号内訳表　　頁0-0125/0157

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　30mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=5	呼び径　30mm		

施工単価表

施工　第0-0094号内訳表　　頁0-0126/0157

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=7	呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0095号内訳表

仮給水切替工φ40

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)	5	口			施工　第0-0096号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)	1	口			施工　第0-0094号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0096号内訳表　　頁0-0128/0157

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=6	呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0097号内訳表

仮給水切替工φ50

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)	6	口			施工　第0-0094号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0098号内訳表　　頁0-0130/0157

硬質塩化ビニル管 据付・撤去

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=3 =3	据付・撤去 呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0099号内訳表　　頁0-0131/0157

硬質塩化ビニル管 据付・撤去

［規格１］呼び径　30mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=3 =5	据付・撤去 呼び径　30mm		

施工単価表

施工　第0-0100号内訳表　　頁0-0132/0157

硬質塩化ビニル管 据付・撤去

［規格１］呼び径　40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=3 =6	据付・撤去 呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0101号内訳表　　頁0-0133/0157

硬質塩化ビニル管 据付・撤去

［規格１］呼び径　50mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=3 =7	据付・撤去 呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0102号内訳表　　頁0-0134/0157

埋戻工（埋戻し材->流用土）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=2 =3	流用土 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0103号内訳表　　頁0-0135/0157

硬質塩化ビニル管 撤去

［規格１］呼び径　75mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=2 =8	撤去 呼び径　75mm		

施工単価表

施工　第0-0104号内訳表　　頁0-0136/0157

鋳鉄管吊込み撤去（機械力）

［規格１］呼び径　100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=2 =2 =2	撤去 呼び径　100mm 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0105号内訳表　　頁0-0137/0157

硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管(既設管)撤去切断工

［規格１］φ75mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径		=2 =8	既設管 75mm		

施工単価表

施工　第0-0106号内訳表　　頁0-0138/0157

鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

［規格１］ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(既設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=3 =2 =2	100mm 既設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0107号内訳表　　頁0-0139/0157

鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去

［規格１］縦型仕切弁　呼び径　100mm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
単　位　当　り	1	基			
A　作業区分 B　仕切弁種別 C　呼び径		=2 =1 =1	撤去 縦型仕切弁 呼び径　100mm以下		
D　現場状況		=2	普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0109号内訳表

鉄蓋撤去工(円形1号　内径250)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=2 =1	撤去 円形1号　内径250		

施工単価表

施工　第0-0110号内訳表　　頁0-0141/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分		=2	撤去		
B　規格		=1	1号　内径250		
C　調整箇所		=2	上部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0111号内訳表　　頁0-0142/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分		=2	撤去		
B　規格		=1	1号　内径250		
C　調整箇所		=3	中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0112号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =1 =4	撤去 1号　内径250 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0113号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 底版　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =1 =5	撤去 1号　内径250 底版		

施工単価表

施工　第0-0114号内訳表　　頁0-0145/0157

消火栓(地下式 単口)撤去工

［規格１］機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工方法 C　消火栓種類		=2 =1 =1	撤去 機械施工 地下式		
D　消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工　第0-0116号内訳表

鉄蓋撤去工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=2 =3	撤去 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0117号内訳表　　頁0-0147/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =2	撤去 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0118号内訳表　　頁0-0148/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =3	撤去 3号　内径500 中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0119号内訳表　　頁0-0149/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =4	撤去 3号　内径500 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0120号内訳表　　頁0-0150/0157

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 底版　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =5	撤去 3号　内径500 底版		

現場発生品・支給品運搬

積算単価算出表

施工　第0-0121号内訳表

［規格１］スクラップ分　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　回　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾄﾗｯｸ ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.9t吊 [ｸﾚｰﾝ装置付]			ﾄﾗｯｸ [ｸﾚｰﾝ装置付] 4～4.5t級 2.9t吊			
	K							
	R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2	普通作業員			普通作業員			
	R							
	Z1	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A B C	ﾄﾗｯｸ機種 =2 片道運搬距離(km) =2 1回当り平均積載質量(t) =8		ｸﾚｰﾝ装置付4～4.5t積2.9t吊 5.0km以下 1.5t超2.0t以下				

現場発生品・支給品運搬

積算単価算出表

施工　第0-0122号内訳表

［規格１］廃プラスチック類　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　回　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾄﾗｯｸ ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.9t吊 [ｸﾚｰﾝ装置付]			ﾄﾗｯｸ [ｸﾚｰﾝ装置付] 4～4.5t級 2.9t吊			
	K							
	R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2	普通作業員			普通作業員			
	R							
	Z1	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A B C	ﾄﾗｯｸ機種 =2 片道運搬距離(km) =4 1回当り平均積載質量(t) =5	ｸﾚｰﾝ装置付4～4.5t積2.9t吊 14.0km以下 0.5t超0.8t以下					

施工単価表

施工　第0-0123号内訳表　　頁0-0153/0157

不陸整正工(粒調砕石)

[規格１]施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm　　[規格２]　　[摘要]　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 (0～25mm･0～30mm･0～40mm)		m3			
振動ﾛｰﾗ運転（賃料）		日			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　施工幅 B　補足材の種類 C　補足材厚		=2 =2 =3	施工幅：1.8m 以上 粒調砕石 3cm		

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0125号内訳表

[規格１]　ｔ＝５０mm　　[規格２] 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　[摘要]　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 舗装幅2.3～6.0m [ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾎｲｰﾙ型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8～20t 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 8～20t			
	K3		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ 質量10～12ｔ [ﾏｶﾀﾞﾑ] 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾏｶﾀﾞﾑ 10～12t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度ｱｽｺﾝ TOP20　t=50mm				再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13			
	Z2		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用				ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3(ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用)			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価	＝								

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0125号内訳表

［規格１］ ｔ＝５０mm　　［規格２］ 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価		代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	A	平均幅員	=4	3.0m超					
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)					
	C	材料	=8	密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)					
	D	夜間割増の有無	=1	無し					
	E	瀝青材料種類	=2	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					

施工単価表

施工　第0-0126号内訳表　　頁0-0156/0157

交通誘導警備員 B

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　人日　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単　位　当　り	1	人日			
A　交通誘導警備員区分 B　労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		

施工単価表

施工　第0-0127号内訳表

通水試験費

［規格１］給水車不要の場合　［規格２］　［ 摘要 ］　4　回　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	4	回			
単　位　当　り	1	回			

工　事　設　計　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	配水及び給水費	
工事番号	04-5607							設計年月日	令和 4年 11月 15日
着工番号								精算年月日	令和 4年 11月 15日

施工理由			
施工箇所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年3月31日まで
工事名称	西部配水場自然No.5配水管布設(その2)に伴う給水管切替工事	支払い方法	前払金 あり(40%以内) 中間前払金 あり(20%以内) 部分払 あり (1回以内)
工事概要	給水管切替工計　19箇所 φ20 給水管切替工　15箇所 φ30 給水管切替工　1箇所 φ40 給水管切替工　1箇所 φ50 給水管切替工　2箇所		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増減	円	増減	円	増減	円	増減	円

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費					
管路					
管きょ工					
給水管布設工		式		1	
給水管布設工(材料)		式		1	
PP管　φ20	二層管,1種(軟質)	m		29.1	
給水管切替φ20（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		15	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×20	密着コア込	個		15	
PP管　φ30	二層管,1種(軟質)	m		1.9	
給水管切替φ30（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		1	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×30	密着コア込	個		1	
PP管　φ40	二層管,1種(軟質)	m		1.9	
給水管切替φ40（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		1	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×40	密着コア込	個		1	
PP管　φ50	二層管,1種(軟質)	m		3.9	
給水管切替φ50（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		2	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×50	密着コア込	個		2	
表示帯		m		36.8	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m）	年号入り　ｴｺﾏｰｸ認定製品	巻		2	
給水管布設工(手間)		式		1	
ポリエチレン管 据付	呼び径　20mm	m		29.1	
給水管切替工(φ200～250×φ20)		箇所		15	
ポリエチレン管 据付	呼び径　30mm	m		1.9	
給水管切替工(φ200～250×φ30)		箇所		1	
ポリエチレン管 据付	呼び径　40mm	m		1.9	
給水管切替工(φ200～250×φ40)		箇所		1	
ポリエチレン管 据付	呼び径　50mm	m		3.9	
給水管切替工(φ200～250×φ50)		箇所		2	
管明示シート工		m		36.8	
管明示テープ工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)	呼び径φ50mm以下	m		36.8	
給水管布設土工		式		1	
給水管布設工(土工)		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		62	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		22	
掘削積込工		m3		7	
掘削積込工(補助的作業なし)		m3		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
掘削（人力）	土砂 現場制約あり	m3		1	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔加古川リサイクル(有)〕	m3		1	
残塊処分工(土砂)	〔（有）リテラ〕	m3		11	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		22	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		22	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		3	
埋戻工（埋戻し材->流用土）		m3		2	
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		4	
交通管理工					
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B		人日		24	

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
1	一般共通事項

※　1　現場代理人の兼務

※　1　本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。

※　2　合併工事

※　1　本工事は、他部署との合併工事はない。

※　3　近接工事

※　1　発注時に、近接工事として兵庫県発注の大道池地区ため池改修工事（その1）を確認している。互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。

※　4　占用関係

1　国道(　　)　　2 県道(　　)
3　市道(　　)　　4 法定外道路(　　)
5　港湾(　　)　　6 河川(　　)

※　7　その他(里道　　)

上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。

※　5　協議関係(上記占用以外)

1　鉄道等(　　)
2　バス道等(　　)
3　学校関係(　　)

※　4　その他(魚住まちづくり協議会　　)

上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。

※　6　工事の範囲

※　1　当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。

※　7　交通誘導警備員

※　1　交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。

種類	合計	送水管布設工事	配水管布設工事	給水管切替工事
A	0名	0名	0名	0名
B	582名	348名	210名	24名
合計	582名	348名	210名	24名

1日1現場当り4名(標準)
1日1現場当りT字交差点部 5名

※ 1日1現場当り車両通行止め6名
その他1日1現場当り追加　1名(バス停)

※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。

交通誘導警備員A;警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	交通誘導警備員B；警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの ※　2　本現場は車両通行止めでの工事を見込んでいる。現場着手の1か月以上前から必要な位置に予告看板等を設置し、車両通行止めとなる旨の周知を行うこと。 ※　8　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について ※　1　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。 ※　9　断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について ※　1　受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。 ※　2　上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。 ※　3　上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。 ※　4　受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 （放水用器具1セット：消火栓スタンド，バルブキー2本，放水用ホース） ※　10　工事日報について ※　1　工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を**2週間以内**にセンター監督員に提出すること。 ※　2　工事日報は以下の工種について提出するものとする。 ①　試掘工　　②　仮配水管，仮給水管布設撤去工 ③　水道本管布設撤去工（残置処理配管共） ④　給水管布設工　　⑤　水圧試験 ⑥　白紙様式3枚（検査合格報告書分） なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。 ※　3　その他内容については、水道工事標準仕様書（6.提出書類）に基づくものとする。 ※　11　工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について ※　1　本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならず、発注者においては（保険金額→対物500万円以上・保険期間→工期内）とすること。なお、上記保険については掛金相当額が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。 また、明石市工事請負契約約款第51条（火災保険等）に基づき、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。 ※　12　その他事項 ※　1　設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。 ※　2　工期については、送水管布設工事及び配水管布設工事については契約締結日の翌日から令和5年9月30日まで、給水管切替工事については、令和5年3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算について、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年9月30日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年9月30日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。 ※　3　当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。 ※　4　間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
2	管きょ工 ※　1　使用材料 ※　1　使用材料確認願（様式29-1）には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図（承認図）（不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ、割T字管（付属ﾊﾞﾙﾌﾞ）、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、ｻﾄﾞﾙ分水栓、その他監督員が必要と認める材料）とする。 ※　2　土木工事承諾願（様式30-1）には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図（承認図）またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。 ※　3　水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。 ※　4　在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。 ※　2　一体化長さ ※　1　設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。 ※　2　上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。 ※　3　管の据付 ※　1　管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。 ※　2　木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。 ※　4　消火栓・空気弁 ※　1　丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。 ※　2　消火栓及び空気弁の口の高さは、GL－20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。 ※　3　フランジ部で使用するボルトは75㎜以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。 ※　5　水圧試験 ※　1　標準仕様書5.10（1）について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0％以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管　　・口径は300㎜以下　　・試験延長合計は100m未満 ※　6　現場発生品の処分 ※　1　既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は(株)窪田窪商店で運搬距離は2.9kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。その場合は、設計変更の対象としない。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	2　既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」（平成17年8月、厚生労働省健康局水道課）を参考として作業を行うこと。その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。 ※　3　既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター（播磨事業所）、運搬距離9.5km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。 ※　7　スクラップの種類 ※　1　撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。 ※　8　その他事項 ※　1　本工事における仮配水管の供用日数について、31～60日までとして計上している。

章	
3	土工事 1　重機 1　特殊車両（一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両）を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。 ※　2　アスファルト切断 ※　1　アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。 ※　3　配水管布設時の掘削幅 ※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050

※　4　配水管布設時の掘削深

※　1　配水管布設時の掘削深は、土被り＋布設管外径（D2)+100を基本とする。

※　2　既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100㎜程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。

※　3　会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。

※　4　会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350㎜以下の場合、延長500㎜、深さ200㎜、φ400㎜以上の場合、延長800㎜、深さ500㎜とし、幅はそれぞれの掘削幅とする。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	

※　5　仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	400	450	500	550	600	700
深さ	400	450	500	550	600	800

2　矢板有の場合の掘削幅、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	700	750	800	850	900	1000

※　3　仮給水管設置撤去時の掘削幅は400㎜、掘削深は300㎜とすること。

4　直轄国道に布設撤去する場合は深さ600㎜以上とすること。

※　6　既設管撤去の掘削幅

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	550	600	650	700	900	950	1000

2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	850	850	850	850	950	1000	1050

※　7　給水管の掘削幅、掘削深、延長

※　1　分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600㎜、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600㎜、深さは既設管土被り＋既設管呼び径＋100㎜とする。

※　2　給水管部は、幅500㎜、延長は給水管延長（本管～止水栓距離）－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。

※　8　掘削・埋戻し

※　1　埋戻し一層厚さ20cm未満とする。

※　2　水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。

※　3　管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。

※　9　残土・殻処分地

※　1　処分地は特記仕様書(追記)参照。

※　2　特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

※　10　各種試験

※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。

※　上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　11　仮設材の運搬 ※　1　仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。 なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。 ※　12　その他事項 ※　1　工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。

章	
4	舗装工 ※　1　舗装前準備 ※　1　既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、 異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。 ※　2　下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧 前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。 ※　3　他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と 高さ調整の程度（＋〇cm等）が分かるものを提出すること。 ※　4　舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか 監督員と協議すること。 5　切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）及び土木工事施工管理基準 （兵庫県県土整備部監修）に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の 承諾を得たのち、施工すること。 ※　2　不陸整正工 ※　1　補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※　3　乳剤散布 ※　1　ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※　4　アスファルト舗装工 ※　1　当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。 その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、 自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど 注意喚起すること。 ※　5　区画線工 1　インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色) の区画線は設置しないこと。 ※　2　施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※　3　ガラスビーズを配合すること。 ※　6　各種試験 ※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める必要な試験等について、 試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。

特記仕様書
（令和4年度　魚住浄水場送水管布設工事（その2）ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　2「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 ※　1　アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m2未満について省略する。 ※　2　アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m2以上500m2未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m2未満については省略する。 ※　3　表層の平坦性・・・省略する ※　4　既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。

特記仕様書（追記）

1　建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	㈲リテラ
所在地	高砂市米田町島763-1
運搬距離	12.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2　特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

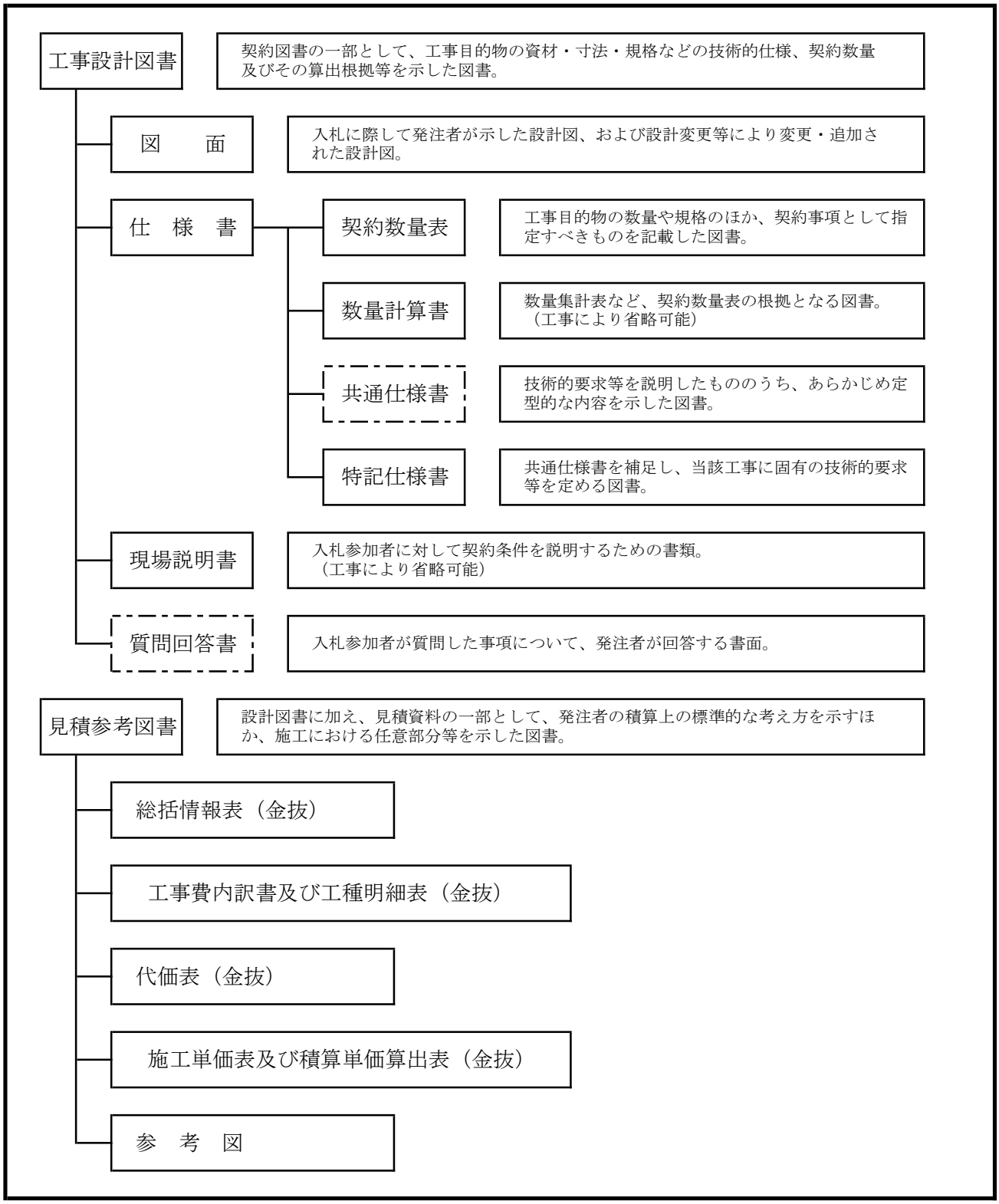
2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	加古川リサイクル㈲
所在地	加古川市野口町水足字東代123-25
運搬距離	8.6km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

３ 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款　第１条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水 道 工 事 標 準 仕 様 書

1　総　則

1.1（適　用）

1　水道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、明石市水道局が発注する水道管（導水・送水・配水）を布設する工事及び給水管工事（以下「工事」という。）に係る工事請負契約書（頭書を含み以下「契約書」という。）及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。

2　契約書及び仕様書・契約数量表・設計図（以下「設計図書」（標準仕様書を除く）という。）に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。

3　本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準（明石市水道局）及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）の水道編の第 2 章第 2 節については、適用しない。

1.2（法令等の厳守）

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3（書類の提出）

1　受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。

2　提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4（監督員）

1　監督員とは、水道法第 12 条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員（主任監督員及び監督員）をいう。

1.5（工事実績データの登録）

水道工事を 2 件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が 500 万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6（目的物の引渡し）

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼（引渡書）を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2　安全管理

2.1（事故防止）

1　工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。

2　掘削及び埋戻工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

3　受注者は熱中症対策等について充分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2（事故発生時の措置）

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3（現場の整理整頓）

1　受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。

2　受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3　工事施工

3.1（一般事項）

1　受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

2　施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。

3　受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2（現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査）

1　近接構造物（家屋含む）の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。

2　施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。

3　当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。

4　給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。

5　その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3（地元説明）

1　受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。

2　工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

3　施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこれの軽減に努めること。

4　工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。

5　受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。

6　給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起こらないようにすること。

3.4（試掘調査）

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

・試掘断面の地下埋設物の状況　　・既設舗装構成
・設計図書通りの撤去・埋設が可能か　　・既設管の外面腐食等の異常の有無
・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5（夜間工事）

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないよう十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6（立会）

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
・その他監督員が必要と判断した事項

3.7（工事関係書類の整備）

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4　材料

4.1（水道材料の規格）

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合については、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

(1)　K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。

(2)　特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

(3)　K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。

(4)　フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。

(5)　フランジ部の紛体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。

(6)　弁栓類等で使用するフランジの規格は２種（0.75MPa）とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。

(7)　仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。

(8)　鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓（空気弁）鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。

(9)　割T字管の分岐口径φ150 以下について、密着コアを使用すること。

(10)　サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。

(11)　直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。

(12)　表示帯(管明示シート)は、15cm 幅 2 倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。

(13)　管明示テープは、5 cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2（土木材料の規格）

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

(1)　スクリーニングスは、JIS　A5001　F-2.5 とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。

(2)　再生砕石は、路盤部分は RC-30 とし、その他は RC-40 とする。

(3)　粒調砕石は、M-30 とする。

(4)　再生密粒度アスファルトは、最大粒径 13 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(5)　再生粗粒度アスファルトは、最大粒径 20 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(6)　再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径 25 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

4.3（水道材料の確認）

1　受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。

2　現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。

3　仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。

4　支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式 15) を提出すること。

5　管布設工事

5.1（配管技能者）

1　受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はＴ・Ｋ形管等の一般継手（φ450 ㎜以下)、耐震登録はＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手（φ450 ㎜以下)、大口径は一般継手と耐震継手（全口径）を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、ＮＳ形・耐震管の受講証については、その口径のＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。

2　受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。

3　受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準（明石市水道局）に基づき監督・指導すること。

4　受注者は、上記以外の管種（配水用ポリエチレン管・鋼管等）の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2（工種の制限）

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3（断水を伴う連絡工事）

1　断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。

2　断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は 13 時 30 分から 16 時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輌等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。

3　断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。

4　万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4（広報活動）

1　断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。

2　断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3　上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4　受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5（ボルトの締め付け）

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの 7 割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6（使用機材）

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは､先端角度が90°から100°､ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7（管の明示）

1　管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2　表示帯（管明示シート）は、管天より 40cm の位置に丁寧に設置すること。

5.8（仮消火栓）

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9（仮舗装復旧）

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10（水圧試験）

1　水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1)　通常配管（以下の特殊箇所以外）の場合、試験水圧を 0.75MPa とする。30 分間以上の経過後、低下率 1.0%以内を許容限度とする。

(2)　不断水工事の割Ｔ字管箇所は、試験水圧を 1.25MPa とする。ただし、既設管の状態が悪い場合（ＦＣ管又は表面の腐食等が激しい場合）・ＡＣＰ管・ＶＰ管の場合は、最高試験水圧は 1.0MPa 以下でもよい。5 分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3)　中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧 0.50MPa を負荷して 5 分経過後に 0.40MPa 以上保持することを確認するものとする。

(4)　管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5)　配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2　給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11（水道メーターの確認）

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6　提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

1　工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別)、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長)、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（Ａ４サイズ）で作成すること。

2　竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1)　配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎)、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値は㎜表示とし、整数１位を四捨五入とし、２位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d.配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2)　消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他３点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3)　仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4)　掘削断面に他企業埋設管（下水管，ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置，口径がわかるように図示すること。

3　竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（Ａ３サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、ＰＰユニオン、ＰＰエルボ、ＶＰユニオン、止水栓、ボックス、ＰＰパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

４　その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1 部	JPEG(A1・カラー・解像度 200dpi 以上)で保存した CD を提出
竣工図(焼き図)(原則 A1 サイズ)	竣工時	4 部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横 15cm×縦 23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD 及び DVD で提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

＊　竣工図書は、Ｂ４Ａ４サイズの文書保存箱で工事名･施工年度等を明示して納品すること。

（施行期日）

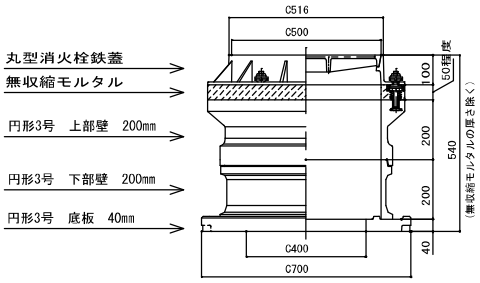
この仕様書は、2022 年 9 月 1 日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

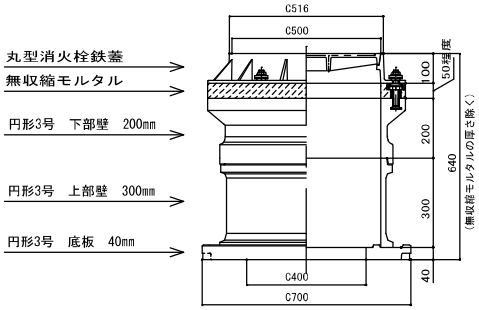
材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管直管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	GX形S種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鋳造
水道用ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ケレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ (接水部ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ｺﾞﾑ工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、ﾌﾗﾝｼﾞ形はｽﾃﾝﾚｽ製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋲螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製　緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管	明和工業㈱、㈱多久製作所
	PE管	㈱光明製作所

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

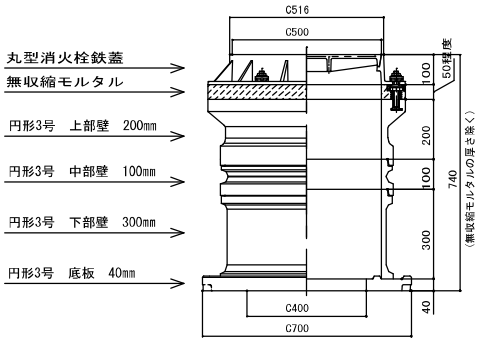
製品高さ　Ｈ＝５４０



製品高さ　Ｈ＝６４０



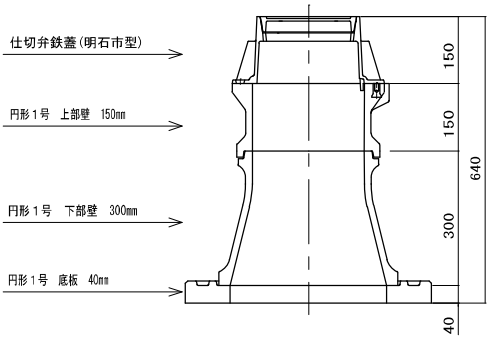
製品高さ　Ｈ＝７４０



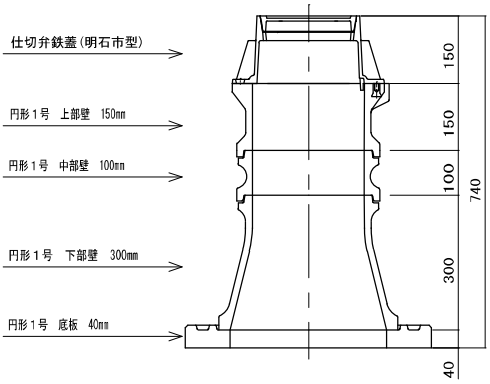
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道局	

円形1号ﾎﾞｯｸｽ組合せ図（標準図）

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図（標準図）
種類	円形1号ボックス
明石市水道局	

家屋番号	サドル分水栓				施工（PP管）延長（m）	土工延長（m）	道路種別	備考
	新設/既設	元管種	元口径	給水管				
1	新設	鋳鉄管	200	20	2.2	2.2	車道As5	
2	新設	鋳鉄管	200	20	2.5	2.5	車道As5	
3	新設	鋳鉄管	200	20	2.5	2.5	車道As5	
4	新設	鋳鉄管	200	20	2.2	2.2	車道As5	
5	新設	鋳鉄管	200	20	2.2	2.2	車道As5	
6	新設	鋳鉄管	200	20	2.5	2.5	車道As5	
7	新設	鋳鉄管	200	20	2.2	2.2	車道As5	
8	新設	鋳鉄管	200	50	2.7	2.7	車道As5	
9	新設	鋳鉄管	200	40	1.9	1.9	車道As5	
10	新設	鋳鉄管	200	20	1.5	1.5	車道As5	
11	新設	鋳鉄管	200	20	1.9	1.9	車道As5	
12	新設	鋳鉄管	200	20	1.5	1.5	車道As5	
13	新設	鋳鉄管	200	20	1.5	1.5	車道As5	
14	新設	鋳鉄管	200	20	1.5	1.5	車道As5	
15	新設	鋳鉄管	200	50	1.2	1.2	車道As5	
16	新設	鋳鉄管	200	20	1.5	1.5	車道As5	
17	新設	鋳鉄管	200	20	1.9	1.9	車道As5	
18	新設	鋳鉄管	200	20	1.5	1.5	車道As5	
19	新設	鋳鉄管	200	30	1.9	1.9	車道As5	

給水管土工種別表

分岐元口径	合計		新設					
			As1層5cm d=1.0					
	箇所	延長	箇所	延長				
合計	19	36.80	19	36.80				
200	19	36.80	土工1					
			19	36.80				

給水管材料・手間

口径	箇所数	延長
合計	19	36.8
20	15	29.1
30	1	1.9
40	1	1.9
50	2	3.9

名称等	材料	手間	備考
	当初	当初	
表示帯（管明示シート工）	36.8	36.8	
管明示テープ（管明示テープ工（PP管））	2	36.8	合計延長÷20(m/巻)

口径	名称等	口径等	材料	手間	備考
			当初	当初	
20	PP管	φ20	29.10	29.1	個別延長の合計
			29.10		設計数量
	給水管切替	φ20	15	15	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ200×20	15	15	
30	PP管	φ30	1.90	1.9	個別延長の合計
			1.90		設計数量
	給水管切替	φ30	1	1	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ200×30	1	1	
40	PP管	φ40	1.90	1.9	個別延長の合計
			1.90		設計数量
	給水管切替	φ40	1	1	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ200×40	1	1	
50	PP管	φ50	3.90	3.9	個別延長の合計
			3.90		設計数量
	給水管切替	φ50	2	2	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ200×50	2	2	

給水管土工集計表

工　　種	合計数量	採用数量	単位	土工1			
				分水穿孔	給水管		
舗装版切断（As） t≦15cm	62.20	62	m		62.20		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	22.39	22	m2	6.84	15.55		
掘削積込工	7.00	7	m3		7.00		
掘削積込工(補助的作業なし)	2.47	2	m3	2.47			
掘削(人力)	1.33	1	m2	1.33			
残塊処分工(As)	1.16	1	m3	0.38	0.78		
残塊処分工(土砂)	10.80	11	m3	3.80	7.00		
仮復旧工(密粒度(再)(13))	22.39	22	m3	6.84	15.55		
路盤工(粒調砕石） t=10cm	22.39	22	m2	6.84	15.55		
埋戻工(再生砕石)	3.11	3	m3		3.11		
埋戻工(流用土)	1.71	2	m3	1.71			
埋戻工(スクリーニングス)	3.66	4	m3	1.33	2.33		

給水管土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	里道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鋳鉄管φ200		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
19	0.60	0.60	管上まで	0.60	0.60	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	0.50	36.80	31.10	36.8-0.6/2×19

分水穿孔部

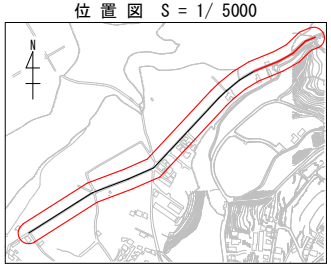
工種	施工厚	計算式				数量	19箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.60	×	0.60		0.36	6.84
掘削積込工(補助的作業なし)	0.35	0.60 ×	0.35 ×	0.60		0.13	2.47
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60		0.07	1.33
残塊処分工(As)		0.36 ×	0.05			0.02	0.38
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量				0.20	3.80
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	0.60		0.36	6.84
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.60	×	0.60		0.36	6.84
埋戻工(流用土)	0.25	0.60 ×	0.25 ×	0.60		0.09	1.71
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60		0.07	1.33

給水管部

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As)　t≦15cm	0.05			31.10 ×	2	62.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.50	×	31.10		15.55
掘削積込工	0.45	0.50 ×	0.45 ×	31.10		7.00
残塊処分工(As)		15.55 ×	0.05			0.78
残塊処分工(土砂)		7.00				7.00
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	31.10		15.55
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.50	×	31.10		15.55
埋戻工(再生砕石)	0.20	0.50 ×	0.20 ×	31.10		3.11
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50 ×	0.15 ×	31.10		2.33

給水管切替平面図(1)　S=1/300

位置図　S = 1/ 5000



給水管切替　総括

口径	車道As1層部
φ200×φ20	15
φ200×φ30	1
φ200×φ40	1
φ200×φ50	2
総計	19

給水管切替　総数	19箇所
φ20	15箇所
φ30	1箇所
φ40	1箇所
φ50	2箇所

給　水　管　切　替　図

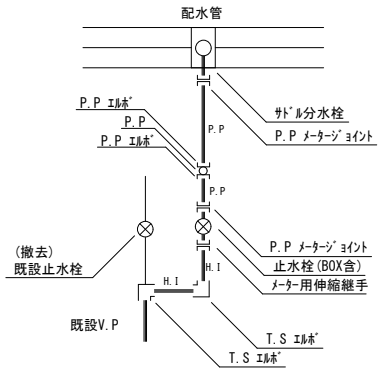


図　番	1 / 3	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）に伴う給水管切替工事		
図　種	位置図・給水管切替平面図(1)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

給水管切替平面図(2)　S=1/300

位置図　S = 1/ 5000

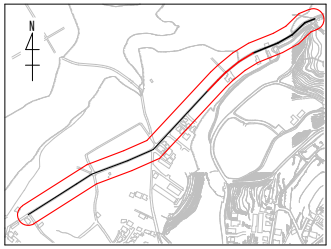


図　番	2 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）に伴う給水管切替工事		
図　種	位置図・給水管切替平面図(2)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

給水管切替平面図(3)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

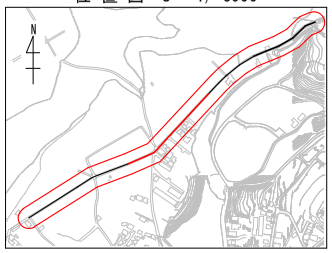
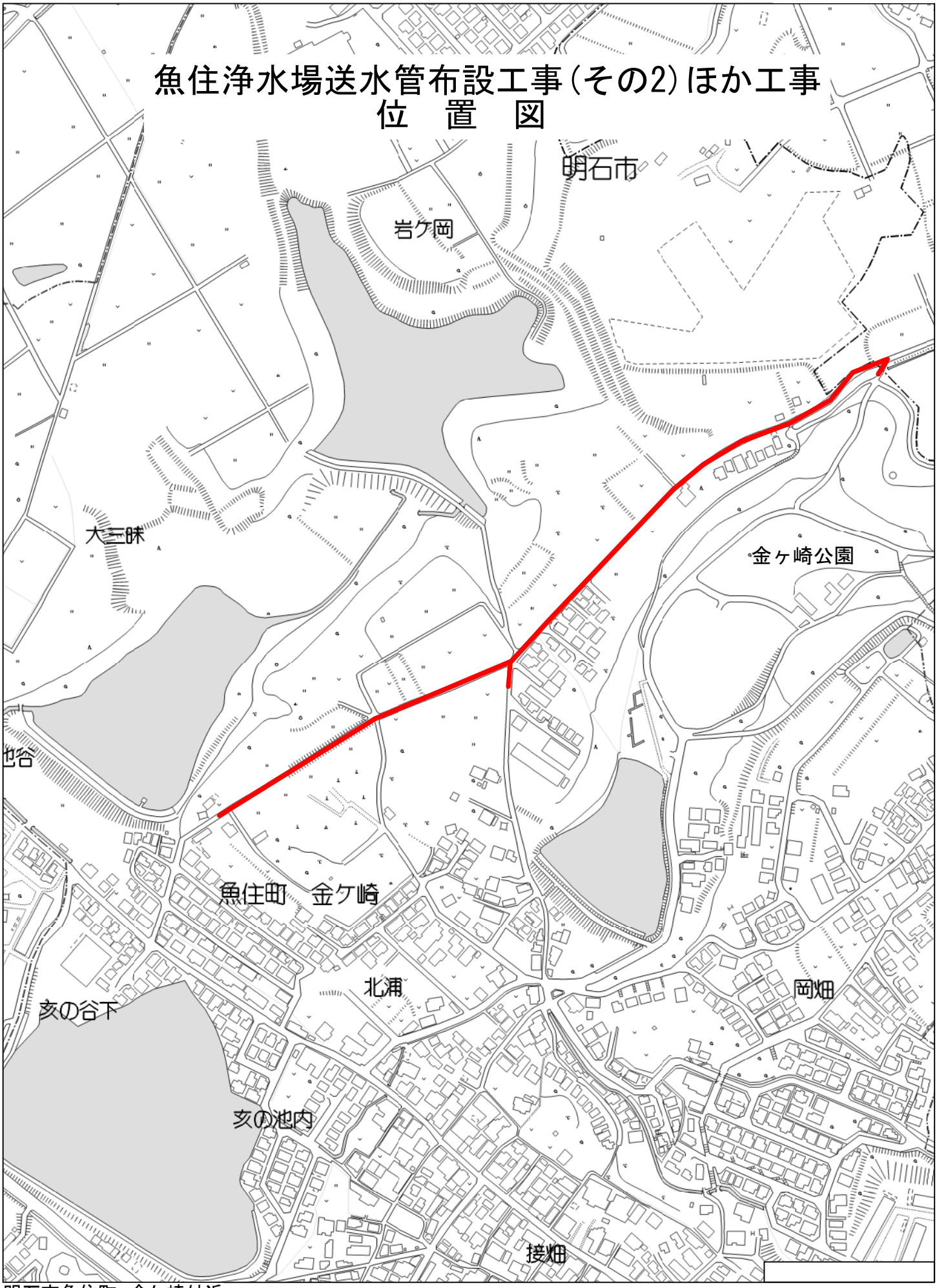


図　番	3 / 3	施工年度	令和4年度
工 事 名	西部配水場自然No.5配水管布設工事（その2）に伴う給水管切替工事		
図　種	位置図・給水管切替平面図(3)		
場　所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

魚住浄水場送水管布設工事(その2)ほか工事
位　置　図



明石市魚住町　金ケ崎付近

縮尺 1 / 4,000　120m

見　積　参　考　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	配水及び給水費	
工事番号	04-5607							設計年月日	令和 4年 11月 15日
着工番号								精算年月日	令和 4年 11月 15日

施工理由			
施工箇所	明石市魚住町金ヶ崎ほか地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年3月31日まで
工事名称	西部配水場自然No.5配水管布設(その2)に伴う給水管切替工事	支払い方法	前払金 あり(40%以内) 中間前払金 あり(20%以内) 部分払 あり (1回以内)
工事概要	給水管切替工計　19箇所 φ20 給水管切替工　15箇所 φ30 給水管切替工　1箇所 φ40 給水管切替工　1箇所 φ50 給水管切替工　2箇所		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増減	円	増減	円	増減	円	増減	円

総 括 情 報 表

単価適用年月日	0-04.11.01(0)	
	今　　回	前　　回
工種区分 施工地域区分	01　開削工事及び小口推進工事 23　一般交通影響あり（２）	

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					
管路					
管きょ工					
給水管布設工	1	式			工種　第0001号明細表
給水管布設土工	1	式			工種　第0004号明細表
交通管理工					
交通管理工	1	式			工種　第0006号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格計						
消費税相当額			式			
総　　計						

給水管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0001号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
給水管布設工(材料)	(　1　)	式			工種　第0002号明細表
給水管布設工(手間)	(　1　)	式			工種　第0003号明細表
合　　計	1	式			

給水管布設工(材料)

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
PP管　φ20 二層管,1種(軟質)	29.1	m			K 管材費
給水管切替φ20（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	15	箇所			施工　第0-0001号内訳表
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×20 密着コア込	15	個			K 管材費
PP管　φ30 二層管,1種(軟質)	1.9	m			K 管材費
給水管切替φ30（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	1	箇所			施工　第0-0002号内訳表
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×30 密着コア込	1	個			K 管材費
PP管　φ40 二層管,1種(軟質)	1.9	m			K 管材費
給水管切替φ40（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	1	箇所			施工　第0-0003号内訳表
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×40 密着コア込	1	個			K 管材費

給水管布設工(材料)

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
PP管　φ50 二層管,1種(軟質)	3.9	m			K 管材費
給水管切替φ50（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	2	箇所			施工　第0-0004号内訳表
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ200×50 密着コア込	2	個			K 管材費
表示帯	36.8	m			
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50㎜ 1巻 20m） 年号入り　ｴｺﾏｰｸ認定製品 ｴｺﾏｰｸ認定品	2	巻			
合　　計	1	式			

給水管布設工(手間)

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ポリエチレン管 据付 呼び径　20mm	29.1	m			施工　第0-0005号内訳表
給水管切替工(φ200～250×φ20)	15	箇所			施工　第0-0006号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　30mm	1.9	m			施工　第0-0012号内訳表
給水管切替工(φ200～250×φ30)	1	箇所			施工　第0-0013号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　40mm	1.9	m			施工　第0-0019号内訳表
給水管切替工(φ200～250×φ40)	1	箇所			施工　第0-0020号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　50mm	3.9	m			施工　第0-0026号内訳表
給水管切替工(φ200～250×φ50)	2	箇所			施工　第0-0027号内訳表
管明示シート工	36.8	m			施工　第0-0033号内訳表

給水管布設工(手間)

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
管明示テープ工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管) 呼び径φ50mm以下	36.8	m			施工　第0-0034号内訳表
合　　計	1	式			

給水管布設土工

工 種 明 細 表

工種　第0004号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
給水管布設工(土工)	(　1　)	式			工種　第0005号明細表
合　　計	1	式			

給水管布設工(土工)

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	62	m			施工　第0-0035号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	22	m2			施工　第0-0036号内訳表
掘削積込工	7	m3			施工　第0-0038号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	2	m3			施工　第0-0040号内訳表
掘削 (人力) 土砂 現場制約あり	1	m3			施工　第0-0042号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔加古川リサイクル(有)〕 運搬距離　L=8.6km	1	m3			施工　第0-0043号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔 (有) リテラ〕 運搬距離　L=12.0km	11	m3			施工　第0-0047号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	22	m2			施工　第0-0050号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	22	m2			施工　第0-0053号内訳表

給水管布設工(土工)

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）	3	m3			施工　第0-0055号内訳表
	埋戻工（埋戻し材->流用土）	2	m3			施工　第0-0057号内訳表
	埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	4	m3			施工　第0-0058号内訳表
	合　　計	1	式			

交通管理工

工 種 明 細 表

工種　第0006号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員	(1)	式			工種　第0007号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導警備員

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員 B	24	人日			施工　第0-0059号内訳表
合　　計	1	式			

施工単価表

施工　第0-0001号内訳表　　頁0-0014/0064

給水管切替φ20（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ　φ20	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手　φ20	1	個			K 管材費
止水栓　φ20	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=400	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ　φ20	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ　φ　20 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管　φ20 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管　φ　20 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0002号内訳表　　頁0-0015/0064

給水管切替φ30（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ φ30	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手 φ30	1	個			K 管材費
止水栓 φ30	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ φ30	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ φ 30 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管 φ30 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管 φ 30 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0003号内訳表　　頁0-0016/0064

給水管切替φ40（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ φ40	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手 φ40	1	個			K 管材費
止水栓 φ40	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ φ40	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ φ 40 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管 φ40 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管 φ 40 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0004号内訳表　　頁0-0017/0064

給水管切替φ50（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ φ50	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手 φ50	1	個			K 管材費
止水栓 φ50	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ φ50	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ φ 50 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管 φ50 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管 φ 50 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0005号内訳表　　頁0-0018/0064

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =2	据付 呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0006号内訳表

給水管切替工(φ200～250×φ20)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250㎜) 配水管呼び径 20㎜	1	箇所			施工　第0-0007号内訳表
止水栓 取付 (呼び径20㎜) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0008号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　20㎜	0.5	m			施工　第0-0005号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　20㎜	6	口			施工　第0-0009号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　20㎜	0.5	m			施工　第0-0010号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20㎜)	4	口			施工　第0-0011号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0007号内訳表

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250mm)

[規格１]配水管呼び径 20mm　[規格２]　[摘要]　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=3 =2	鋳鉄管 呼び径200～250mm 呼び径 20mm		

施工単価表

施工　第0-0008号内訳表　　頁0-0021/0064

止水栓 取付（呼び径20mm）

［規格１］接合及び止水栓筐 ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=2	呼び径20mm		

施工単価表

施工　第0-0009号内訳表　　頁0-0022/0064

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=2	呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0010号内訳表　　頁0-0023/0064

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =3	据付 呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0011号内訳表　　頁0-0024/0064

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=3	呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0012号内訳表　　頁0-0025/0064

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　30mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =4	据付 呼び径　30mm		

施工単価表

施工　第0-0013号内訳表

給水管切替工(φ200～250×φ30)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250㎜) 配水管呼び径 30㎜	1	箇所			施工　第0-0014号内訳表
止水栓 取付 (呼び径30㎜) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0015号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　30㎜	0.5	m			施工　第0-0012号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　30㎜	6	口			施工　第0-0016号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　30㎜	0.5	m			施工　第0-0017号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　30㎜)	4	口			施工　第0-0018号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0014号内訳表　　頁0-0027/0064

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250mm)

［規格１］配水管呼び径 30mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=3 =4	鋳鉄管 呼び径200～250mm 呼び径 30mm		

施工単価表

施工　第0-0015号内訳表　　頁0-0028/0064

止水栓 取付（呼び径30㎜）

［規格１］接合及び止水栓筐 ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=4	呼び径30㎜		

施工単価表

施工　第0-0016号内訳表

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　30mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=4	呼び径　30mm		

施工単価表

施工　第0-0017号内訳表　　頁0-0030/0064

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　30mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =5	据付 呼び径　30mm		

施工単価表

施工　第0-0018号内訳表

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　30mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=5	呼び径　30mm		

施工単価表

施工　第0-0019号内訳表　　頁0-0032/0064

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =5	据付 呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0020号内訳表

給水管切替工(φ200～250×φ40)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250㎜) 配水管呼び径 40㎜	1	箇所			施工　第0-0021号内訳表
止水栓 取付 (呼び径40㎜) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0022号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　40㎜	0.5	m			施工　第0-0019号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　40㎜	6	口			施工　第0-0023号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　40㎜	0.5	m			施工　第0-0024号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40㎜)	4	口			施工　第0-0025号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0021号内訳表　　頁0-0034/0064

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250mm)

［規格１］配水管呼び径 40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=3 =5	鋳鉄管 呼び径200～250mm 呼び径 40mm		

施工単価表

施工　第0-0022号内訳表　　頁0-0035/0064

止水栓 取付（呼び径40mm）

［規格１］接合及び止水栓筐 ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=5	呼び径40mm		

施工単価表

施工　第0-0023号内訳表

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　40mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=5	呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0024号内訳表　　頁0-0037/0064

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =6	据付 呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0025号内訳表　　頁0-0038/0064

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=6	呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0026号内訳表　　頁0-0039/0064

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　50mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =6	据付 呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0027号内訳表

給水管切替工(φ200～250×φ50)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250㎜) 配水管呼び径 50㎜	1	箇所			施工　第0-0028号内訳表
止水栓 取付 (呼び径50㎜) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0029号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　50㎜	0.5	m			施工　第0-0026号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　50㎜	6	口			施工　第0-0030号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　50㎜	0.5	m			施工　第0-0031号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50㎜)	4	口			施工　第0-0032号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0028号内訳表　　頁0-0041/0064

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径200～250mm)

［規格１］配水管呼び径 50mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=3 =6	鋳鉄管 呼び径200～250mm 呼び径 50mm		

施工単価表

施工　第0-0029号内訳表　　頁0-0042/0064

止水栓 取付（呼び径50mm）

［規格１］接合及び止水栓筐　ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=6	呼び径50mm		

施工単価表

施工　第0-0030号内訳表

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　50mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=6	呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0031号内訳表　　頁0-0044/0064

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　50mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =7	据付 呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0032号内訳表

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=7	呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0033号内訳表

管明示シート工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0034号内訳表

管明示テープ工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)

［規格１］呼び径φ50mm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=1	φ50mm		

舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0035号内訳表

［規格１］As舗装版厚->15cm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　m　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ 切削深20cm級 [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式]				ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ				舗道版切断 ｶｯﾀｰﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径22ｲﾝﾁ			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	=1 =1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下						

施工単価表

施工　第0-0036号内訳表　　頁0-0049/0064

舗装版取壊し積込工

［規格１］舗装厚⇒0cm越え　10cm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 B　舗装厚		=3 =1	山積0.28m3 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下		

施工単価表

施工　第0-0038号内訳表　　頁0-0050/0064

掘削積込工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0040号内訳表　　頁0-0051/0064

掘削積込工(補助的作業なし)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			

掘削（人力）

積算単価算出表

施工　第0-0042号内訳表

［規格１］土砂 現場制約あり　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=6	現場制約あり						

施工単価表

施工　第0-0043号内訳表　　頁0-0053/0064

残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)

［規格１］〔加古川リサイクル(有)〕　［規格２］運搬距離　L=8.6km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->As塊・Co塊（無筋）	1	m3			施工　第0-0044号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	1	式			施工　第0-0046号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0044号内訳表　　頁0-0054/0064

運搬

［規格１］処理対象->As塊・Co塊（無筋）　［規格２］　［ 摘要 ］　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =2	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 As塊・Co塊（無筋）	（平積0.20m3）	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=8.6 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0046号内訳表　　頁0-0055/0064

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0047号内訳表

残塊処分工(土砂)

［規格１］〔（有）リテラ〕　［規格２］運搬距離　L=12.0km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->土砂	1	m3			施工　第0-0048号内訳表
処分費 土 砂	1	式			施工　第0-0049号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0048号内訳表　　頁0-0057/0064

運搬

［規格１］処理対象->土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 土砂	(平積0.20m3)	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=12 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0049号内訳表　　頁0-0058/0064

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =1 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0050号内訳表　　頁0-0059/0064

仮復旧工 ［密粒度[再](13)］

［規格１］厚 5cm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13		t			
振動ﾛｰﾗ運転		日			
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転		日			
諸雑費		%			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			

施工単価表

施工　第0-0053号内訳表　　頁0-0060/0064

路盤工(粒調砕石)

［規格１］上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm ［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 （0～25mm･0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　路盤工種別 B　施工幅 C　路盤材の種類		=1 =1 =2	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 粒調砕石		
D　仕上り厚		=6	10cm		

施工単価表

施工　第0-0055号内訳表　　頁0-0061/0064

埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=5 =3	再生切込砕石 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0057号内訳表　　頁0-0062/0064

埋戻工（埋戻し材->流用土）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=2 =3	流用土 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0058号内訳表　　頁0-0063/0064

埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ （0～2.5mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=6 =3	ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0059号内訳表

交通誘導警備員 B

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　人日　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単　位　当　り	1	人日			
A　交通誘導警備員区分 B　労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		